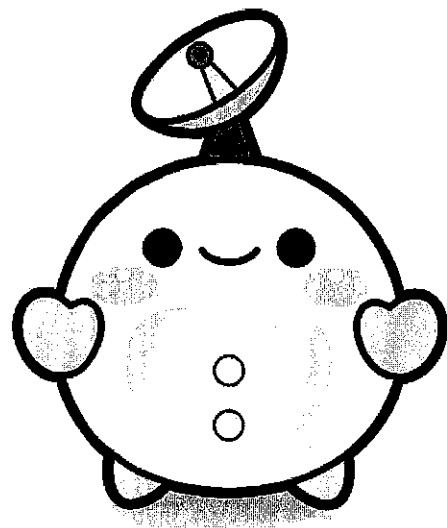
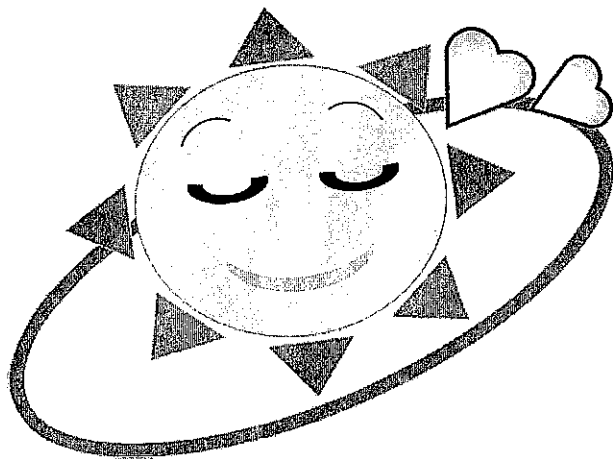


令和2年度

事業報告書



社会福祉法人
多摩市社会福祉協議会

| | | |
|--|-------|----|
| 総括 | ----- | 1 |
| 新規・重点事業 | ----- | 2 |
| 見直し・拡充 | ----- | 5 |
| 1 みんなが“つながり”“助け合える”仕組みを広げます | | |
| 1-1 地域住民主体の小地域福祉活動の促進 | | |
| -1-1 地域福祉推進委員会の運営支援 | ----- | 8 |
| -2-1 住民ニーズの把握と課題・共有化 | ----- | 9 |
| -3-1 自治会・住宅管理組合等小エリア(第3層)での地域福祉活動の展開支援 | ----- | 10 |
| -4-1 たすけあい有償活動の推進 | ----- | 11 |
| -5-1 ふれあい・いきいきサロン等の立ち上げ・運営支援と活動支援 | ----- | 12 |
| -6-1 生活支援体制整備事業の推進 | ----- | 13 |
| -7-1 活動拠点の確保 | ----- | 14 |
| 2 みんなで“学びあい”“地域を支える心”を育みます! | | |
| 2-1 福祉を身近に感じる機会の提供 | | |
| -1-1 福祉に対する意識に醸成のための事業の実施(福祉大会・福祉フェスタ) | ----- | 16 |
| -1-2 福祉に対する意識に醸成のための事業の実施(地域出前事業の開催) | ----- | 16 |
| -2-1 障害者理解の促進 | ----- | 17 |
| 2-2 ボランティア・地域活動者の発掘・育成 | | |
| -1-1 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成(社協活動協力員) | ----- | 19 |
| -1-2 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成(多世代のボランティア・市民活動者) | ----- | 19 |
| -1-3 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成(老人福祉センター) | ----- | 21 |
| -1-4 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成(同行援護従事者) | ----- | 21 |
| -2-1 個別のニーズに応じたボランティア活動支援(コーディネート)の推進 | ----- | 22 |
| -3-1 ボランティア団体、NPO・市民活動団体支援の拡充 | ----- | 23 |
| 2-3 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進 | | |
| -1-1 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築(多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会) | ----- | 24 |
| -1-2 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築(「(仮称)多摩地域企業・大学ネットワーク連絡会」の設置) | ----- | 24 |
| -1-3 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築(福祉協力店) | ----- | 26 |
| 3 みんなの暮らしに“安心”を届けます! | | |
| 3-1 権利擁護の推進 | | |
| -1-1 権利擁護センターの運営 | ----- | 27 |
| -2-1 市民後見人の養成 | ----- | 28 |
| 3-2 多様な相談機会の提供 | | |
| -1-1 相談窓口の拡充 | ----- | 30 |
| 3-3 災害時支援体制の強化 | | |
| -1-1 災害ボランティアセンター運営体制の拡充および災害時要配慮者支援の啓発の推進 | ----- | 31 |
| 3-4 情報発信の強化 | | |
| -1-1 広報媒体の拡充 | ----- | 33 |
| 3-5 多様なサービスの提供 | | |
| -1-1 老人福祉センターの充実 | ----- | 35 |

| | | |
|--------------------------------|-------|----|
| -2-1 地域活動支援センター(障がい者福祉センター)の充実 | | 36 |
| -3-1 障害福祉サービスの提供 | | 37 |
| -4-1 生活支援の推進(貸付事業) | | 38 |
| -4-2 生活支援の推進((仮称)高齢者安心サポート事業) | | 38 |
| -4-3 生活支援の推進(住民主体による訪問型サービス) | | 39 |
| -4-4 生活支援の推進(フードドライブ等事業) | | 40 |
| -4-5 生活支援の推進(ひきこもり家庭支援) | | 41 |

令和2年度 事業報告書 附属明細書 目次

| | |
|------------------------|----|
| 1. 組織運営 | |
| (1) 三役会の開催 | 42 |
| (2) 理事会の開催 | 42 |
| (3) 評議員会の開催 | 43 |
| (4) 監査の概要 | 43 |
| (5) 各委員会の活動報告 | 43 |
| (6) 各部会の活動報告 | 44 |
| (7) 後援名義の使用許可状況 | 44 |
| (8) 多摩社協活動協力員登録状況 | 44 |
| 2. 連絡調整 | |
| (1) 実習生の受入れ状況 | 45 |
| (2) 講師の派遣 | 45 |
| 3. 普及・啓発 | |
| (1) 会報「ふくしだより」の発行 | 46 |
| (2) 福祉バザー | 46 |
| (3) 福祉フェスタ | 46 |
| (4) 福祉大会 | 47 |
| (5) メールマガジン配信状況 | 48 |
| (6) 福祉協力店状況 | 48 |
| 4. 組織強化活動 | |
| (1) 会員賛助金の状況 | 49 |
| (2) チャリティーゴルフ大会 | 49 |
| (3) 寄付金の状況 | 49 |
| 5. 助成事業 | |
| (1) 収支の状況 | 50 |
| (2) 福祉団体補助 | 50 |
| (3) 老人クラブ連合会事業費補助金 | 50 |
| (4) 自治会・住宅管理組合ふくし活動助成金 | 51 |
| 6. 地域福祉活動の推進事業 | |
| (1) 収支の状況 | 52 |
| (2) 相談事業「福祉なんでも相談」 | 52 |
| (3) ふれあい・いきいきサロン推進事業 | 53 |
| (4) 小地域福祉活動推進事業 | 60 |
| 7. 生活支援体制整備事業 | |
| (1) 契約状況等 | 66 |
| (2) 収支の状況 | 66 |
| (3) 生活支援コーディネーターの活動状況 | 66 |
| 8. たすけあい有償活動事業 | |
| (1) 概要 | 71 |
| (2) 収支の状況 | 71 |
| (3) たすけあい有償活動実施状況 | 71 |
| (4) 過去5年間の状況 | 72 |
| (5) たすけあい有償活動協力員懇談会 | 72 |
| (6) たすけあい有償活動協力員説明会 | 72 |

| | |
|---|----|
| 9. 住民主体による訪問型サービス | |
| (1) 概要 | 73 |
| (2) 収支の状況 | 73 |
| (3) 住民主体による訪問型サービス実施状況 | 73 |
| 10. ボランティア・市民活動推進事業 | |
| (1) 収支の状況 | 75 |
| (2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催 | 75 |
| (3) ボランティア育成事業 | 75 |
| (4) 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進（多摩地域企業等情報交換の集い） | 78 |
| (5) 相談事業 | 78 |
| (6) 協力事業 | 79 |
| (7) 地域出前事業 | 79 |
| (8) ボランティア活動等振興助成金交付事業 | 81 |
| (9) 子ども食堂等活動支援金交付事業 | 81 |
| (10) フードドライブ事業 | 82 |
| (11) 販売事務業務委託（市受託事業） | 82 |
| (12) 関係機関との連携 | 82 |
| (13) ボランティア基金・寄附金状況 | 83 |
| (14) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況 | 83 |
| (15) 多摩ボランティア・市民活動支援センター（がいき）利用登録者状況 | 83 |
| (16) ボランティア相談状況 | 83 |
| (17) 活動室・会議室利用状況及び機材貸出状況 | 84 |
| (18) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況 | 84 |
| 11. 介護予防ボランティアポイント事業（市受託事業） | |
| (1) 概要 | 86 |
| (2) 契約状況等 | 87 |
| (3) 収支の状況 | 87 |
| (4) 事業実施状況 | 87 |
| 12. 福祉サービス利用援助事業 | |
| (1) 概要 | 89 |
| (2) 地域福祉権利擁護事業（東社協受託事業） | 89 |
| (3) 東京都福祉サービス総合支援事業（市補助事業） | 90 |
| (4) 成年後見制度利用支援業務（市補助事業） | 90 |
| (5) 実施事業 | 91 |
| 13. 資金貸付事業 | |
| (1) 生活福祉資金（東社協受託事業） | 93 |
| (2) 小口資金 | 93 |
| (3) 緊急援護事業 | 94 |
| (4) ひとり親家庭高等職業促進資金貸付事業（東社協受託事業） | 94 |
| (5) 出張相談（しごと・くらしサポートステーション） | 94 |
| (6) その他（フードバンク事業） | 94 |
| 14. 収益事業の実施 | 96 |
| 15. 老人福祉センター事業（市受託事業） | |
| (1) 概要 | 97 |
| (2) 契約状況等 | 97 |
| (3) 収支の状況 | 98 |

| | | |
|-------------------------------------|-------|-----|
| (4) 利用状況 | | 98 |
| 16. 障がい者地域活動支援センター事業（市受託事業） | | |
| (1) 概要 | | 101 |
| (2) 契約状況等 | | 101 |
| (3) 収支の状況 | | 102 |
| (4) 利用登録状況 | | 102 |
| (5) 実施状況 | | 103 |
| 17. 同行援護事業 | | |
| (1) 概要 | | 111 |
| (2) 収支の状況 | | 111 |
| (3) 同行援護活動実績 | | 111 |
| (4) 同行援護従事者研修会 | | 112 |
| 18. 意思疎通支援（手話通訳者派遣）事業（市受託事業） | | |
| (1) 概要 | | 113 |
| (2) 契約状況等 | | 113 |
| (3) 収支の状況 | | 113 |
| (4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績 | | 114 |
| (5) 手話通訳者研修会 | | 114 |
| 19. 意思疎通支援（要約筆記者派遣）事業（市受託事業） | | |
| (1) 概要 | | 115 |
| (2) 契約状況等 | | 115 |
| (3) 収支の状況 | | 115 |
| (4) 要約筆記者の活動実績 | | 116 |
| (5) 要約筆記者研修会 | | 116 |
| 20. 共同募金関係 | | |
| (1) 赤い羽根共同募金 | | 117 |
| (2) 歳末たすけあい運動募金 | | 117 |
| 21. その他の事業 | | |
| (1) 車椅子貸出事業 | | 119 |
| (2) 被災地復興復興支援活動 | | 119 |



令和2年度 事業報告書

本編

《事業報告書本編の見方》

| | | | | |
|--------------------------|---|-----------------------|---------------------------------------|----------------|
| No. 1-1-1-1 重点 | 地域福祉推進委員会 | | | まちづくり推進 |
| 内 容 | <p>10のコミュニティエリアごとに設置したの運営を、エリアごとに作成した地域福祉として、わいわいがやがやみんなが集い、楽しさやささえあいを創出しながら、課題解決に取り組むことを支援していきます。</p> <p>また、この計画は本計画同様に3年ごとに見直しをしていくため、普段委員会に参加していない方など広く地域住民の方々の声を聞きながら、計画の見直しをすすめていきます。</p> | | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) | |
| | ●各地域福祉推進委員会活動計画に則して運営支援 | ●各地域福祉推進委員会活動計画の見直し検討 | ●各地域福祉推進委員会活動計画の見直し検討・作成(令和5年度～令和7年度) | |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | ●エリアごとに作成した地域福祉委員会の参加者、団体等に周知し方向性など、共通認識を持って委員会運営を任民主体でできるように支援していく。 | | | |
| 取組結果 | <p>●緊急事態宣言が続き、活動が制限された状況であった。</p> <p>●コロナ禍における地域福祉活動での対面を避けつつ、ICT(Zoom等の導入)の活用を各委員会で検討し、進めた。</p> <p>委員会での将来的なICT導入に向けて、世話人会を中心に検討を行い、各エリアの活用事例や実践方法については、地域福祉推進委員会情報交換会を開催して広く委員会に周知・共有した。</p> <p>今年度(令和2年度)の事業実施計画</p> <p>今年度(令和2年度)の計画に対しての取組結果</p> | | | |

第4次多摩市地域福祉活動計画後期計画の取り組み内容と一致

第4次多摩市地域福祉活動計画後期計画で記した、主な3年間の取り組み内容

第4次多摩市地域福祉活動計画後期計画の3年間の年次計画

今年度(令和2年度)の事業実施計画

今年度(令和2年度)の計画に対しての取組結果

令和2年度総括

令和2年度は、第4次地域福祉活動計画後期計画の初年度として、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向け、「地域福祉推進委員会の推進」及び「小エリアでの地域福祉活動の展開」、「様々な社会資源と連携した地域の担い手の発掘・育成」、「高齢者が安心して住み続けられるサポート事業の検討」などを掲げたところである。

しかしながら、本年度は1年間を通してコロナ禍の影響を受け、「公共施設の休館や利用制限」、「在宅勤務」、「自治会やサロン活動等の地域住民活動の中止・延期」等により、小地域福祉活動や相談会、啓発・情報交換のための講座やイベント等の中止、対面での支援業務やコーディネート業務の縮小・停滞を余儀なくされた。改めて、人と人の顔を合わせての会合や拠点施設の重要性を認識させられた1年でもあった。

このような中で、ICT（Information and Communication Technology 情報通信技術）の環境整備に努め、オンラインでの会議や情報交換を実施してきたが、現段階では未だ試行錯誤の中と言わざるを得ない。なお、障がい者への生活を支えるサービス（計画相談・手話通訳・同行支援）や、福祉サービス利用支援については、感染対策を十分に講じた上で継続実施した。

一方、次の点において業務の推進を図ることができた。

- コロナ禍での収入減少に対する支援として生活福祉資金特例貸付が始まり、緊急小口資金・総合支援資金合わせ4,596件の相談に対応し、2,210件の申請を受け付けた。
- 地域の企業や大学等のネットワーク連絡会「ゆるたまネット」が11月に発足し、困窮世帯への食料提供事業に結びついた。
- フードドライブ事業では、新たに協力企業も加わり、また食材寄付も増加し、子ども食堂等への支援を充実させることができた。
- 南多摩ブロック（八王子・町田・日野・多摩・稲城）の4社協で災害ボランティアセンターの運営など災害時の支援協定を結んだ。
- 感染症に対応した災害時の事業継続計画（BCP）を策定した。
- 令和2年度は成年後見制度の中核機関受託としての初年度であり、1次相談窓口として、制度の相談・申し立てに関する相談など前年度比約2.3倍の360件の相談に対応した。
- 新たな拠点として健康つながる広場（とよよん）の運営支援を行い、住民サポーターも15名の登録があり、コロナ禍ではあるが自立運営に向けた支援を進めた。
- 同行援護従事者について、募集のPRに努め5名の新規登録者を得た（現在32名）。
- たすけあい有償活動の協力員について、下半期に説明会を実施するなどにより11名の新規登録者を得た（現在136名）。

コロナ禍であっても高齢化は進み、また生活困窮、DV、高齢者の虚弱化・地域からの孤立化などコロナ禍ゆえの生活課題も見えつつある。地域福祉の役割と重要性を再認識するとともに、創意工夫を重ねながら各事業の着実な推進を図りたいと考えている。

新規・重点事業

令和2年度は、第4次多摩市地域福祉活動計画を遂行していく後期実施計画の初年度となりました。本計画を踏まえ、令和2年度新規・重点事業として、以下の事項を具体的に推進いたしました。

1. 地域住民主体の小地域福祉活動の促進

(1) 【重点】地域福祉推進委員会の運営支援

各地域福祉推進委員会で作成した「エリア別活動計画」を世話人や参加者に配布し、住民主体での運営支援をした。

緊急事態宣言の発出を受け、各地域福祉推進委員会も開催中止を余儀なくされた。緊急事態宣言下、各地域福祉推進委員会の参加団体に対して、「コロナ禍での課題」についてアンケート調査を実施し、課題のまとめと対策等について共有をした。結果、コロナ禍における地域での新たなつながり方の一つの手段として「ICT活用」（デジタル）導入の検討を開始した。連光寺・聖ヶ丘地区では令和3年1月、3月にオンラインによる地域福祉推進委員会も開催された。

一方、緊急事態宣言下でも団地の掲示板を活用し「メッセージボード」による「励まし合い」や、「ご近所での交換日記」を活用した情報交換など、会えない中でもアイデアを駆使した活動を行っていた地域もあった。

これまでの「(対面を中心とした) 支えあい」(アナログ)が大事であることを再認識し、「アナログとデジタル」の双方を活用しながら、コロナ禍での地域福祉推進委員会の運営支援を行った。

(2) 【重点】住民ニーズの把握と課題・共有化

緊急事態宣言の発出や感染症拡大防止の観点から、コミュニティエリアよりも小域において、新規で住民懇談会等の協議の場づくりに取り組むことができなかった。

しかしながら、地域福祉推進委員会未設置の東寺方小学校区エリアについては、市の地域委員会構想であるエリアミーティングに参加し、状況把握を行った。また、馬引沢・諏訪地区では、地域福祉推進委員会と市、若者会議が協力し、フィールドワークを開催した。次年度も、同地域では感染状況を鑑みながら市や若者会議等と連携し、継続して小地域での協議の場づくりについて検討する。

(3) 【重点】自治会・住宅管理組合等小エリア（第3層）での地域福祉活動の展開支援

自治会・住宅管理組合の支えあい活動の推進を目的に作成した「ご近所支えあいハンドブック」について、同団体を対象とする助成金の申請書類に同封し啓発を行った。

しかしながら、コロナ禍で自治会・住宅管理組合が実施する地域活動がほとんど中止となる状況になり、例年70件以上ある助成金の申請が、今年度は16件に

留まった。対策として、エリア担当の地域福祉コーディネーターより、同団体の担当者と連絡を取り、次年度の活動に向け状況把握に努めた。これまで対面で実施していた見守りや生活支援(資源ごみ回収)等については、対面を避ける方法に切替えを模索するなど、コロナ禍でできる活動を検討している団体もあった。今後、コロナ禍での地域活動について、実践的な取り組み事例を地域福祉推進委員会等を通じて情報共有し、地域活動が停滞しないようネットワークを活かしてコーディネートしていく。

2. ボランティア、地域活動者の発掘・育成

(1) 【重点】 ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ボランティア活動自体も活動自粛や休止となり、また、ボランティア受入れ施設などについても、その多くが受入れ自粛や中止となった。このため、本来ならば人と人とのふれあいや共感により育まれるボランティア活動を促進することが難しい状況となったが、以下のとおりコロナ禍に対応した創意工夫した取り組みを行った。

- 夏のボランティア体験は事業中止としたが、活動希望者には、受入れ可能な施設等を紹介し、個別マッチングを行った。
- 市内大学での出張相談窓口の設置に関しては、市内大学も休校やオンライン授業を導入し、対面授業が殆ど実施されなかったことから、計画内容を令和3年度に順延した。しかしながら、相談窓口の開設を想定していた大学のゼミと連携し、家でも楽しめる企画のボランティア通信に連載や、リモートボランティア活動を実施するための動画撮影などの協力を得るなど、関係づくりを行った。
また、大学内にボランティアコーナーが設置されることに伴い、令和3年度より出張相談窓口開設に向けた具体的な調整を今後行うことになった。
- 感染症下にて新たなボランティア活動へつなげる一助として、特技・芸能ボランティア活動の動画を撮影し、受入れ施設に対してYouTubeの配信や、登録団体向けの「LINE講座」や「0からはじめるZOOM講座」などSNSを活用した講座を実施し、ボランティア活動の振興を図った。

3. 企業、学校、社会福祉法人等による地域貢献活動の促進

(1) 【重点】 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築

① 多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会

全3回の「多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会」を通じて、法人の連携による地域での公益的な取組について相互に意見交換を行った。

多摩ボラセンより提案のあった、「市内小中学校での総合的学習への支援協力」に関し、その意義を伝える学習会を実施し、福祉教育推進プログラムの検

討・作成、地域における公益的な取り組みについて合意を図った。また、連絡会内に作業部会を設け、「車いす体験」「高齢者疑似体験」に関する統一的なマニュアルづくりについて検討を開始した。(令和3年度に作成し、取り組み予定)

また、昨年度からの継続的な取組として、各法人が主体となってフードドライブを実施。集められた食品類を市内9カ所の子ども食堂運営団体やフードバンク団体、コロナ禍の影響で生活が困窮した世帯へ提供するほか、11法人施設で車椅子無料貸出を行った。

② 「(仮称)多摩地域企業・大学等ネットワーク連絡会」の設置

・大学や企業等がもつノウハウをボランティア活動や地域・社会貢献活動につなげるために、大学や企業等との連携の「場」として、令和2年11月に「多摩地域企業・大学等連絡会(ゆるたまネット)」を発足した。

(※参加事業所：25事業所)

・今日、日本では7人に1人の子どもが貧困と言われており、また、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって生活困窮者・世帯が増大している情勢をふまえ、「食を通じた支援」をテーマに、「ヒト、モノ、コト、カネ」などのニーズに応じたできる取り組みを、多摩ボラセンがコーディネートし、以下のとおり行った。

○【ヒト】在宅ワークで自宅にいたことが多くなった時間やボランティア休暇を活用し、食料配送ボランティアとして活動

○【モノ】子ども食堂で必要な食材等を購入し、寄付

○【コト】社内や店舗でフードドライブを実施

○【カネ】お金を子ども食堂やフードバンク団体に寄付

また、ゆるたまネットの最初の事業として、生活に困窮している「大学生以下の子どもがいる世帯」や「大学生」を対象に、「食料詰め合わせキット無料配布事業」を令和3年度に試行実施することを決定した。

4. 権利擁護の推進

(1) 【重点】権利擁護センターの運営

中核機関及び第一次相談窓口として、延べ360件の相談を受け、成年後見制度の利用促進を図った。また地域ケア会議等へ参加し、後見人候補者と本人のマッチング支援も行った。成年後見制度の周知及び後見人の活動支援については、新型コロナウイルス感染予防対策をした上で、講演会を2回、相談会を1回、後見人懇談会を2回開催した。生活支援員については、今年度新規登録が4名、登録者総数は39名であった。

(2) 【重点】市民後見人の育成

地域福祉権利擁護事業の利用から、成年後見制度の利用へ移行する1ケースに

ついて、市民後見人登録者を後見人候補者として推薦し、家庭裁判所に申し立てを行った結果、7月に後見人として選任され、多摩市社会福祉協議会は後見監督人として選任された。9月に、当ケースの方が亡くなったため、後見人の業務開始から終了までの手続き等について、後見監督人として監督及び助言を行った。

5. 多様な相談機会の提供

(1) 【重点】生活支援の推進（(仮称)高齢者安心サポート事業)

高齢者に対して、アンケートを用いてニーズ調査を実施するにあたり、アンケート項目を作成するため、法政大学の協力を得て、事前準備として独居高齢者に対しインタビュー調査を実施した。インタビュー調査の結果を踏まえ、ニーズ調査のアンケート項目を作成中である。

【見直し・拡充】

1. ふれあい・いきいきサロン等の立ち上げ・運営支援と活動支援

令和2年度はふれあい・いきいきサロンは112箇所(内近トレは42団体)となった(令和3年3月末現在)。コロナ禍ではあるが、今年度新規3団体が立ち上がった。

コロナ禍でのサロン活動について、「感染症対策や活動における留意点」について、全団体に通知を発送し、注意喚起を促すとともに自宅でできる体操のチラシも同封して配布した。なお年1回のイベントである「サロン交流会」については密が避けられないため「紙面交流会」として実施した。

2. 「ボランティア・地域活動見本市」の見直し

令和元年度、試行的に「福祉フェスタ」内にて当該事業を開催した結果、内容の精査は必要なものの一定の成果を得たことから、令和2年度も「福祉フェスタ」を開催会場として実施する予定であったが、コロナ禍により「福祉フェスタ」が中止となったため、当該事業も中止とした。

3. ボランティア団体、NPO・市民活動団体支援の拡充

東永山複合施設の閉鎖に伴い、ボランティア団体の新たな活動拠点について市と協議を行った結果、令和4年度から、現在多摩ボラセン内に設置されているオリンピック・パラリンピック推進室跡地をボランティア活動室として使用する方向となった。これにより、多摩ボラセン本センター（ヴィータ・コミュニネ内）のレイアウトを変更し、現打ち合わせコーナーやパソコン研修室をパーテーション等で区切りながら、全てを活動室とすることにより、団体の活動場所を確保することができた。(レイアウト変更は令和4年度)

また、多摩市では市民活動団体の公共施設の使用に関しては、原則受益者負担となっているため、多摩ボラセン登録団体の部屋の使用に関して「無料」とする根拠整理を行い、新たに「多摩ボランティア・市民活動支援センター団体登録制度実施

要綱」及び「同実施要綱細則」を制定し、令和3年度より多摩ボラセンへの団体登録の可否及び施設使用にあつては、団体区分を設け、その区分により使用の制限を設けるなど、多摩ボラセン登録団体の在り方並びに支援内容について整理した。

さらに、「ボランティア活動等振興助成金交付要綱」に関しても、その財源が市補助金（税金）であることから、「福祉課題や地域課題の解決を目的とした事業」に限定し助成金を交付することとした。

4. 災害ボランティアセンター運営体制の拡充

近年多発している「風水害」をテーマに「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止した。

訓練は実施することができなかったが、災害ボランティアセンター運営体制を拡充するため、以下のとおり取り組んだ。

○南多摩ブロック社協（八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）間で災害支援協定を締結した。また、この5市社協で、災害時に共通に活用する災害ボランティアセンターオリエンテーション動画等の作成に取り組んだ。

○「災害ボランティア育成講座」を開催し、2名が新規に登録した。

（登録者52名 令和3年3月末現在）

○水害及び感染症対策を盛り込んだ「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を、多摩社協職員による班長会及び各班会議を開催し、作成に取り組んだ。

5. 広報媒体の強化

令和2年度より、「ボランティア通信」をカラー8ページとし、写真やイラストを活用することや、配色を意識しながら編集するとともに、これまでの予定や報告中心の紙面から、ボランティアの活動紹介やコラム的な要素を増やし、読み物としての紙面校正を意識的に行った。

また、多摩大学中村その子ゼミに協力いただき、クイズやクロスワード、間違い探しなどの企画を紙面に盛り込むなど、親しみやすい紙面内容の充実に取り組んだ。

さらに、フードドライブ協力店舗にも配架し、配架先の拡充も行った結果、各配架先の残数が少なくなり、多くの方々に手にとってもらうことができた。

6. 障害理解、啓発の取り組み推進

コロナ禍によりひとときの和は中止、開催校は次年度に順延となった。次年度に向け、障がい理解のパンフレット作成について検討を開始した。

ひきこもり家族会支援においては、コロナ禍でもつながりを失わないよう、役員と連絡を取り合い、親なきあとを考える講演会を共催。家族会を周知することで新たな参加者を得ることができた。

7. 財政基盤の強化

自動販売機設置事業において、前年度より継続調整の新規福祉協力店1事業所への自販機設置を開始し、市内工事現場2箇所に自販機の新規設置、市内公園施設の改修完了に合わせて再設置をそれぞれ行った。

1 みんなが“つながり”“助けあえる”仕組みを広げます

1-1 地域住民主体の小地域福祉活動の促進

- コミュニティエリアごとに地域福祉コーディネーターを配置し、地域住民や関係機関からの相談対応や地域福祉推進委員会の運営支援を行うことで、人と人、人とサービスをつなぎ、制度の狭間にある生活課題や地域課題の解決に向けた取り組みを進めていきます。
- たすけあい有償活動の推進や自治会等福祉活動の支援を継続し、地域での支え合いの仕組みづくりに取り組みます。
- ふれあい・いきいきサロン活動の推進を継続しながら、サロンなどに限らず幅広く地域の方々の通いの場となる居場所づくりに取り組みます。

| | | | |
|--------------------------|--|--|---|
| No. 1-1-1-1 重点 | 地域福祉推進委員会の運営支援 | | まちづくり推進担当 |
| 内 容 | <p>10のコミュニティエリアごとに設置した「地域福祉推進委員会」の運営を、エリアごとに作成した地域福祉推進委員会活動計画に則して、わいわいがやがやみんなが集い、楽しみ、住民同士のつながりやささえあいを創出しながら、課題解決に向けた取り組みを支援していきます。</p> <p>また、この計画は本計画同様に3年ごとに見直しをしていくため、普段委員会に参加していない方など広く地域住民の方々の声を聞きながら、計画の見直しをすすめていきます。</p> | | |
| 活動計画 (年次計画) | <p>令和2年度 (2020年度)</p> <p>●各地域福祉推進委員会活動計画に則して運営支援</p> | <p>令和3年度 (2021年度)</p> <p>●各地域福祉推進委員会活動計画の見直し検討</p> | <p>令和4年度 (2022年度)</p> <p>●各地域福祉推進委員会活動計画の見直し検討・作成(令和5年度～令和7年度の計画)</p> |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | <p>●エリアごとに作成した地域福祉推進委員会の活動計画について委員会の参加者、団体等に周知し、各地域福祉推進委員会の活動の方向性など、共通認識を持って委員会運営を住民主体でできるように支援していく。</p> | | |



| | |
|------|--|
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●緊急事態宣言等、コロナ禍で委員会を中止にせざるを得ない状況が続き、活動計画どおりに取り組めない状況であった。 ●コロナ禍における地域課題を抽出し、地域福祉活動での対面を避けたつながり方の手法としてICT (Zoom等の導入) の活用を各委員会で検討し、進めた。 <p>委員会での将来的なICT導入に向けて、世話人会を中心に検討を行い、各エリアの活用事例や実践方法については、地域福祉推進委員会情報交換会を開催して広く委員会に周知・共有した。</p> <p>委員会のはじめての試みとして連光寺・聖ヶ丘地区ではZoom (オンライン) による開催を行った(R3.1月)</p> |
|------|--|

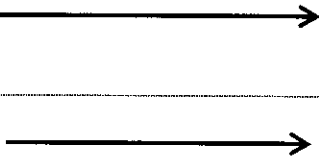
| | | | |
|--------------------------|---|---|---|
| 重点 No. 1-1-2-1 | 住民ニーズの把握と課題・共有化 | | まちづくり推進担当 |
| 内 容 | <p>コーディネーターが、サロン訪問、近トレ訪問、たすけあい訪問、福祉なんでも相談等を通じて、常に個別ニーズ・課題、地域ニーズ・課題の把握に努めていくとともに、地域福祉推進委員会等で幅広く住民ニーズや課題を把握し、共有していきます。その中で出た意見や地域生活課題について、各地域福祉推進委員会で協議していきます。</p> <p>コミュニティエリアよりも小域での取り組みが必要な地域においては、住民懇談会等を開催し、小域で地域福祉推進委員会を設置するなど協議の場づくりに取り組みます。</p> <p>また、明らかになったニーズや課題に対しての取り組みを可視化・共有化していくために、年度ごとに地域福祉コーディネーター及び生活支援コーディネーター報告書を作成します。</p> | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●住民懇談会等を開催 | <ul style="list-style-type: none"> ●住民懇談会等を開催 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●小域での地域生活課題解決の場づくりについて検討 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域生活課題解決を図る協議の場の設置 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域生活課題解決を図る協議の場の設置 |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | <ul style="list-style-type: none"> ●コーディネーターが積極的に地域に出向き、訪問支援等を行いながら地域生活課題を把握し、地域内で共有化を図っていく。 ●地域生活課題解決に向けた取り組みを、コミュニティエリアよりも小域で行うことが必要な地域においては、より小単位の地域で地域住民と地域包括支援センター、民生委員等関係者が連携した取り組みが行えるよう、協議の場づくりについて検討していく。 | | |

| | |
|-------------|--|
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●既設置の地域福祉推進委員会でカバーできていない東寺方地区については、コロナ禍で検討の場を設けることができなかったが、市の地域委員会構想のモデル地区(東寺方小学校区)に選定されたため、市と情報共有を行った。また、同地区で市が主催するエリアミーティングに参加しニーズを把握した。 ●馬引沢・諏訪地区では、地域委員会の同地区地域福祉推進委員会協力のもと、市と若者会議とフィールドワークを実施した。(R3.3月) |
|-------------|--|

| | | | |
|----------------------------------|--|-------------------|-------------------|
| 重点 No. 1-1-3-1 | 自治会・住宅管理組合等小エリア(第3層)での地域福祉活動の展開支援 | | まちづくり推進担当 |
| 内 容 | 自治会・住宅管理組合等小エリアにおける、見守り・支えあい体制の組織づくりを支援していきます。また、「住民同士の支えあい手引き」を作成し、自治会・住宅管理組合等の福祉活動を応援する助成金制度の啓発も含めて、仕組みづくりの手法を可視化し、住民が安心して暮らせるまちづくりをコーディネートしていきます。 | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | ●自治会・住宅管理組合等単位での見守り・支えあい体制の組織づくりを支援 | → | → |
| | ●自治会等助成金制度の啓発 | ●検証 | ●必要に応じて見直し |
| | ●住民同士の支え合いの手引きの作成 | ●周知 | → |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | <ul style="list-style-type: none"> ●自治会・住宅管理組合の助成金の(区分1)に申請のあった4つの団体(永山地区、鶴牧地区、百草団地地区、聖ヶ丘地区)を伴走支援していく。 ●「住民同士の支え合いの手引き」を作成し、自治会・住宅管理組合単位での支え合いの仕組みづくりについて啓発し、仕組みづくりを推進していく。 | | |
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●助成金の申請は19団体あったが、感染拡大により辞退が3団体、事業中止での助成金返還が5団体となり、合計11団体への助成となった。その内、区分1の申請は継続団体が3団体あった。 ●自治会・住宅管理組合の活動も停滞気味な状況の中、コロナ対策に取り組んでいる団体の支援をした。 <p>事例として、「コロナ対策の広報紙を作成し全戸配布した団地管理組合の支援」「団地の掲示板に応援メッセージを掲示し、住民に励ましのメッセージを発信などの支援」「ゴミ出しなど生活支援ニーズのある団地内で、アンケート調査を実施等の支援」など、コー</p> | | |

ディネーターが伴走支援し、コロナ禍でも各団体と連携を取りながら支えあい活動の支援を進めた。

| | | | |
|-------------------------|--|--|--|
| No. 1-1-4-1 | たすけあい有償活動の推進 | | まちづくり推進担当 |
| 内 容 | <p>福祉制度では対応できない、“日常生活のちょっと困った”を支えるお手伝い活動として、たすけあい有償活動を引き続き推進していきます。同時に、住民ニーズに応じて、たすけあい有償活動の見直しを検討していきます。また、今後利用ニーズが増大していくことが予想されるため、協力員の増員を図ります。特に協力員の少ないエリアにおいては、地区や自治会・住宅管理組合等小エリアごとに協力員説明会を開催するなど増員に努めていきます。</p> | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●見直し検討 ●協力員増員(年間新規10人以上) |  | <ul style="list-style-type: none"> ●見直し  |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | <ul style="list-style-type: none"> ●協力員が少ない地域や高齢化が進んでいる地域など、地域ごとに自治会・住宅管理組合と連携して協力員の説明会を開催し、年間10人以上の協力員増員を目指す。また、ニーズを把握し、たすけあい有償活動の見直しの可否を検討していく。 | | |
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●協力員の増員のために、登録が少ない聖ヶ丘地区のコミュニティセンターと豊ヶ丘地区のコミュニティスペースで協力員説明会を2回開催した。活動中の協力員からの紹介等含めて新規11名の増員ができた。 ●買い物支援などは、1時間で活動が終了しないケースがあるため、30分単位で延長できるように、現状に合わせ単位数を見直し、要綱の改正を検討中。利用料や時間設定等について、改めてニーズを調査し、次年度に要綱を改正予定。 ●コロナ禍で、4月中旬から6月上旬の間活動を休止し、現在は内容を縮小し(密になる身体介助などは中止)、活動を継続中。 | | |

| | | | |
|-------------------------|--|---|---|
| No. 1-1-5-1 | ふれあい・いきいきサロン等の立ち上げ・運営支援と活動支援 | | まちづくり推進担当 |
| 内 容 | <p>高齢者や子育て中の親子など地域の誰もが楽しく気軽に立ち寄れる仲間づくりの場として、「ふれあい・いきいきサロン」等通いの場（*）の立ち上げ・運営支援を行います。</p> <p>サロンの開催回数に応じて運営継続支援を行っています。</p> <p>また、通いの場の立ち上げ方、運営の仕方などをわかりやすく可視化するため、サロンのリーフレットを見直し、サロンに限らず幅広く通いの場となる居場所づくりを支援できるよう手引きを作成します。</p> <p>（*）通いの場についての説明はNO. 1-1-6-1 参照</p> | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●100か所以上活動支援 ●居場所づくりの手引きの検討・作成 | <ul style="list-style-type: none"> ●周知 |  |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | <ul style="list-style-type: none"> ●サロン活動が継続できるよう運営支援をする他、サロン活動から小地域福祉活動への発展（例えばサロン団体が子ども食堂を運営など）も支援し、住民同士が自主的に支え合う活動を後押しする。 ●サロン交流会(年1回開催)やサロン通信(年4回)を発行し、サロン同士の交流や情報提供など他団体の活動メニュー等を参考にできる機会を設ける。 ●「居場所づくりの手引き」を作成し、居場所のない地域へ啓発を行い、新たな居場所を地域住民とともにつくっていく。 | | |
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●通いの場づくりを支援するため「通いの場づくりハンドブック」を発行し、市内自治会・住宅管理組合へ送付した。 ●コロナ禍であるが新規団体（聖ヶ丘地区）で1団体の立ち上げを支援した。 ●緊急事態宣言でサロンが開催出来ない中、アンケートを実施して、コロナ禍でのサロンの課題やニーズの把握に努めた。それを基に運営についての相談支援、自宅でできる体操のチラシの配布をするなどフレイル予防に努め、サロン活動を支援した。 ●コロナ禍でサロン交流会は参加者の密を避けられないため、開催を中止し、代替え案として「サロン紙面交流会」を開催した。コロナ禍での各サロンの取組や活動事例を紹介の他、前途のアンケート結果をまとめ、各サロンにフィードバックした。 ●市内サロン数：登録サロン 102 団体 (R3.3 月末現在) ●サロン説明会を2回実施、サロン通信を年4回発行。 | | |

| | | | |
|-------------------------|--|----------------------------|----------------------------|
| No. 1-1-6-1 | 生活支援体制整備事業の推進 | | まちづくり推進 担当 |
| 内 容 | <p>地域福祉コーディネーターが生活支援コーディネーターを兼務し、コミュニティエリア（第2層）での、高齢者の生活支援、介護予防、社会参加を一体的に推進します。</p> <p>今後、ますます高齢化が進んでいくため、地域住民が助け合って、さまざまな機関と連携しながら日常生活を支えていけるようコーディネートしていきます。特に、高齢者自身が支えられるだけでなく、支え手になることでその人の生きがいや介護予防につなげていくため、この支え合い活動の一つである「通いの場（*）づくり」や「通いの場への参加」など通いの場を通じて、地域のつながりの輪を広げ、安心して暮らせる支え合いの地域にしていくことをコーディネートしていきます。</p> <p>また多摩市及び第1層とも連携し、新たな事業を検討し、実施していきます。</p> <p>（*）通いの場とは、地域の人々が集う、身近な交流の場のことをいう。例えば「ふれあい・いきいきサロン」「近所 de 元気アップトレーニング（近トレ）」「認知症カフェ」「子ども・だれでも食堂」「コミュニティカフェ」など。</p> <p>周囲の人との人間関係が希薄化しつつある中、通いの場は、参加者が楽しみながら地域の人間関係を再構築し、つながりをつくるきっかけとなる有効な活動です。</p> | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活圏域の社会資源リストの更新と発信 ● 近トレの他新たな通いの場づくり・参加促進 ● ニーズに応じた新規事業の検討・実施 | <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> | <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の介護予防や社会参加を促進するべく、「近所 de 元気アップトレーニング」等の普及啓発を行う。また、日常生活圏域ごとに社会資源リスト(地域活動支えあいリスト)を発行、更新し、高齢者の「通いの場」への参加促進や情報提供を行う。 <p>また、まるっと協議体(第1層)に参加し、第1層とも連携協力しながら、ニーズに応じて新たな事業を検討、実施していく。</p> | | |
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ● 近トレの新規立ち上げ <p>近トレのない地区(関戸、聖ヶ丘、鶴牧地区)などで支援を行い、新規3団体が立ち上がった。市内近トレ数:42団体(R3.3月末現在)</p> | | |

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ●地域活動支えあいリストの更新 「地域活動・支えあいリスト」の内容を精査し、通いの場などの情報・内容を充実し、見やすい紙面となるようにレイアウト変更し作成した。令和3年度より配布予定。 ●新たな通いの場づくり 9月1日にオープンした豊ヶ丘健幸つながるひろば「とよよん」にて、高齢者が活躍する場所、居場所となるよう通いの場づくりをコーディネートした。また、オンライン導入講座を実施し、高齢者のICT活用に取り組んだ。 |
|--|--|

| No. 1-1-7-1 | 活動拠点の確保 | まちづくり推進担当 | |
|----------------|--|---|---|
| 内 容 | <p>【住民活動の拠点】 身近な地域において社会福祉分野の専門職等と地域住民が協働し、見守りや居場所づくり、食を通じた取り組みや学習支援、生活相談などが展開できる多種多様な福祉コミュニティ（「出会いの場」「協働の場」「協議の場」）が地域に重層的につくられるようコーディネートしていきます。 また、廃止となる東永山複合施設を活動拠点としている諏訪支部社協の位置づけや今後の方向性について、活動拠点の問題含めて協議していきます。</p> <p>同様に、東永山複合施設を活動拠点としている、永山地区及び馬引沢・諏訪地区の地域福祉推進委員会活動の拠点確保に向けた調整もすすめていきます。</p> <p>【地域福祉コーディネーターの拠点】 住民に寄り添った支援（コーディネート）をするため、コーディネーターが常駐する場の確保など、地域に根ざした活動支援を行い、地域の生活課題の早期発見と早期対応を行う体制づくりに取り組みます。 また、そのために地域福祉コーディネーターの業務内容についても精査していきます。</p> | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●健幸つながる広場（豊ヶ丘）の運営支援 ●諏訪支部社協のあり方の検討 ●永山、馬引沢・諏訪地区の地域福祉推進委員会活動の拠点検討 ●地域福祉コーディネーター業務内容の | <ul style="list-style-type: none"> ●検討結果を踏まえて取り組み ●新たな拠点で活動継続支援 ●地域福祉コーディネーター拠点の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域福祉コーディネーター拠点確保に向 |

| | 精査 | けた調整 |
|-------------------------|---|------|
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | <ul style="list-style-type: none"> ●「豊ヶ丘つながるひろば」については、地域の大学や企業、ボランティア団体等と地域住民をつなぎ、住民主体の運営をめざし、多世代が交流できる場＝地域福祉プラットフォーム(*)となるように支援する。 ●廃止となる東永山複合施設については、地域福祉推進委員会の活動拠点として、地域の学校等新たな活動場所を検討しつつ、活動拠点の確保に向けて市と調整していく。 ●地域福祉コーディネーター拠点を確保し、そこに常駐することができるのかの可否を検証するため、業務内容の精査を行う。 <p>(*)地域福祉プラットフォームとは、だれもが気軽に立ち寄り、多世代が交流できる居場所。地域住民の困りごと相談にも対応できる場。</p> | |
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●「豊ヶ丘つながるひろば」については、楽友会、UR、多摩市(健幸まちづくり)と連携を取りながら運営協力を行った。緊急事態宣言が出されたことで、開所を4月から9月に延期した。運営については、住民サポーターを養成し、主体的に活動を担っていけるように支援を行った。住民サポーターは15名登録(R3.3月現在)。多世代の参加者が活動できるよう、企業や、社会福祉法人ネットワーク連絡会とも連携し、プログラム検討を実施した。また、緊急事態宣言下での活動として、オンラインの体験会を実施し、地域へのICT(オンライン)活用の普及を行った。 ●廃止となる東永山複合施設を利用していた、地域福祉推進委員会(永山、馬引沢・諏訪地区)については、学校や福祉館等の施設を活用していく。 ●地域福祉コーディネーターの拠点に関しては、アウトリーチしての活動ができるように、たすけあい有償活動等の事務分掌の整理を行い、組織体制や事務分掌等を見直し、地域に出ていきやすい環境づくりを検討していく必要がある。 | |

2 みんなで“学びあい”“地域を支える心”を育みます！

2-1 福祉を身近に感じる機会の提供

○市民が誰でも参加できる福祉に関わる行事を開催し、福祉活動の意義や重要性の周知や意識の啓発を図ります。

| | | | | |
|-------------------------|--|-------------------|-------------------|------------|
| No. 2-1-1-1 | 福祉に対する意識の醸成のための事業の実施 (福祉大会・福祉フェスタ) | | | 総務係 |
| 内 容 | 幅広い年代の市民の方々へ体験型や啓発事業として各種福祉イベントを開催し、福祉を身近に感じていただくことのできる機会を設けます。また、パラリンピックの開催など福祉への関心が深まる機に準じ、障害への理解やボランティア・地域活動への意識を高めるための事業を計画していきます。 | | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) | |
| | ●福祉大会の開催 | ●(継続) | ●(継続) | |
| | ●福祉フェスタの開催 | ●(継続) | ●(継続) | |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | ●福祉をより身近に感じてもらえるよう、引き続き福祉大会を市内の施設を会場として開催していく。また、唐木田地区の事業として定着を図るため、近隣の施設団体のイベントと同日で福祉フェスタを開催するほか、イベント内で福祉スポーツを行うなど福祉への関心を高める企画を実施する。 | | | |
| 取組結果 | ●コロナ禍での感染拡大防止の観点から、福祉大会・福祉フェスタともに来場を伴うイベントは中止とした。身近な地域での福祉活動について意識啓発を行えるように、地域福祉功労者の表彰について動画を作成。市民が自由な時間で情報を得られるように、オンライン上に公開した。 | | | |

| | | | |
|-------------|---|--|---------------|
| No. 2-1-1-2 | 福祉に対する意識の醸成のための事業の実施 (地域出前事業の開催) | | 多摩ボラセン |
| 内 容 | 学校やボランティア・市民活動団体、関係機関等との連携を図りながら、学校での「総合的学習」や企業での「研修会」などの「地域出前事業」を実施するとともに、「学生向けボランティアハンドブック」や「シニア向けボランティア・地域活動ハンドブック」、「要配慮者からのメッセージ」などを活用した「学習会」の開催に取り組みます。 また、「ボランティア・地域活動見本市」の内容を精査し、新たな事業展開や開催時期など含めてボランティア活動を普及・啓発す | | |

| | | | |
|-------------------------|--|-------------------|-------------------|
| | る機会の見直しを図ります。 | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | ●福祉教育、市民学習機会の提供 「地域出前事業の開催」 (年15回以上開催) | (年15回以上開催) | (年15回以上開催) |
| | ●「普及・啓発事業」の見直し検討・実施 (年1回開催) | ●精査・実施 (年1回開催) | (年1回開催) |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | ●学校や企業などにて、各種ハンドブックも活用しながら、地域出前事業を年15回以上実施する。 ●ボランティア・地域活動見本市を福祉フェスタ内で開催することにより、多くの来場者に体験してもらい、活動者の発掘をする。 | | |
| 取組結果 | ●市内の小学校の総合的学習に協力(5校)。市内の中学校で、高齢者施設と協働で高齢者疑似体験、車椅子学習会を実施。都立永山高校にて「ボランティア活動の紹介」講座を実施した。また、多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会と連携し、車椅子疑似体験や高齢者疑似体験等の総合的学習のニーズに対応した福祉学習マニュアルの検討を始めた。 ●福祉フェスタにてボランティア・地域活動見本市を開催予定だったが、コロナ禍により福祉フェスタ同様中止とした。 | | |

| | | | |
|----------------|---|-------------------|-------------------|
| No. 2-1-2-1 | 障がい者理解の促進 | | センター係 (障がい担当) |
| 内 容 | 「障がい者と共にひとときの和」開催校のニーズに応じたプログラムを実施するとともに障がい者理解を深める内容の充実を図ります。また、福祉イベント等でハンディキャップ体験を実施、地域や関係機関と連携した講座を開催することで障がい者理解を促進します。 | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | ●「障がい者と共にひとときの和」今後の開催に向けて課題等、整理し実施 | | |
| | ●障がい者スポーツを通じた理解の推進 | | |

| | | | |
|----------------------------------|---|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 防災訓練や福祉イベント、学校等でのハンディキャップ体験の実施・協力 | | → |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 関係機関と連携した地域での学習会やミニ理解講座等の開催 | | → |
| <p>令和2年度 事業計画 (実施目標)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 「障がい者と共にひとときの和」を年2校、開催校のニーズに応じて、福祉団体をはじめ、市内社会福祉法人や企業の協力を得ながら、福祉を身近に感じてもらえるよう交流と福祉体験を実施する。 ● 関係機関と連携し、福祉フェスタや地域での防災訓練にて、ハンディキャップ体験を実施し、子ども等に体験を通じて、障がい者への理解につなげていく。 | | |
| <p>取組結果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍によりひとときの和は中止、開催校は次年度に順延となった。次年度に向け、障がい理解のパンフレット作成について検討を開始した。 ● 福祉フェスタ等のイベントも中止となり、人が集う場での障がい理解体験の実施は行うことができなかった。 ● 聞こえと補聴器の相談会はコロナ禍により年3回予定が2回の実施となり、定員8名を超える申込があった。相談会を機に市内の専門外来との繋がりができ、今後の相談対応時に連携が図れることとなった。 | | |

2-2 ボランティア・地域活動者の発掘・育成

○ボランティア活動や有償活動等、地域の福祉活動や健康づくり活動に積極的に関わっていく人材を育成します。また、単体組織・団体では解決できない課題等に対応していくため、ボランティア団体、NPO・市民活動団体との連携及び支援を強化していきます。

| | | | | |
|-------------------------|---|-------------------|-------------------|-----|
| No. 2-2-1-1 | ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成（社協活動協力員） | | | 総務係 |
| 内 容 | 社協理事・評議員経験者をはじめ、地域で福祉活動を実践しているなど福祉に理解のある幅広い方々に呼びかけをして、活動協力員を増やしていきます。 | | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) | → |
| | ●社協活動協力員の 拡充 | | | |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | ●協力員へ幅広い内容の協力活動の呼びかけをし拡大していく。 役員・支援員等退任・退職者に依頼し協力員数を増やしていく。 | | | |
| 取組結果 | ●コロナ禍により活動は制限されたが、退任・退職者の協力が得られ増員した。(R3.3月末協力員数29名) | | | |

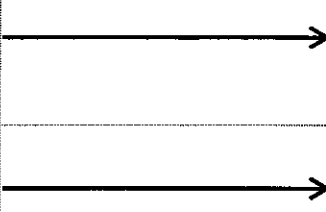
| | | | | |
|--------------------------|---|--|--|--------|
| 重点 No. 2-2-1-2 | ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成（多世代のボランティア・市民活動者） | | | 多摩ボラセン |
| 内 容 | <p>子どもからシニアまでを対象に幅広く各年代がボランティア活動等に関心を持ち、気軽に参加できるよう様々なプログラムを実施します。</p> <p>特に、学生がボランティア活動に関心を持ってもらうように、大学等に出向いてボランティア体験の受付や相談窓口の機会を設け、適切な情報提供などをしながら、社会ニーズと学生ニーズのマッチングを行っていきます。同時に、継続的な活動につなげていくためにボランティアサークルの立ち上げ支援や学生個人ボランティアのネットワークづくりなど、学生に寄り添った活動支援を行っていきます。</p> <p>また、元気な高齢者がボランティア・地域活動に参加しやすい環境を整えるために、「多摩市介護予防ボランティアポイント事業」(市受託事業)を実施しながら、活動者の裾野を広げていきます。地域で定期的に相談窓口を設置するなど、高齢者に寄り添った活動支援を行っていきます。</p> | | | |

| | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
|-------------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 活動計画 (年次計画) | ●夏のボランティア体験の拡充 (体験メニュー 100メニュー以上) (参加者400人以上) | (体験メニュー 105メニュー以上) (参加者425人以上) | (体験メニュー 110メニュー以上) (参加者450人以上) |
| | ●市内大学(5校)でのボランティア出張相談窓口等の検討・設置 (大学1校) | ●出張相談窓口等の設置 (大学2校以上) | ●出張相談窓口等の設置 (大学4校以上) |
| | ●市民活動講座の開催(フォローアップ講座を含む) (年2講座以上) | (年2講座以上) | (年2講座以上) |
| | ●多摩市ボランティアポイント事業の拡充 | | |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | <ul style="list-style-type: none"> ●市民活動講座や夏のボランティア体験等を実施して、活動・体験後に活動先と協力して講座受講者・体験者が地域で活動できる場をコーディネートすることで、参加者増へつなげていく。 ●多摩市介護予防ボランティアポイント登録者説明会および出張相談を毎月実施する。また高齢者だけでなく、学生のボランティア参加を増やしていくため、大学でのボランティア出張相談窓口等の設置に取り組む。 | | |
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍により夏のボランティア体験は中止としたが、活動希望者には、受入れ可能な施設等を紹介し、個別マッチング(3件)を行った。 ●多摩大学と関係づくりを行ったことにより、大学内にボランティアコーナー設置についての相談が先方よりあり、令和3年度に調整することになった。 ●昔遊びボランティア養成講座を開催(次年度以降ボランティア団体として活動予定)。また、ボランティアと協力して動画作成し福祉施設にYouTubeの配信やオンライン研修の開催など、コロナ禍に対応する新しいボランティア活動を実施した。 ●ボランティアポイント事業については、コロナ禍により登録施設でのボランティア受け入れを休止しているところが多かったが、新規登録者には受け入れ先を調整し活動に入ってもらった。(マッチング数21件) | | |

| | | | |
|-------------------------|---|-------------------|-------------------|
| No. 2-2-1-3 | ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成（老人福祉センター） | | センター係（高齢担当） |
| 内 容 | 老人福祉センター利用者や同好会へのボランティア活動等の紹介、地域への広報活動を行い、よりボランティアニーズに応じた具体的な活動に結びつくようコーディネート支援します。 | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | ●活動紹介、コーディネートの機会の拡充 | (活動団体3団体) | (活動団体5団体) |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | ●関係部署や地域との連携をとり、地域への同好会ボランティア活動の紹介、ボランティアポイント制度の案内、ニーズの掘り起こしに関わり、活動につながるよう支援する。 | | |
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍の影響を受け、老人福祉センター利用者や同好会活動自体の減少、地域活動自体の縮小もあり、地域活動やボランティア活動の情報提供・コーディネートの機会は限られた。 ●豊ヶ丘の地域拠点「とよよん」の趣旨に賛同を得て、折り紙同好会の毎月定例の出前講習会へのボランティア協力・活動につながった。 | | |

| | | | |
|-------------------------|--|-------------------|-------------------|
| No. 2-2-1-4 | ボランティア、地域活動への住民参加の促進及び福祉人材の育成（同行援護従事者） | | センター係（障がい担当） |
| 内 容 | 視覚障がい者の移動や情報支援のための同行援護従事者の増員につながるように、当事者団体や多摩ボラセン、養成校等と連携し取り組みます。 | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | ●より安定した派遣を行うため、同行援護従事者の増員を図る。 (新規登録者3名) | | |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | ●同行援護従事者募集のチラシを同行援護従事者養成校に配布してもらおう。また有償ボランティア説明会等に参加し地域で福祉の仕事に関心がある方に紹介し増員につなげる。 | | |
| 取組結果 | ●コロナ禍でも研修の実施を予定していた従事者養成校及び日本点字図書館に募集チラシを配布したことや、ふくしだより等の広報誌への掲載により、新規に5名の方が従事者登録を行った。 | | |

| | | | |
|-------------------------|---|---|---|
| No. 2-2-2-1 | 個別ニーズに応じたボランティア活動支援(コーディネート)の推進 | | 多摩ボラセン |
| 内 容 | <p>個人に対するボランティア活動支援を求められるニーズが少しずつ増えてきています。そのような個別ニーズに対応するため、たすけあい有償活動の仕組みを活かした、「新たな支え合い活動の仕組みづくり(ちょいボラ等)」の検討やボランティアの養成方法、ボランティアをサポートする体制づくりを検討し、双方に寄り添ったコーディネートに取り組んでいきます。</p> <p>特に、自治会のない地域や高齢化率の高い地域では、自治会単位での助け合い活動が難しく、地域での顔の見える関係が希薄化し、とじこもりがちになり孤立しているケースもあるため、まちづくり推進担当の地域福祉コーディネーターが取り組む居場所づくりと連携し、個別ニーズに応じたボランティア活動支援に取り組んでいきます。</p> | | |
| 活動計画 (年次計画) | <p>令和2年度 (2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住民ニーズ調査の検討・実施 ●新たな支え合い活動の仕組みづくりの検討 | <p>令和3年度 (2021年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアの養成方法やボランティアをサポートする仕組みづくりの検討・構築 ●新たな支え合い活動の仕組みを構築 | <p>令和4年度 (2022年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新たな支え合い活動システムを試行実施 |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | <ul style="list-style-type: none"> ●地域で多様化、複雑化する個別ニーズに対して、新たな住民相互の支え合い活動の仕組みづくり(ちょいボラ等)の検討を進めるため、住民ニーズ調査等を検討し、個別ニーズの把握に取り組む。 | | |
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●貝取・豊ヶ丘地区地域福祉推進委員会で「高齢化率が高く、エレベーターのない団地が多いため、買い物やゴミ出しが困難な人が多い」などの課題や京王移動販売でも「荷物が持てず買いたいものをあきらめている人が増えている。住民同士のささえあいで対応できないか。」などのニーズもあり、また、住民の地域活動の拠点となる「健幸つながるひろば(とよよん)」が豊ヶ丘に開設されたことから、この地区をモデル地域として取り組むことにした。とよよんを拠点に高齢者の居場所やちよつとした困りごと(ニーズ)の調査、買い物支援等担い手の発掘に繋がる事業を検討したが、コロナ禍により「とよよん」が閉所となったことから、具体的な取り組みは次年度以降に実施することになった。 | | |

| | | | |
|-------------------------|---|---|---|
| No. 2-2-3-1 | ボランティア団体、NPO・市民活動団体支援の拡充 | | 多摩ボラセン |
| 内 容 | <p>東永山複合施設の閉鎖に伴い、多摩ボラセン永山分室が使用できなくなるため、多摩ボラセン打ち合わせコーナーの拡張や総合福祉センター等をボランティア団体が使用できるように調整します。</p> <p>また、多摩ボラセン登録団体の支援内容を運営委員会にはかり、登録団体基準等の見直しを検討します。</p> | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア活動団体の活動拠点の整備 ● ボランティア登録団体基準等の見直し・検討要綱等の改正 | <ul style="list-style-type: none"> ● 新たな拠点での支援を開始 ● 新たな基準等での支援を開始 |  |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | <ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、ボランティア・市民活動団体の活動拠点について、市と調整しながら、整備を進める。 <p>また、整備にあわせて、ボランティア登録団体基準や要綱等も見直し、ボランティア・市民活動団体の活動を支援していく。</p> | | |
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ● 永山分室の廃止・移転に伴い、多摩ボラセン内オリパラ推進室終了後の活用及び総合福祉センター704 研修室の活用等について市と協議を行い、概ね活動拠点の整理を行うことができた。 ● 「団体登録制度実施要綱」及び「同実施要綱細則」を制定し、多摩ボラセン登録団体の活動内容の公益性を明確化するとともに、施設利用に関しては「団体区分」により優先順位を設け、差別化を図ることとした。また、運営委員会内に「審査会」を設け、団体登録の可否、団体区分の審査を行うことで、より客観性や公平性を向上させることとした。「ボランティア活動等振興助成金交付要綱」に関しては、その財源が市補助金(税金)であることを踏まえ、福祉活動や地域活動を行う団体への助成する内容に改正した。 | | |

2-3 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進

○市内の企業、学校、社会福祉法人等による地域貢献活動に対する支援やコーディネートを行うとともに、民間団体の福祉的活動への支援を推進します。

| | | | | |
|----------------------------------|---|--|--|-------------------|
| <p>重点 No. 2-3-1-1</p> | <p>多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築 (多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会)</p> | | | <p>総務係</p> |
| <p>内 容</p> | <p>市内社会福祉法人や地域団体・福祉活動団体、企業等と連携しながら、生活困窮・閉じこもり・災害時の支援のような新たな地域ニーズ・生活課題に対しての公益的取組を検討し実施していきます。</p> | | | |
| <p>活動計画 (年次計画)</p> | <p>令和2年度 (2020年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●法人連携による生活支援・地域活動支援の取組の継続 ●新たな連携事業の実施 | <p>令和3年度 (2021年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業内容の精査 | <p>令和4年度 (2022年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業の継続、見直し ●地域ニーズに関する情報収集 | |
| <p>令和2年度 事業計画 (実施目標)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●食品の寄付受付窓口設置取組を通じて、フードバンク団体等への支援を継続して行っていく。また、災害発生時の協力活動や、若い世代への福祉啓発など、各法人・各施設が協力して行う新たな地域での取組を進めていく。 | | | |
| <p>取組結果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●連絡会内各法人によるフードドライブ実施に向けた食品寄附受付を継続して行い生活困窮者、食支援団体へ提供した。 ●また、小中学校で行われている総合的学習に、若い世代への福祉意識醸成を目的とし、連絡会で協力していくことを決定。ボランティア担当と連携し、総合的学習の場で行われる車椅子体験における内容・実施方法などについて、共通のマニュアルを検討・作成するための作業部会を設置した。 | | | |

| | | | | |
|----------------------------------|---|--|--|----------------------|
| <p>重点 No. 2-3-1-2</p> | <p>多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築 (「(仮称)多摩地域企業・大学ネットワーク連絡会」の設置)</p> | | | <p>多摩ボラセン</p> |
| <p>内 容</p> | <p>市内社会福祉法人や福祉活動団体、企業等の地域福祉活動への参画を促進し、連携・協働しながら、多様な福祉ニーズや生活課題などを解決できるように「多摩地域企業等情報交換の集い」を開催するとともに、ゆるやかなネットワーク化を図りながら、「(仮称)多摩地域企業・大学等ネットワーク連絡会」の組織化に取り組みます。</p> <p>連絡会設置後は、企業等情報交換の集いと題して行ってきた学習会等や「たまボランティアギフト」の仕組みなどの見直しは、連絡会の中で協議し、それぞれの企業等が「ヒト・モノ・コト・カネ」含めて、協働した取組を行っていただけるように活動を支援(コー</p> | | | |


| | | | |
|-------------------------|--|---|-------------------------------------|
| | ディネート) していきます。 | | |
| | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| 活動計画 (年次計画) | <ul style="list-style-type: none"> ●「多摩地域企業等情報交換の集い」の開催 ●「(仮称)多摩地域企業・大学等ネットワーク連絡会」の設置・運営支援 <p>(参加企業等 20 社以上)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●連絡会運営支援 ●企業等との協働活動(地域貢献活動)の推進 <p>(参加企業等 22 社以上)</p> | <p>—————→</p> <p>(参加企業等 24 社以上)</p> |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | <ul style="list-style-type: none"> ●多摩地域の企業等と連携・協働して、多様な福祉ニーズ、生活課題の解決につながるよう「多摩地域企業等情報交換の集い」などの学習会を開催するとともに、ゆるやかなネットワーク化を図り、「(仮称)多摩地域企業・大学等ネットワーク連絡会」を設置し組織化を行う。 ●組織化後に「たまボランティアギフト」の仕組みの見直しを連絡会にて協議し、企業等の協働した取り組みを支援する。 | | |
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●大学や企業等がもつノウハウをボランティア活動や地域・社会貢献活動につなげるために、大学や企業等との連携の「場」として、令和2年11月に「多摩地域企業・大学等連絡会(ゆるたまネット)」を発足した。 (※参加事業所:25 事業所) ●「多摩地域企業等情報交換の集い」に関しては、ゆるたまネットの学習会を兼ねて開催した。新型コロナウイルス感染拡大の影響によって生活困窮者・世帯が増大している情勢をふまえ、「食を通じた支援」をテーマに、「ヒト(食料配送ボランティア)、モノ(食材等の寄付)、コト(フードドライブ実施)、カネ(お金を子ども食堂等に寄付)」などのニーズに応じた取り組みを、多摩ボラセンがコーディネートした。 ●ゆるたまネットの最初の事業として、生活に困窮している「大学生以下の子どもがいる世帯」や「大学生」を対象に、「食料詰め合わせキット無料配布事業」を令和3年度に試行実施することを決定した。 | | |

| | | | |
|-------------------------|--|-------------------|-------------------|
| No. 2-3-1-3 | 多様な主体の参画の促進と連携・協力体制の構築 (福祉協力店) | | 総務係 |
| 内 容 | 自販機設置の設置を協力していただける新規福祉協力店を開拓し、本会財政基盤の強化を図っていきます。 | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | ●自販機設置の新規 協力店の開拓 | ●拡充 | ●見直し |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | ●自動販売機の新規協力店を、2店舗獲得を目指す。 また自動販売機の設置について、多摩市の入札情報を随時確認し、工事現場への設置を行う。 | | |
| 取組結果 | ●福祉協力店の設置は、1店舗減・1店舗新規となった。 工場現場への設置は、1箇所減(工事終了に伴う撤去)・1箇所新規となった。 | | |

3 みんなの暮らしに“安心”を届けます！

3-1 権利擁護の推進

○成年後見制度をはじめとした権利擁護に関する事業の周知・啓発を図るとともに、市民後見人の育成に努めます。

| <div style="text-align: center;">  No. 3-1-1-1 </div> | 権利擁護センターの運営 | | | 権利擁護センター |
|---|--|---|--------------------------------|--------------------------------|
| 内 容 | 高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、福祉サービスの利用支援や、成年後見制度の利用相談等を行います。また、後見活動等の相談や成年後見制度に関わる講演会等を実施し、成年後見制度の普及啓発を行います。 | | | |
| 活動計画 (年次計画) | 福祉サービス利用支援事業の推進 | 令和2年度 (2020年度) ●新規契約 25件 ●普及啓発事業継続 | 令和3年度 (2021年度) ●新規契約 25件 | 令和4年度 (2022年度) ●新規契約 25件 |
| | 生活支援員の育成 | ●年3回生活支援員募集を行う。 ●年2回生活支援員研修会を実施。 | | |
| | 成年後見制度の利用促進 | ●成年後見に関する講座、学習会の開催(年5回) ●相談事業継続 | | |
| | 成年後見人等支援の推進 | ●後見人懇談会の開催(年3回) ●相談事業継続 | | |
| 令和2年度事業計画 (実施目標) | ●成年後見制度利用者支援事業の受託に伴い、成年後見制度の一次相談窓口機能の充実など、中核機関としての役割を担っていく。 ●高齢者や障がい者およびその家族に、制度・事業説明を行い権利擁護支援が必要な方に適切な支援を行う。 ●福祉サービス利用支援事業の担い手である生活支援員の育成を行う。 | | | |
| 取組結果 | ●新規契約者 28名(内訳:認知症 12名、精神障がい 10名、高次脳機能障がい 3名、身体障がい 3名) | | | |

| | |
|--|--|
| | <p>R2 年度末契約者数 119 件。解約者数 24 件。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生活支援員募集は2回実施。新規生活支援員 4 名登録。生活支援員研修及び連絡会については、新型コロナウイルス感染予防をテーマに、オンラインツールを活用し、1回実施。 ●社会福祉士などの専門職が、法定後見制度と家族信託のメリット及びデメリットや制度の利用方法等について講演を行った。新型コロナウイルス感染拡大により、講座が一部中止になったが、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、成年後見制度の周知を図った。(2 回実施、参加者 10 名) ●司法書士会と連携し、成年後見制度に関する相談会を実施した。(1 回実施、参加者 3 名) ●専門職及び親族の後見人等を対象とした懇談会を実施。専門職後見人懇談会については、不動産や証券等の財産管理の方法等、実践的な内容を参加者同士で話し合った。(2 回実施、参加者 10 名) ●成年後見制度の相談件数は 360 件。本人の権利擁護支援に関する検討の場(地域ケア会議等)への参加 16 件。後見人候補者と本人のマッチング支援 21 件。 |
|--|--|

| | | | |
|---------------------------|---|----------------------|----------------------|
| 重点 No. 3-1-2-1 | 市民後見人の育成 | | 権利擁護センター |
| 内 容 | <p>地域住民による支え合いを推進するにあたり、市民後見人を研修や実践を通じて育成を行います。また、法人後見監督人*となり市民後見人の後見活動等支援を行います。</p> | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和 2 年度 (2020 年度) | 令和 3 年度 (2021 年度) | 令和 4 年度 (2022 年度) |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●市民後見人の養成を受けた人に対してケース受任 ●法人後見監督人として受任、市民後見人の支援・監督 | → | → |
| 令和 2 年度 事業計画 (実施目標) | <ul style="list-style-type: none"> ●社協に登録した市民後見人へフォローアップ研修を行い、ケース受任に繋げていく。 ●受任された市民後見人に対して法人後見監督人として市民後見人の支援と監督を行う。 | | |

*法人後見監督人：成年後見人等の事務執行を監督する者のこと。市民後見人が家庭裁判所から後見人などに選任された場合、社会福祉協議会等の法人が市民後見人による活動を監督する。

取組結果

- 1件について、7月に市民後見人候補者が後見人として受任。また、多摩市社会福祉協議会が法人後見監督人として受任。9月に同1件が死亡により終了。後見人の業務開始から終了までの手続き等を市民後見人の報告を受けながら、後見監督人として監督及び助言を行った。

3-2 多様な相談機会の提供

○相談者のニーズに即した専門相談機能を充実するとともに、相談者への包括的支援を目指し、各相談機関及び関係機関との連携を図る体制づくりを進めます。

| | | | | |
|-------------------------|--|-------------------|-------------------|------------------|
| No. 3-2-1-1 | 相談窓口の拡充 | | | まちづくり推進担当 |
| 内 容 | <p>多様化・複雑化する地域生活課題に対応するため、身近な相談場所を広く設置し、分野を問わない「福祉なんでも相談」を実施します。相談者の多様なニーズに応じるため、組織内での連携はもとより、行政や関係機関と連携を図ります。</p> | | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) | |
| | ●地域相談窓口(福祉なんでも相談窓口)の設置(10箇所以上実施) | —————→ | | |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | <p>●現在、10カ所で実施している「福祉なんでも相談」については、社協内(権利擁護センター、地域活動センター)や専門機関と連携しつつ継続して実施する。また、「脳トレ」や「ミニ講座」を開催し、参加した高齢者等の顕在化したニーズ以外にも、潜在化したニーズを発見し専門機関等へつなぎ個別課題の早期発見・解決に努める。</p> | | | |
| 取組結果 | <p>●緊急事態宣言下で、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、コミュニティセンター等が閉館になったエリアは、福祉なんでも相談を中止とした。(拠点の開館状況等により、中止・再開時期は異なる)</p> <p>●また、福祉なんでも相談が中止となったコミュニティセンター等では、電話による相談を受け付けているチラシを掲示して対応した。</p> | | | |

3-3 災害時支援体制の強化

○災害時・緊急時に平常時から備えるとともに、災害時・緊急時には市民同士が助け合えるような仕組み・関係を構築します。

| No. 3-3-1-1 | 災害ボランティアセンター運営体制の拡充及び 災害時要配慮者支援の啓発の推進 | | 多摩ボラセン |
|----------------|--|-------------------|-------------------|
| 内 容 | <p>地域の連携を深め、災害時に高齢者や障がいのある人などが災害弱者にならない体制づくりに努め、日頃から災害に備えた対策を進めるとともに、災害発生時に迅速な対応ができる体制を整備します。</p> <p>災害の規模や内容に応じた「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施し、適時「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」の改訂に取り組むなど、日頃から災害に備えた対策を進めていきます。</p> <p>あわせて、災害発生時に迅速な対応ができるよう体制を整備していきます。</p> <p>また、地域防災訓練などに参加しながら地域との連携を深め、冊子「要配慮者からのメッセージ」などを配布するなど、災害時に高齢者や障がいのある人などが災害弱者にならない体制づくりの必要性を当事者とともに啓発していきます。</p> | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | ●講座を実施して登録 運営ボランティアを 増やす (登録者数 55 人以上) | (登録者数 60 人以上) | (登録者数 65 人以上) |
| | ●災害の規模、内容に 応じた災害ボランティア センター設置・運営訓 練の実施 (年1回) | (年1回) | (年1回) |
| | ●災害ボラセン運営ボ ランティア登録者連 絡会の開催 (年1回) | (年1回) | (年1回) |
| | ●「災害ボランティアセン ター設置・運営マニ ュアル」を適時見直し ●災害時要配慮者支 援の啓発 (年3回以上) | (年3回以上) | (年3回以上) |

| | |
|----------------------------------|---|
| <p>令和2年度 事業計画 (実施目標)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●被災地での災害ボランティアセンター運営の経験を活かした実践的な「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施する。 ●日頃から災害に備えた対策を進めるため、「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を必要に応じ都度改訂する。 ●地域防災訓練などに参加し、地域との連携を深め「要配慮者からのメッセージ」を配布し、災害時の避難に配慮が必要な方々が、災害弱者にならないような体制づくりを当事者とともに啓発していく。 ●災害発生時に迅速な対応ができる体制を整備するため、訓練等に協力した市民より災害ボラセン運営ボランティア登録者を増やし、登録者向けの連絡会を開催する。 |
| <p>取組結果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●近年多発している「風水害」をテーマに「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。訓練は実施することができなかったが、災害ボランティアセンター運営体制を拡充するため、以下のとおり取り組んだ。 ①南多摩ブロック社協(八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市)間で災害支援協定を締結した。 ②5市社協で、災害時に共通に活用する災害ボランティアセンターオリエンテーション動画等の作成に取り組んだ。 ③「災害ボランティア育成講座」を開催し、2名が新規に登録した。(登録者52名 R3.3月末現在) ④水害及び感染症対策を盛り込んだ「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を、多摩社協職員による班長会及び各班会議を開催し、作成に取り組んだ。 |

3-4 情報発信の強化

○ふくしだよりをはじめ、インターネットやSNSなど多様な情報媒体の活用による福祉情報の発信体制を強化します。

| | | | | |
|---------------------------|---|----------------------|----------------------|-------------------|
| No. 3-4-1-1 | 広報媒体の拡充 | | | 総務係、多摩ボラセン |
| 内 容 | <p>情報発信機能の強化のため、ホームページをリニューアル及びFacebook や Twitter などの SNS を活用し、タイムリーな情報発信と相互情報交換が可能になる仕組みを導入するとともに、スマートフォン用ホームページの構築を図ります。</p> <p>また、紙媒体による情報を必要とされる方のために、ホームページや SNS に誘導するだけでなく、ふくしだよりやちらしを見やすいデザインへの変更やボランティア通信のリニューアルも検討します。</p> | | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和 2 年度 (2020 年度) | 令和 3 年度 (2021 年度) | 令和 4 年度 (2022 年度) | |
| | ●ホームページのリニューアルの検討・実施 (スマートフォン用ホームページ含む) | ●精査 | ●充実 | |
| | ●ボランティア通信のリニューアル検討・実施 | ●精査 | ●充実 | |
| | ●Facebook、Twitter の導入検討・実施 | ●精査 | ●充実 | |
| | ●ふくしだより、ちらしの構成見直し | ●実施 | —————→ | |
| 令和 2 年度 事業計画 (実施目標) | <p>【多摩ボラセン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボランティア通信をモノクロ版からカラー版で作成し、構成内容も検討しながら読みやすい広報紙を発行する。 <p>【総務係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ホームページ上の各情報を分野（係）ごとに見やすいようにする。 ●ふくしだよりを、他市社協だよりを参考にしながら、文字情報が増えすぎないようにレイアウトを構成し、部会で検討していく。 | | | |
| 取組結果 | <p>【多摩ボラセン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カラー8 ページになったことにより、写真を大きく多く活用することや配色を意識しながら編集。また、多摩大学中村ゼミに協力してもらい、ボランティア通信の企画検討など内容充実させた。結果、商業施設などの配架部数が増加した。 | | | |

【総務係】

- ホームページのスマートフォン表示について、業者とレイアウト調整を行い、スマートフォンからの画面表示の切り替えを行った。
- 部会の実施は 2 回にとどまったが、編集会議にてふくしだよりの紙面構成の変更を行い、新しい内容の記事（コロナ禍での取り組みなど）を掲載した。

3-5 多様なサービスの提供

○地域住民の福祉ニーズの把握を行い、地域住民が適切なサービスの利用や活動への参加ができるよう、社協受託事業を中心とした福祉サービスの提供体制づくりを推進します。

| No. 3-5-1-1 | 老人福祉センターの充実 | | センター係 (高齢担当) |
|-------------------------|---|-------------------|-------------------|
| 内 容 | 高齢者が充実した地域生活を送れるように、健康増進・いきがいづくり事業、特に退職後の男性の参加が見込まれる内容の精査・実施をするとともに、同好会等にむけて、社会貢献活動についての情報提供や働きかけの強化を図ります。 | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | ●講座内容の見直し精査、新規講座2講座以上(年間20講座以上実施) | → (年間21講座以上実施) | → (年間22講座以上実施) |
| | ●ボランティア活動・地域活動につながる講演講座の実施(年間2講座以上) | → | → |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | ●寿大学や水中運動教室等において男性の参加がしやすい講座プログラムを取り入れるとともに、同好会への社会貢献活動の紹介や活動の機会のコーディネートなども関係部署と連携し、新たな地域活動への参加につなげる。 | | |
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染予防対策として、使用する部屋の状況に合わせて講座の定員を半数にした上、定員減を補うため同一コースを増やすなどの対応を優先したため、新規の講座を開講するに至らなかった。 ●同好会活動は全体的にコロナ禍の影響を受け中止や縮小の動きが多かったが、豊ヶ丘の地域拠点「とよよん」において、折り紙同好会の月1回の出前講習会へのボランティア協力を得て、継続した活動につながった。 | | |

| | | | | |
|-------------------------|--|---|---------------------------|---------------------------|
| No. 3-5-2-1 | 地域活動支援センター（障がい者福祉センター）の充実 | | センター係（障害担当） | |
| 内 容 | 地域活動支援センターの充実によるサービスの利用拡大や地域活動への参加を進めるとともに、関係機関と連携した障がい者理解の機会の提供を行います。 | | | |
| 活動計画 (年次計画) | 利用者のニーズに沿った活動やツールの提供 | 令和2年度 (2020年度) <ul style="list-style-type: none"> ●高次脳機能障がい者向けのプログラムの実施 ●地域活動支援センター講座の開催(年12講座) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | 将来安心した生活を送るための相談会等の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ●親なきあと相談会の検討・実施 | ●精査 | ●実施 |
| | プログラムを通じたボランティアの育成と障がい者理解の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ●ボッチャ貸出、体験会開催。 ●【再掲】 スポーツを通じた障がい者理解の推進 ●【再掲】 防災訓練や福祉イベント、学校等でのハンディキャップ体験の実施・協力 ●【再掲】 関係機関と連携した地域での学習会やミニ理解講座等の開催 | | |
| | | | | |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | <ul style="list-style-type: none"> ●失語症・高次脳機能障害・統合失調症等のある方を対象としたグループ活動を毎月実施、社会参加と当事者同士の交流の場を提供していく。 ●各種12講座を開催し、社会参加と交流、体力向上を支援する。 | | | |

| | |
|------|--|
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●各種講座は、年 12 講座の開催を予定していたが、コロナ禍により前期コースが中止となり、年 8 講座の開催となった。 ●親なきあと相談や、高次脳機能障がい者向けグループ活動・失語症のある方のグループ活動は人数や時間短縮などの感染症対策をしながら 6 月より再開し、安心して繋がることのできる場への参加ニーズが寄せられた。 ●グループ活動は参加希望者に対し受入枠の制限があり、希望通りの参加受入ができていない状況がある。 |
|------|--|

| | | | | |
|---------------------------|--|---|----------------------|----------------------|
| No. 3-5-3-1 | 障害福祉サービスの提供 | センター係 障害担当 | | |
| 内 容 | 同行援護・意思疎通支援等、その人に必要な多様なサービスの提供と、他機関との調整・連携を行います。 | | | |
| 活動計画 (年次計画) | <ul style="list-style-type: none"> ●同行援護従事者派遣事業の推進 ●意思疎通支援事業(手話通訳者派遣・要約筆記者派遣)の推進 | 令和 2 年度 (2020 年度) | 令和 3 年度 (2021 年度) | 令和 4 年度 (2022 年度) |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ●適切なサービスの提供 ●社会参加の促進 ●他機関との連携による利用者支援 | | |
| 令和 2 年度 事業計画 (実施目標) | <ul style="list-style-type: none"> ●安定した派遣を行い障害のある方の社会参加につなげる。 また、利用者の高齢化に伴い関係機関と連携しその方が予定した支援が受けられ安定した生活を維持継続する。 | | | |
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●同行援護/本来は外出支援を行う事業だが、生活や医療面での支援を必要としている利用者には、障害福祉課や他の事業所等と連携し対応することでサービスの利用に繋がるなど、より安定した生活を送れるようになった。 ●意思疎通支援(手話)/コロナウィルスの流行中も通院に対する派遣依頼が多数あり、フェイスシールドの貸与など感染症対策を講じて事業を継続した。新たに動画配信や議会本会議への手話通訳依頼が増えたため、市とも情報共有し通訳者への説明の機会を設けた。 | | | |


| | | | |
|-------------------------|--|-------------------|-------------------|
| No. 3-5-4-1 | 生活支援の推進（貸付事業） | | 総務係 |
| 内 容 | 生活困窮者等への貸付事業制度の周知と、しごと・くらしサポートステーション等との連携を通して、必要な生活支援を行います。 | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | ●貸付事業の実施 | | → |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | ●相談を通じて利用者との信頼関係を築き、支援につながる貸付を行い、償還完了までの支援が継続できるよう民生委員との連携体制を作る。 | | |
| 取組結果 | <p>●生活福祉資金の相談件数は1,397件、うち貸付決定件数は10件。また、小口資金の相談件数は51件、うち貸付決定件数は1件だった。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の影響を受け、失業や休業等で収入減少された方を対象に、生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）が令和2年3月から開始され、その後、総合支援資金については、令和2年7月から延長申請が、令和3年2月から再貸付申請が開始された。</p> <p>緊急小口資金の相談件数は2,504件、うち申請件数は1,032件（貸付件数については、東社協から多摩社協への通知がなく不明）、総合支援資金の相談件数は2,092件、うち貸付決定件数は初回申請706件、延長申請316件、再貸付申請138件だった。</p> <p>主に低所得者向けの通常的生活福祉資金が、今回新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方へ要件が緩和されたことで、特例貸付に申し込まれた方が多かったため、通常的生活福祉資金の貸付相談が減少した。</p> <p>●生活福祉資金特例貸付の総合支援資金の申請について、生活困窮者自立支援窓口への相談が必須となっていることから、多摩市しごと・くらしサポートステーションや多摩市役所生活福祉課等関係機関と連携して、申請者の支援を行った。</p> | | |

| | | | |
|--------------------------|--|-------------------|-------------------|
| 重点 No. 3-5-4-2 | 生活支援の推進（（仮称）高齢者安心サポート事業） | | 権利擁護センター |
| 内 容 | 新たな取り組みとして高齢者の入院時支援などの対応を行う「（仮称）高齢者安心サポート事業」について検討を行います。 | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | ●ニーズ調査 | ●事業内容について 検討 | ●試行実施 |
| | | → | |

| | |
|-------------------------|---|
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | ●民生委員や地域包括支援センターなど関係機関を通じて、高齢者が地域で安心して生活を送るための課題やニーズの調査を行う。 |
| 取組結果 | ●ニーズ調査の前段として、アンケート項目作成にあたり、法政大学の協力を得て、独居高齢者6名に対しインタビュー調査を実施。ニーズ調査のためのアンケート項目を作成中。 |

| | | | |
|-------------------------|---|-------------------|-------------------|
| No. 3-5-4-3 | 生活支援の推進（住民主体による訪問型サービス） | | まちづくり推進 担当 |
| 内 容 | 多摩市の介護保険制度の介護予防日常生活支援総合事業である「住民主体による訪問型サービス」の事業者として、地域包括支援センターが作成したケアプランに基づいてサービスを提供します。サポーターはたすけあい有償活動の協力員登録をしている者で、多摩市が実施する研修を受講終了した者がサービス従事にあたるようにしているため、協力員増員の取り組みにあわせて活動者を発掘・育成していきます。 | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | ●サポーター増員(年間新規10人以上) *たすけあい協力員の育成と連動 | —————→ | |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | ●たすけあい有償活動の協力員説明会を自治会・住宅管理組合と連携し小エリアで開催することで増員を目指すと同時に、登録の協力員に対し市主催の研修会の周知を徹底し参加を促すことで生活サポーターの登録数増員を目指す。 | | |
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●生活サポーター増員のため、たすけあい有償活動の協力員へ、市が主催する生活サポーター養成講座の受講を促した。また、新規の活動者獲得へ向け、たすけあい有償活動協力員説明会を開催と同時に、生活サポーター養成講座の案内を行った。また、生活サポーター養成講座受講者で事業所未登録者についてもアプローチを行った。(今年度生活サポーターの新規登録者4人) ●サービスの提供については、コロナ禍で4月中旬から6月上旬まで活動を休止した。休止期間中にどうしても支援が必要なケースが生じた場合は、職員が対応予定であったが、このようなケースはなかった。 | | |

| | | | |
|-------------------------|---|-------------------|-------------------|
| No. 3-5-4-4 | 生活支援の推進（フードドライブ等事業） | | 多摩ボラセン |
| 内 容 | <p>既存の「誰でも食堂、子ども食堂」運営団体やフードバンク団体と連携を強化し、フードバンク・フードドライブ事業の普及・啓発に取り組みます。</p> <p>また「子ども食堂等活動支援金」は支援対象経費が限られているため、より柔軟に支援金を交付できるように要綱の見直しを行います。</p> | | |
| 活動計画 (年次計画) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) | 令和4年度 (2022年度) |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●フードドライブ等事業の推進 ●「子ども食堂等活動支援金実施要綱」の見直し・改正・実施 | → | → |
| 令和2年度 事業計画 (実施目標) | <ul style="list-style-type: none"> ●「誰でも食堂、子ども食堂」運営団体やフードバンク団体のほか、「多摩市内社会福祉法人ネットワーク連絡会」や令和2年度に設置される「(仮称)多摩地域企業・大学等ネットワーク連絡会」を通じて、各団体の開催するイベント等でのフードドライブ受付窓口設置を推進する。 また、「子ども食堂等活動支援金実施要綱」の見直しを行い、より柔軟な仕組みづくりを行い、子ども食堂等運営団体を支援する。 | | |
| 取組結果 | <ul style="list-style-type: none"> ●市民・企業・大学等より多摩市社協が実施するフードドライブへの協力を幅広く呼びかけたことで、多くの食品・食材の寄付を受けることができた。 ●ダイエーが運営する市内2店舗がフードドライブの窓口となり、受付窓口を拡充することができた。 ●寄付された食材は、フードバンク団体や子ども・誰でも食堂へ配布し、貧困世帯、ひとり親家庭等への食の支援につながった。 ●「子ども食堂等活動支援金実施要綱」の改正は引き続き見直しを検討。 | | |

| | | | |
|---|---|--|--|
| <p style="text-align: center;">重点</p> <p>No. 3-5-4-5</p> | <p style="text-align: center;">生活支援の推進（ひきこもり家族支援）</p> | | <p style="text-align: center;">センター係 （障害担当）</p> |
| <p style="text-align: center;">内 容</p> | <p>関係機関と連携してひきこもり家族会を支援し、当事者や家族、支援者に必要な助言や情報提供、支援機関の紹介等を行い、ひきこもり当事者の自立を支援していきます。</p> | | |
| <p style="text-align: center;">活動計画 （年次計画）</p> | <p style="text-align: center;">令和2年度 （2020年度）</p> | <p style="text-align: center;">令和3年度 （2021年度）</p> | <p style="text-align: center;">令和4年度 （2022年度）</p> |
| | <p>●ひきこもり家族会の運営会議・定例会に協力し、講演会等を実施</p> |  | |
| <p style="text-align: center;">令和2年度 事業計画 （実施目標）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●ひきこもり家族会運営のための助言や情報提供、活動場所の支援、関係機関との連携・協力を実施、センターだよりやチラシにて広報を行い、当事者とその家族等に向けて広く周知する。 ●ひきこもり等に関する講演会・勉強会開催に協力し、サポート方法とひきこもり等への理解につなげていく。 | | |
| <p style="text-align: center;">取組結果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍でもつながりを失わないよう、会の役員と連絡を取り合い、会の意向を確認しながら情報提供などを行った。 ●11月に、共催で行政書士による親なきあとを考える講演会を開催、周知チラシにより新たな参加者を得ることができた。 | | |

令和2年度 事業報告書

附属明細書

1 組織運営

(1) 三役会の開催

| | |
|---------------------|----------------------|
| 第1回 (R2. 4. 9) | 第7回 (R2. 10. 29) |
| 第2回 (R2. 5.) ※書面開催 | 第8回 (R2. 12. 7) |
| 第3回 (R2. 7. 2) | 第9回 (R2. 12. 24) |
| 第4回 (R2. 8.) ※書面開催 | 第10回 (R3. 2.) ※書面開催 |
| 第5回 (R2. 8. 27) | 第11回 (R3. 2. 18) |
| 第6回 (R1. 10. 1) | |

令和3年3月31日現在の役員・評議員の状況

| | 理事 | 監事 | 評議員 |
|-----|-------|----|-------|
| 定数 | 10～15 | 2 | 30～35 |
| 現員数 | 14 | 2 | 34 |

(2) 理事会の開催

| | |
|-----------------|--|
| 第1回 (R2. 6.) | 書面決議 |
| 【審議事項】 | |
| 第1号議案 | 令和2年度職員勸奨退職実施要綱の制定について |
| 第2号議案 | 嘱託職員雇用等に関する規則の一部改正について |
| 第3号議案 | 臨時職員雇用等に関する規則の一部改正について |
| 第4号議案 | 給与規程の一部改正について |
| 第5号議案 | 令和元年度事業報告について |
| 第6号議案 | 令和元年度決算について |
| 第7号議案 | 令和2年度補正予算について |
| 第8号議案 | 令和2年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集について |
| 第2回 (R2. 9.) | 書面決議 |
| 第9号議案 | 第23期評議員選任候補者の推薦について |
| 第3回 (R2. 11.) | 書面決議 |
| 第10号議案 | 令和2年度補正予算について |
| 第4回 (R3. 1.) | 書面決議 |
| 第11号議案 | 多摩ボランティア・市民活動支援センター団体登録制度実施要綱及び要綱細則の制定について |
| 第12号議案 | ボランティア活動等振興助成金要綱の一部改正について |
| 第13号議案 | 子ども食堂等活動支援金実施要綱の一部改正について |
| 第14号議案 | 同行援護従事者設置要綱の一部改正について |
| 第15号議案 | 令和2年度補正予算について |
| 第16号議案 | 令和2年度第3回評議員の招集について |
| 第5回 (R3. 3. 11) | 出席者12名 |
| 第17号議案 | 定款の変更について |
| 第18号議案 | 就業規則の一部改正について |
| 第19号議案 | 育児休業等に関する規則の一部改正について |
| 第20号議案 | 介護休業等に関する規則の一部改正について |
| 第21号議案 | 給与規程の一部改正について |

| | |
|--------|---------------------|
| 第22号議案 | 嘱託職員雇用規則の一部改正について |
| 第23号議案 | 臨時職員雇用規則の一部改正について |
| 第24号議案 | 令和2年度補正予算について |
| 第25号議案 | 令和3年度事業計画について |
| 第26号議案 | 令和3年度予算について |
| 第27号議案 | 令和2年度第4回評議員会の招集について |

(3) 評議員会の開催

| | |
|---------------|---------|
| 第1回 (R2.6.) | 書面決議 |
| 第2回 (R2.11.) | 書面決議 |
| 第3回 (R3.1.) | 書面決議 |
| 第4回 (R3.3.22) | 出席者 27名 |

(4) 監査の概要

| | | |
|-------------------|-----------|-----------|
| 第1回 (令和元年度決算監査) | (R2.6.14) | 出席者 監事 2名 |
| 特別な改善事項の指摘はなし。 | | |
| 第2回 (令和2年度中間決算監査) | (R2.11.5) | 出席者 監事 2名 |
| 特別な改善事項の指摘はなし。 | | |

(5) 各委員会の活動報告

| | | |
|---------------|--------------|--------|
| 地域福祉活動計画推進委員会 | | |
| 開催状況 | 第1回 (R3.3.1) | 出席者 7名 |

| | | |
|--------------------------|---------------|---------|
| 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会 | | |
| 開催状況 | 第1回 (R2.6.12) | (文書決議) |
| | 第2回 (R2.9.17) | 出席者 10名 |
| | 第3回 (R2.12.8) | 出席者 10名 |
| | 第4回 (R3.2.15) | 出席者 14名 |
| | 第5回 (R3.3.23) | 出席者 11名 |

| | | |
|---------------|---------------|--------|
| 権利擁護センター運営委員会 | | |
| 開催状況 | 第1回 (R2.12.4) | 出席者 3名 |
| | 第2回 (R3.2.12) | 出席者 5名 |

| | | |
|---------|---------------|--------|
| 役員選考委員会 | | |
| 開催状況 | 第1回 (R2.10.7) | 出席者 6名 |

| | | |
|------------|------|--|
| 苦情解決第三者委員会 | | |
| 開催状況 | 開催なし | |

(6) 各部会の活動報告

| | |
|------|------|
| 総務部会 | |
| 開催状況 | 開催なし |

| | | | |
|--------|-----|------------|--------|
| 広報広聴部会 | | | |
| 開催状況 | 第1回 | (R2.10.20) | 出席者 7名 |
| | 第2回 | (R2.12.14) | 出席者 4名 |

| | |
|----------|------|
| イベント推進部会 | |
| 開催状況 | 開催なし |

| | | | |
|-------------|-----|-------------|---------|
| 地域福祉まちづくり部会 | | | |
| 開催状況 | 第1回 | (R 2.12.14) | 出席者 14名 |

| | | | |
|-------|-----|-------------|--------|
| 部会連絡会 | | | |
| 開催状況 | 第1回 | (R 2.12.24) | 出席者 7名 |

(7) 後援名義の使用許可状況

| 年度 | 28 | 29 | 30 | R1 | R2 |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 後援名義使用許可件数 | 23件 | 25件 | 24件 | 27件 | 13件 |

(8) 多摩社協活動協力員登録状況

| 年度 | 29 | 30 | R1 | R2 |
|------|-----|-----|-----|-----|
| 登録者数 | 23人 | 23人 | 26人 | 29人 |

2 連絡調整

(1) 実習生の受入れ状況

| 年度 | 人数 | 期間 | 学校名 |
|----|----|----------------------------|------------|
| 28 | 5 | H28. 2. 1～3. 7 (24日) 2人 | 大妻女子大学 |
| | | H28. 8. 1～9. 8 (24日) 2人 | 大妻女子大学 |
| | | H28. 10. 3～11. 15 (24日) 2人 | 明星大学、武蔵野大学 |
| | | H29. 2. 1～3. 8 (24日) 1人 | 大妻女子大学 |
| 29 | 5 | H29. 8. 1～9. 6 (24日) 2人 | 大妻女子大学 |
| | | H29. 10. 5～11. 27 (25日) 2人 | 明星大学、武蔵野大学 |
| | | H30. 2. 7～3. 15 (24日) 1人 | 大妻女子大学 |
| 30 | 5 | H30. 8. 6～9. 8 (24日) 2人 | 大妻女子大学 |
| | | H30. 10. 1～11. 25 (25日) 2人 | 明星大学、武蔵野大学 |
| | | H31. 2. 5～3. 11 (24日) 1人 | 大妻女子大学 |
| R1 | 4 | R1. 8. 7～9. 10 (24日) 1人 | 大妻女子大学 |
| | | R1. 10. 1～11. 11 (24日) 1人 | 武蔵野大学 |
| | | R1. 10. 1～11. 12 (24日) 1人 | 明星大学 |
| | | R2. 2. 3～3. 9 (24日) 1人 | 東海大学 |
| R2 | 4 | R2. 8. ～9 (24日) 2人 | 大妻女子大学 |
| | | R2. 10～11. (24日) 1人 | 明星大学 |
| | | R3. 3. 8～3. 19 (10日) 1人 | 大妻女子大学 |

(2) 講師の派遣

| 年度 | 日数 | テーマ | 学校名 |
|----|----|---------------------------|----------|
| 28 | 1 | ボランティア活動について | 東京医療学院大学 |
| | 2 | 多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課題 | |
| 29 | 1 | ボランティア活動をはじめるとにあって | 東京医療学院大学 |
| | 2 | 地域の保健医療福祉 | |
| 30 | 1 | ボランティア入門 | 東京医療学院大学 |
| | 2 | 地域の保健医療福祉 | |
| R1 | 1 | ボランティア入門 | 東京医療学院大学 |
| | 2 | 地域の保健医療福祉 | |
| R2 | | なし | |

3 普及・啓発

(1) 会報「ふくしだより」の発行

単位：円

| 年度 | 発行数 | 配布方法 | 内 容 | 広告収入 | 発行経費 |
|----|--------------------------------------|--|-------------------|---------|-----------|
| 28 | 年6回 発行 (5・7・9・ 11・1・3 月) | ・ポスティングによる全戸配布(平成25年度から実施) ・公共施設、郵便局、福祉協力店等に配架 ・声のふくしだよりの送付(録音テープ、デイジー版(29年度より実施)を視覚障がい者に送付) | タブロイド版 70,000部 | 397,000 | 3,674,987 |
| 29 | | | | 300,000 | 3,408,749 |
| 30 | | | | 455,000 | 4,793,591 |
| R1 | | | | 396,150 | 4,901,740 |
| R2 | | | | 155,000 | 5,502,911 |

(2) 福祉バザー

単位：円

| 年度 | 日時 | 場所 | バザー等 収入 | バザー 経費 | 収益額 | 備考 | |
|----|---|--------------|----------------------|-----------|---------|------------------------------|-------------------------|
| 28 | 28.10.16(日)、 29.2.22(水) ～25(土) 10:00～15:00 | 総合福祉 センター | 734,905 (570,365) | 64,984 | 669,921 | 福祉フェスタ、春の発表会、福祉大会の開催日に合わせて実施 | |
| 29 | 29.10.15(日)、 30.2.21(水) ～24(土) 10:00～15:00 | | 693,265 (673,915) | 83,392 | 609,873 | | |
| 30 | 30.10.21(日)、 30.2.20(水) ～22(金) 10:00～15:00 | | 612,131 (599,331) | 20,038 | 592,093 | | 福祉フェスタ、春の発表会の開催日に合わせて実施 |
| R1 | R1.10.20(日)、 10:00～15:00 | | 412,721 (295,500) | 32,438 | 380,283 | | 福祉フェスタ開催日に合わせて実施 |
| R2 | 未開催 | - | - | - | - | 感染症拡大防止のため開催せず | |

※バザー等収入額は、バザー出店参加費、飲み物販売、寄附品の販売等その他収入を含む。

()内の数字はバザーのみの収入額

(3) 福祉フェスタ

| 年度 | 日時 | 場所 | 来場者数 | 内容 | 備考 |
|----|----------------------------|-------------------------------------|------------------------|--|---|
| 28 | 28.10.16(日) 10:00～15:30 | 総合福祉 センター および アクアブ ルー多摩 | 約4,500人 ※天候： くもり | ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催(共同企画スタンプラリー等実施) ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん | 協賛・協力：27団体 参加：63団体 協力者(ボランティア)62人 |

| | | | | | |
|----|----------------------------|---|------------------|--|---|
| 29 | 29.10.15(日) 10:00~15:00 | | 約4,200人 ※天候：雨 | <ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催（共同企画スタンプラリー等実施） ・多摩市共催 地域福祉フォーラム ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん | 協賛・協力：28団体 参加：65団体 協力者（ボランティア）71人 |
| 30 | 30.10.21(日) 10:00~15:00 | | 約4,300人 ※天候：晴 | <ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつり、大妻多摩祭との同日開催（共同企画スタンプラリー、キャラクターの交流事業実施） ・就活応援セミナー、フードドライブ受付 ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん | 協賛・協力：15団体 参加：55団体 協力者（ボランティア）63人 |
| R1 | R1.10.21(日) 10:00~15:00 | | 約4,000人 ※天候：曇 | <ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつり、大妻多摩祭との同日開催（共同企画スタンプラリー、キャラクターの交流事業実施） ・ボランティア・地域活動見本市 in 福祉フェスタ 2019 ・障がいスポーツボッチャ体験会 ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん | 協賛・協力：16団体 参加：52団体 協力者（ボランティア）53人 |
| R2 | 未開催 | - | - | - | 感染症拡大防止のため開催せず |

(4) 福祉大会

| 年度 | 日時 | 場所 | 内容 | 参加者 |
|----|---------------------------|-----------------------------|---|---|
| 28 | 29.2.25(土) 10:00~16:00 | 総合福祉センター およびアクアブル ー多摩 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表 ・式典(表彰者：個人30人、6団体) 感謝状：個人8人、14団体) 第4次地域福祉活動計画概要報告 ・映画「無念」チャリティ上映会 協力：1団体、参加：32団体 | <ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 39人 ・来賓者 20人 ・来場者 1,800人 |
| 29 | 30.2.24(土) 10:00~15:00 | | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表 ・バリアフリー映画上映会 ・式典(表彰者：個人27人、4団体) 感謝状：個人5人、16団体) | <ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 36人 ・来賓者 21人 ・来場者 1,000人 |

| | | | | |
|----|--------------------------------|---------------------|--|--|
| | | | 平成 29 年度事業報告 フラダンス同好会ステージ発表 協力：1 団体、参加：25 団体 | |
| 30 | 31. 2. 9(土) 13:00 ～16:45 | パルテノ ン多摩小 ホール | 「法人化 45 周年平成 30 年度福祉大会」 ・福祉功労者の表彰式典及びミニコンサート (表彰者：個人 26 人、10 団体) 感謝状：個人 31 人、204 団体) ・子どもの貧困に関する講演会 講師：首都大学東京子ども・若者貧困研究セ ンター長 阿部 彩 氏 役員等研修参加者 64 人、一般参加者 212 人、行政職員等 8 人 | ・受賞者 81 人 ・来賓者 23 人 ・式典/講演会延べ 来場者 486 人 |
| R1 | R2. 2. 29(土) (式典中止) | | ・福祉功労者の表彰(表彰状：個人 16 人、9 団体、感謝状：個人 5 人、21 団体)、郵送 にて賞状と記念品を贈呈 ・多摩市共催講演会「誰もが安心して暮らせ る地域づくりに向けて」、多摩桜の丘学園に よるアトラクションは中止 | |
| R2 | R3. 2. 27(土) (式典中止) | | ・福祉功労者の表彰(表彰状：個人 18 人、7 団体、感謝状：個人 10 人、14 団体)、郵送 にて賞状と記念品を贈呈 ・ふくしだより紙面および多摩社協 HP 上 にて表彰者を紹介。表彰者へのメッセージを 撮影し、オンライン上で公開。 | |

(5) メールマガジン配信状況

| 年度 | 29 | 30 | R1 | R2 |
|------|-----|-----|-----|-----|
| 登録者数 | 810 | 815 | 765 | 734 |
| 配信回数 | 6 | 12 | 16 | 13 |

※原則毎月 1 5 日に配信。そのほか不定期に配信

※平成29年10月より配信開始

(6) 福祉協力店状況

| 年度 | 29 | 30 | R1 | R2 | |
|------------------|---------|----|----|----|----|
| 店舗数 | 66 | 76 | 75 | 80 | |
| 協 力 内 容 | 募金箱 | 53 | 57 | 57 | 58 |
| | 広報紙 | 60 | 63 | 65 | 69 |
| | 自販機 | 7 | 6 | 5 | 5 |
| | 車椅子 | 4 | 4 | 7 | 9 |
| | 入れ歯回収 | - | 3 | 3 | 5 |
| | フードドライブ | - | - | - | 2 |

※平成29年度より「災害用自動販売機（自販機）の設置」及び「車椅子の設置」を新設

※平成30年度より「入れ歯回収ボックスの設置」を協力内容に新設

※令和2年度より「フードドライブ」を協力内容に新設

※協力内容（内訳）の件数は延べ数

4 組織強化活動

(1) 会員賛助金の状況

会費及び賛助金の単位：円

| 区分・単価 (円) | 28年度 | | 29年度 | | 30年度 | | R1年度 | | R2年度 | |
|------------------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|
| | 件数 | 賛助金 | 件数 | 賛助金 | 件数 | 賛助金 | 件数 | 賛助金 | 件数 | 賛助金 |
| 個人会員 @500以上 | 3,320 | 2,287,211 | 3,302 | 2,457,118 | 3,465 | 2,561,440 | 2,997 | 2,229,700 | 2,504 | 2,094,200 |
| 団体会員 3,000以上 | 151 | 504,000 | 168 | 559,500 | 178 | 585,500 | 185 | 612,873 | 155 | 615,100 |
| 特別会員 10,000以上 | 102 | 1,245,000 | 120 | 1,385,000 | 118 | 1,467,000 | 112 | 1,345,000 | 108 | 1,295,000 |
| 合計 | 3,573 | 4,036,211 | 3,590 | 4,401,618 | 3,761 | 4,613,940 | 3,294 | 4,187,573 | 2,767 | 4,004,300 |

(2) チャリティーゴルフ大会

| 年度 | 日にち | 場所 | 参加者 | 参加費 収入 | 協賛 収入 | 大会 経費 | 収益額 | 備考 |
|----|----------------|-------------|------|-----------|----------|----------|---------|--|
| 28 | 28.6.27 (月) | 桜ヶ丘カントリークラブ | 162人 | 332,000 | 371,400 | 70,987 | 632,413 | 協賛： 41団体、個人4人 |
| 29 | 29.6.19 (月) | 桜ヶ丘カントリークラブ | 165人 | 340,000 | 399,000 | 75,751 | 663,249 | 協賛： 46団体、個人4人 |
| 30 | 30.6.18 (月) | 桜ヶ丘カントリークラブ | 158人 | 332,000 | 370,600 | 72,497 | 630,103 | 協賛： 43団体、個人2人 |
| | 30.12.3 (月) | 府中カントリークラブ | 118人 | 592,500 | 234,600 | 374,450 | 452,650 | 協賛： 18団体、個人4人 |
| R1 | 01.7.8 (月) | 桜ヶ丘カントリークラブ | 174人 | 352,000 | 343,800 | 97,235 | 598,565 | 協賛： 29団体、個人2人 |
| | 01.12.2 (月) | 府中カントリークラブ | 94人 | 515,000 | 162,800 | 363,720 | 314,080 | 協賛： 12団体、個人2人 |
| R2 | 02.12.7 (月) | 府中カントリークラブ | 113人 | 348,000 | 250,600 | 123,212 | 475,388 | 協賛： 18団体、個人3人 (経費には中止した 6月桜ヶ丘大会の案内 通知経費含む) |

(3) 寄付金の状況

単位：円

| 区分 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 | |
|------|-------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 一般寄付 | 1,209,746 | 2,028,021 | 1,270,461 | 1,537,622 | 1,079,968 | |
| 指定寄付 | ボランティア 基金 | 15,285 | 9,557 | 31,353 | 50,000 | 442,281 |
| | ボランティア・ 市民活動支援 | 181,347 | 244,688 | 231,430 | 194,600 | 165,940 |
| | 小地域 福祉活動 | 100,000 | 95,000 | 45,879 | 87,538 | 26,205 |
| | その他 | - | - | - | - | 272,912 |
| 合計 | 1,743,933 | 2,779,266 | 1,579,123 | 1,869,760 | 1,987,306 | |

※その他は、用途を「子ども食堂」「フードドライブ・フードバンク事業」「地域活動支援センター」へ指定

5 助成事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

| 区分 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|----|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 4,916,000 | 3,643,916 | 74.12 | 6,509,000 | 4,869,499 | 74.8 |

② 支出の状況

単位：円

| 区分 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|----|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 4,916,000 | 2,362,777 | 48.06 | 6,509,000 | 4,345,583 | 66.8 |

(2) 福祉団体補助

① 令和2年度実績

| 目的 | 団体へ補助することで、地域福祉の充実と発展を図る。 | |
|----------|---------------------------|------------------|
| 補助 団体 | 13 団体 | |
| | ① おしゃべりノササゲの会 | (パーキンソン病患者と家族の会) |
| | ② サンクラブ多摩 | (精神障がい者の家族会) |
| | ③ 多摩市失語症友の会こだま | (失語症当事者の会) |
| | ④ 多摩市視覚障害者福祉協会 | (視覚障がい者当事者の会) |
| | ⑤ 多摩市手をつなぐ親の会 | (知的障がい児者と保護者の会) |
| | ⑥ 多摩市遺族会 | (遺族会) |
| | ⑦ 多摩市身体障害者福祉協会 | (身体障がい者当事者の会) |
| | ⑧ 特定非営利活動法人くぬぎ | (知的障がい児者の会) |
| | ⑨ 多摩市聴覚障害者協会 | (聴覚障がい者当事者の会) |
| | ⑩ 多摩草むらの会 | (精神障がい者と家族の会) |
| | ⑪ プレイルームゆづり葉の家 | (知的障がい児者の会) |
| | ⑫ 多摩市ひとり親家庭の会ほほえみ | (ひとり親家庭の会) |
| | ⑬ 特定非営利活動法人暉望 | (障がい者の会) |
| 補助 金額 | 総額 1,503,470 円 | |

上記 13 団体を交付決定したが、新型コロナウイルスの影響のため、4 団体（多摩市失語症友の会こだま・多摩市手をつなぐ親の会・プレイルームゆづり葉の家・特定非営利活動法人暉望）が事業中止に伴い、全額返還となった。

② 過去5年間の状況

単位：円

| | 29 年度 | 30 年度 | 30 年度 | R1 年度 | R2 年度 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 補助団体 | 15 団体 | 13 団体 | 13 団体 | 13 団体 | 13 団体 |
| 補助総額 | 2,509,712 | 2,197,282 | 2,197,282 | 2,182,880 | 1,503,470 |

(3) 老人クラブ連合会事業費補助金

連合会が行う事業に要する経費の一部を補助することにより、高齢者間の交流や親睦、連合会の活動の活発化を図る。

補助団体：多摩市老人クラブ連合会

補助金額：150,000 円(年額) ※事業費（芸能大会、車椅子講習、体力測定会等）に充当

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により全事業中止につき、全額返還（150,000 円）

(4) 自治会・住宅管理組合ご近所ふくし応援助成金

自治会・住宅管理組合が行う地域での福祉活動（生活支援、見守り活動、地域のまつり、敬老事業、防災・文化活動等）に関する事業に対して助成することで、地域の福祉の振興を図る。

| | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------|------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 対象団体 | 自治会 | 93 団体 | 94 団体 | 92 団体 | 92 団体 | 92 団体 |
| | 管理組合 | 105 団体 | 102 団体 | 100 団体 | 110 団体 | 110 団体 |
| | 計 | 198 団体 | 196 団体 | 192 団体 | 202 団体 | 202 団体 |
| 助成団体 | 自治会 | 36 団体 | 33 団体 | 30 団体 | 26 団体 | 7 団体 |
| | 管理組合 | 35 団体 | 34 団体 | 35 団体 | 35 団体 | 4 団体 |
| | 計 | 71 団体 | 67 団体 | 65 団体 | 61 団体 | 11 団体 |
| 助成総額 | | 1,117,700 | 1,286,750 | 1,407,550 | 1,175,293 | 250,000 |

単位：円

※平成30年度までは、「自治会・住宅管理組合福祉活動助成金」

※上限額：設立助成金：1 団体 5 万円（区分1のみ対象）

活動助成金：区分1…1 団体 5 万円

区分2…1 団体 2 万円

区分3…1 団体 1 万円

（平成30年度までは上限：1 団体 2 万円）

※申請受付期間：前期（区分1～区分3）…7 月 6 日～9 月 30 日（交付決定 10 月）

※令和2年度は、緊急事態宣言を受け、1 次募集（前期）を宣言解除後に延期。これに伴い2 次募集（後期）は実施せず

※令和2年度は、コロナウイルスの影響等で、交付決定 19 団体 395,000 円のうち、交付辞退が 3 団体 55,000 円、事業中止により全額返還した団体が 5 団体 60,000 円、事業の一部中止により一部を返還した団体が 1 団体 30,000 円あり。

（辞退、全額返還については、上記の団体数及び助成総額からは除外）

6 地域福祉活動の推進事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

| 区分 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|----|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 7,193,000 | 3,935,027 | 54.71 | 7,343,000 | 5,232,349 | 71.26 |

② 支出の状況

単位：円

| 区分 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|----|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 7,193,000 | 3,474,532 | 48.30 | 7,343,000 | 4,831,885 | 65.80 |

(2) 相談事業「福祉なんでも相談」

①令和2年度実績

| | |
|---------------|--|
| 開催会場 開催日時 | ① 愛宕かえで館 第2木曜日 午後2時～4時・7回実施) ② ひじり館 第3金曜日 コロナ禍のため実施なし ③ 貝取こぶし館 第1月曜日 (午後1時30分～3時・9回実施) ④ 三方の森コミュニティ会館 第4水曜日 (午後1時30分～3時・8回実施) ⑤ トムハウス 第2火曜日 (午前11時～午後12時・6回実施) ⑥ からきだ菖蒲館 第3火曜日 コロナ禍のため実施なし ⑦ 桜ヶ丘(サロン内) 第4木曜日(午後1時30分～2時30分・3回実施) コロナ禍の為時間短縮して実施 ⑧ 連光寺福祉館 偶数月第4火曜日(午後2時～2時30分・5回実施) ⑨ 大栗川かるがも館 第4火曜日(午後2時～3時30分・4回実施) ⑩ 諏訪福祉館 奇数月第3火曜日(午前9時30分～11時・3回実施) |
| 内 容 | 地域住民の身近な相談を関係する団体等と適切につなぐことで、問題の早期発見と予防に努めるとともに、本協議会や福祉サービスの情報提供及びPRを図る。 地域活動支援センターあんどや権利擁護センターと連携し、専門相談への対応を図る。 |
| 対 象 者 | 市民全般 |
| 相談件数 | 相談件数 36件(高齢33件、障がい2件、その他1件) 事業参加者 141人(脳トレ、ミニ講座等) *前年度同期 80件(高齢69件、障がい7件、居住者支援4件) 事業参加者 581人 |
| 連 携 者 (団体) | コミュニティセンター運営協議会、地域包括支援センター 多摩市役所都市整備部都市計画課、高齢支援課、地域活動支援センターあんど 権利擁護センター |

②過去5年間の状況

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------|------|------|------|------|------|
| 相談件数 | 58 | 86 | 75 | 80 | 36 |

(3) ふれあい・いきいきサロン推進事業

①令和2年度実績

| | |
|-------------|---|
| 内 容 | <p>小地域福祉活動推進にあたり、住民主体で行う地域でのサロン活動の推進と支援を行う。</p> <p>登録団体への支援内容 <活動方法・内容等の相談、情報提供、人材紹介、保険料の負担> <活動費の補助・・設立助成金 20,000円、活動助成金 月1回実施 5,000円、月2回または3回実施 10,000円、月4回以上または週1回以上実施 15,000円> ・保険加入団体105団体 (年度途中で活動休止となった団体が3つあるため、下記登録団体数102と差異あり) ・助成金返還1団体5,000円あり</p> |
| 対象団体 | 市内の任意の市民団体 |
| 連携者 (団体) | サロン活動団体、地域包括支援センター、多摩市、民生・児童委員 |

②過去5年間の状況

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|----------------|---------|---------|---------|-----------|---------|
| 登録団体数 | 63 | 72 | 89 | 105 | 102 |
| 助成団体数 | 54 | 60 | 73 | 89 | 84 |
| 助成総額 (単位：円) | 475,000 | 470,000 | 815,000 | 1,125,000 | 960,000 |

③ふれあい・いきいきサロン説明会

| | |
|------|--|
| 開催日時 | <p>第1回 令和2年10月21日(水) 午前10時～11時30分</p> <p>第2回 令和3年 3月 4日(木) 午前10時～11時30分</p> |
| 会 場 | <p>第1回 永山公民館 視聴覚室</p> <p>第2回 永山ハウス 集会室</p> |
| 内 容 | <p>ふれあい・いきいきサロン・近所de元気アップトレーニングの概要、登録の流れについて説明</p> <p>サロン活動体験談 第1回 動画(落合3-5自治会コミュニティサロンあいあい)</p> <p>第2回 なし</p> |
| 対象者 | 多摩市民 |
| 参加者 | <p>第1回 1人</p> <p>第2回 7人</p> |

④サロン交流会

⇒コロナ禍でサロン交流会が開催出来なかったため、代替企画としてアンケートを実施の上、「サロン紙面交流会」冊子を3月に発行し、各サロンに配布

令和2年度ふれあい・いきいきサロン等活動状況一覧

ア) 本協議会登録サロン

| NO | エリア | サロン名 | 場 所 | 日 時 | 開始年度 | 助成金交付 |
|----|-----|----------------------|------------------------------------|-------------------------------------|------|-------|
| 1 | ① | サロン河原倶楽部 | 関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目) | 毎月第2土曜日 | H21 | 無 |
| 2 | | この指とまれ | ポロン(関戸4丁目) | 毎週月・水・金曜日、 第1火曜日、第3木 曜日、第1土曜日 | H21 | 無 |
| 3 | | 関戸みのり会 | 関戸第一クラブ集会所 (関戸5丁目) | 隔月第1木曜日 | H25 | 無 |
| 4 | | 一ノ宮けやきサロン | 一ノ宮集会所 | 毎週水曜日 | H27 | 有 |
| 5 | | 関戸さくら会 | 関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目) | 毎月第1月曜日 | H24 | 有 |
| 6 | | たまりばらんど | 個人宅(一ノ宮4丁目) | 毎月第3火曜日 | H28 | 有 |
| 7 | | 3丁目かわせみ会 | 関戸3丁目集会所 | 毎週月曜日 | H28 | 無 |
| 8 | | みんなの食堂 スプーン | 一ノ宮児童館 | 毎月第3金曜日 | H29 | 無 |
| 9 | | サロン・フランヴィーヴル | フランヴィーヴル聖蹟桜 ヶ丘2階カフェ | ①毎月第3金曜日 ②第1・3水曜日 | H29 | 有 |
| 10 | | サロンまちの縁側 | 関戸河原クラブ集会所 (関戸2丁目) | 毎週木曜日 | H30 | 有 |
| 11 | | みのり会 | 関戸第一クラブ集会所 (関戸5丁目) | 第2・4火曜日 | — | 有 |
| 12 | | 地域交流スペース やどり木 | 個人宅(関戸2丁目) | 第2・4金曜日 | R1 | 有 |
| 13 | | マドカ・ストレッチ体操 サロン | 多摩中学校クラブハウス | 毎週木曜日 | — | 有 |
| 14 | | 1・2・3・4いきいき体 操 | 桜ヶ丘一ノ宮集会所(一 ノ宮4丁目) | 毎週木曜日 | R1 | 有 |
| 15 | | 桜ヶ丘近トレ | あいフィットネスサロン さくら地域交流室(関戸 1丁目) | 毎週火曜日 | R1 | 有 |
| 16 | ② | 連光寺志学サロン | 連光寺志学サロン (連光寺2丁目) | ①毎月5日・20日 ②毎週木曜日 | H20 | 有 |
| 17 | | 京王一の宮サロン | 京王一の宮集会所 (連光寺4丁目) | 毎週木曜日 | H21 | 有 |
| 18 | | にじの会 | 向ノ岡集会所 (連光寺1丁目) | 毎月10日 | H21 | 有 |
| 19 | | ふれあいサロン 「すずめのお宿」 | エステート聖ヶ丘-3集 会所 | 毎月第3木曜日 | H22 | 有 |
| 20 | | 聖ヶ丘2丁目東サロン “気まま会” | エステート聖ヶ丘2丁目 東団地集会所 | 毎週火・水・金・日 曜日、毎月第4土曜 日 | H22 | 無 |
| 21 | | 聖ヶ丘灯火サロン | 聖ヶ丘4丁目集会所 | ①毎週月曜日 ②毎月第4土曜日 | H23 | 有 |

| NO | エリア | サロン名 | 場 所 | 日 時 | 開始年度 | 助成金交付 | |
|----|------------|-------------------|--------------------------|-------------------------|---------|-------|---|
| 22 | ② | サロン・ボンジュール | 聖ヶ丘2丁目集会所 | 毎週水・日曜日、毎月第1.4木曜日、第3火曜日 | H24 | 有 | |
| 23 | | いきいきローズ | 木の実公園集会所(連光寺3丁目) | 毎週水曜日 | H27 | 有 | |
| 24 | | 木の実サロン | 木の実公園集会所(連光寺3丁目) | 毎月第2火曜日 | H27 | 有 | |
| 25 | | 日の出サロン | 木の実公園集会所(連光寺3丁目) | 毎月第2木曜日 | H28 | 無 | |
| 26 | | 聖ヶ丘ふれあいサロン | 多摩ニュータウン聖ヶ丘団地集会所(聖ヶ丘1丁目) | 毎週火曜日 | H11 | 有 | |
| 27 | | 連光寺東部健幸サロンわわ(我和輪) | 連光寺東部集会所(連光寺6丁目) | 毎週木曜日 | H29 | 有 | |
| 28 | | サロンひなの会 | 連光寺志学サロン(連光寺2丁目) | 毎月第1・3水曜日 | H30 | 有 | |
| 29 | | ふらっと亭 | ひじり館(聖ヶ丘2丁目) | 毎月第2木曜日 | H30 | 無 | |
| 30 | | 金聖会 | 聖ヶ丘2丁目集会所 | 毎週金曜日 | H30 | 有 | |
| 31 | | 聖ヶ丘2丁目-西ニコニコ・サロン | エステート聖ヶ丘-西団地集会所(聖ヶ丘2丁目) | ①第1・3日曜日 ②第2・4火曜日 | R1 | 有 | |
| 32 | | 近トレ丘の上 | 関戸自治会南田倶楽部(聖ヶ丘1丁目) | 毎週火曜日 | R2 | 有 | |
| 33 | | ③ | 桜が丘まちネットにこにこサロン | 桜ヶ丘集会所(桜ヶ丘1丁目) | 毎週木曜日 | H24 | 有 |
| 34 | | | コスモスの会 | あいクリニック(貝取) | 毎週金曜日 | H30 | 無 |
| 35 | | ④ | もぐさ井戸端サロン | 三方の森コミュニティ会館 | 毎月第2水曜日 | H15 | 無 |
| 36 | 三方の森ふれんど広場 | | 三方の森コミュニティ会館 | 毎月第2土曜日 | H28 | 有 | |
| 37 | ラダー三方の森 | | 三方の森コミュニティ会館 | 毎月1・3火曜日 | H30 | 有 | |
| 38 | ふらっと東寺方 | | 東寺方地区市民ホール | 毎週水曜日 | H30 | 有 | |
| 39 | 東寺方健やかサロン | | 東寺方自治会館 | 毎月第1月曜日 | R1 | 無 | |
| 40 | ⑤ | サロンかいどりやま | グリーンヒル貝取1-40団地集会所 | 毎週水曜日 | H23 | 有 | |
| 41 | | あたご村いどばた会 | 愛宕2丁目住宅管理組合集会所 | 毎月第3木曜日 | H26 | 無 | |
| 42 | | 愛宕第一住宅サロン | 愛宕第一住宅集会所(愛宕1丁目) | 毎週水・土曜日 | H26 | 有 | |
| 43 | | はなもものつどい | グリーンヒル貝取1-28団地集会所 | 毎月第2木曜日 | R1 | 有 | |
| 44 | | やまももの会 | ホームタウン諏訪集会所 | 毎月第3土曜日 | H16 | 有 | |

| NO | エリア | サロン名 | 場 所 | 日 時 | 開始年度 | 助成金交付 |
|----|-----|----------------------|-----------------------------------|-------------------------------|------|-------|
| 45 | | ひまわりの会 | 個人宅(諏訪2丁目) | 毎月第1・3木曜日 | H26 | 有 |
| 46 | | F棟みまもりサポート | 諏訪2-4F棟 | 毎月第3木曜日 | H28 | 無 |
| 47 | | ブリリア諏訪2丁目 イキイキ健賢会 | 諏訪2-2C棟 諏訪第3公園 | 毎月第1・3火曜日 | H29 | 有 |
| 48 | | なごやか健幸体操の会 | グリーンメゾン諏訪集会所 (諏訪3丁目) | 毎週火・木曜日 | H30 | 有 |
| 49 | | はなみずき近トレクラブ | タウンハウス諏訪集会所 (諏訪3丁目) 諏訪地区ホール | 毎週月曜日 | H30 | 有 |
| 50 | | のんびり馬引沢 | 馬引沢自治会館 (馬引沢2丁目) | 毎月第4土曜日 | R1 | 有 |
| 51 | | ブリリア月曜会 | 諏訪2-2C棟 | 毎週月曜日 | R1 | 無 |
| 52 | ⑦ | 永山3-1ふれあい | 永山3-1集会所 | 毎月第3木曜日 | H15 | 無 |
| 53 | | 健康麻雀友の会 | 東永山複合施設 | 毎週火・木・土・日曜日 | H17 | 無 |
| 54 | | 瓜生サロン | 瓜生集会所 (永山6丁目) | ①毎月第3火曜日 ②毎月5日 | H21 | 有 |
| 55 | | いきいきサロン・メゾネット永山 | メゾネット永山5団地集会所 | 毎月第1火曜日 | H24 | 有 |
| 56 | | サロン5-21 | タウンハウス永山5集会所 | 毎週月曜日 | H27 | 有 |
| 57 | | ネットワーク永山 「体操サロン」 | 諏訪地区市民ホール | 毎月第2水曜日 | H28 | 有 |
| 58 | | すいすいサロン | 永山東集会所 (永山4丁目) | 毎週水曜日 | H30 | 有 |
| 59 | | Ma y uサロン | 多摩市音訳グループ 事務所(永山2丁目) | 毎月第4土曜日 | H30 | 有 |
| 60 | | ラウンジ永山 | 永山西集会所Eラウンジ (永山4丁目) | 毎週火曜日 | H30 | 有 |
| 61 | | 瓜生元気アップトレーニング | 瓜生集会所(永山6丁目) | 毎週月曜日 | H30 | 有 |
| 62 | | いきいきサロン夢の会 | 東永山複合施設 | 毎週火・水・日曜日 | H30 | 有 |
| 63 | | エステート永山-3近トレ教室 | エステート永山3団地集会所 | 毎週月・金曜日 | R1 | 有 |
| 64 | | 3の2近トレサロン | 永山3-2集会所 | 毎週水曜日 | R1 | 有 |
| 65 | | アイ♪ビ | 永山公民館 | 毎月第2・3日曜日 | R1 | 有 |
| 66 | ⑧ | 月曜会 | グリーンメゾン貝取2集会所 | 毎月第1・3月曜日 | H1 | 有 |
| 67 | | 豊ヶ丘5-3懇話会 | 豊ヶ丘5-3集会所 | ①毎週水曜日 ②第3週月曜日 ③第1・3火曜日 | H9 | 有 |

| NO | エリア | サロン名 | 場 所 | 日 時 | 開始年度 | 助成金交付 |
|----|------------|---------------------|------------------------------------|---------------------------|--------------------------|-------|
| 68 | ⑧ | 碁楽会 | 豊ヶ丘地区市民ホール | 毎週月・水・金・土曜日 | H15 | 有 |
| 69 | | 豊ヶ丘4-1 ふれあいおしゃべりサロン | 豊ヶ丘4-1 集会所 | 毎月第2水曜日 | H16 | 有 |
| 70 | | ふれあいサロン 『木の葉』 | 豊ヶ丘5-1 集会所 | 毎月第3金曜日 | H18 | 有 |
| 71 | | 豊ヶ丘3-3 ふれあい会 | 豊ヶ丘3-3 集会所 | 毎月第1月曜日 | H19 | 無 |
| 72 | | ふれあいサロン貝取4-4 | 貝取4-4 集会所 | 毎月第2土曜日 | H21 | 有 |
| 73 | | サロン・コスモ | コスモフォーラム多摩 コミュニティ棟内 (豊ヶ丘3丁目) | 毎月第3金曜日 | H24 | 有 |
| 74 | | 茶ロン つむぎ | エステート貝取-2 住宅管理組合集会所 | ①1か月前にスタッフ会議で決定 ②毎週水曜日 | H25 | 有 |
| 75 | | 南野カフェ | パルシステム東京 多摩センター交流ルーム | 毎週月曜日 | H28 | 有 |
| 76 | | いきいきサロン「げんき会」 | 貝取・豊ヶ丘集会所 | 毎月第3土曜日 | H28 | 有 |
| 77 | | サロン・ふれあい貝取 | 貝取こぶし館 | 毎月第2土曜日 | H29 | 有 |
| 78 | | コスモ近トレ | コスモフォーラム多摩 コミュニティ棟内 (豊ヶ丘3丁目) | 毎週水曜日 | H30 | 有 |
| 79 | | コーヒータイム | エステート豊ヶ丘2-6集会所 | 毎月第3水曜日 | R1 | 有 |
| 80 | | 元気アップサロン | 貝取こぶし館 | 毎週水曜日 | R1 | 有 |
| 81 | | GM2シニア会 | グリーンメゾン貝取2集会所 | ①毎週水曜日 ②隔月第2または第4日曜日 | R1 | 有 |
| 82 | | ⑨ | グリーンメゾン鶴牧3環の会 | グリーンメゾン鶴牧3集会所 | ①毎週木曜日 ②第1・3土曜日、第3日曜日 | H15 |
| 83 | ブリリアシニアの会 | | ブリリア多摩センター パーティールーム(鶴牧3丁目) | 毎月第3水曜日 | H20 | 有 |
| 84 | 落合4の3園芸有志会 | | 落合4-3集会所、落合第4公園 | 毎週土曜日 | H22 | 有 |
| 85 | 鶴三会 | | タウンハウス鶴牧3丁目 団地集会所 | 毎月第3木曜日 | H24 | 有 |
| 86 | 木曜サロン | | 落合3-4集会所 | 毎週木曜日 | H25 | 有 |
| 87 | 鶴5東町会親睦会 | | 鶴牧5丁目集会所 | 毎週月曜日 | H25 | 有 |

| NO | エリア | サロン名 | 場 所 | 日 時 | 開始年度 | 助成金交付 |
|-----|-----|-----------------------|--------------------------------|--------------------|------|-------|
| 88 | | 落合4の3おはなし会 | 落合4-3集会所 | 毎月第2・4火曜日 | H27 | 有 |
| 89 | | 「喫茶くすのき」 | タウンハウス鶴牧4集会所 | 毎月第4木曜日 | H27 | 有 |
| 90 | | ふれあい サロン 結 | 落合4-4集会所 | 毎週水曜日 | H27 | 有 |
| 91 | | おしゃべり広場 | グリーンコープ落合団地集会所 | ①第3火曜日 ②第4月曜日 | H28 | 有 |
| 92 | | 南野3丁目ふれあいサロン | 南野3丁目集会所 | 毎月第3土曜日 | H28 | ※無 |
| 93 | | たまデフサロン | 東永山複合施設 総合福祉センター | 毎月第4月曜日 | H29 | 有 |
| 94 | ⑨ | 落合3-5自治会コミュニティサロンあいあい | 落合3丁目住宅集会所 | 毎週木曜日 | H30 | 有 |
| 95 | | ツル4近トレ会 | タウンハウス鶴牧4集会所 | 毎週水曜日 | H30 | 有 |
| 96 | | みんなで元気はつらつ会 | タウンハウス落合5集会所 | 毎週金曜日 | H30 | 有 |
| 97 | | オーベル近トレクラブ | オーベルグランデュオ多摩中央公園コミュニティスクエア | 毎週火曜日 | H30 | 有 |
| 98 | | 鶴5ふれあいサロン | 鶴牧5丁目集会所 | ①毎週水曜日 ②第1・3金曜日 | R1 | 有 |
| 99 | | OGB会(落合活き生きさろん) | 落合Dブロック集会所 | 毎週月曜日 | R1 | 有 |
| 100 | | ハイライズタウン親睦の会 | ハイライズタウン鶴牧6集会所 | 毎月第2日曜日 | H19 | 有 |
| 101 | ⑩ | アルテ体操の会 | アルテヴィータマンション内コミュニティリビング(鶴牧1丁目) | 毎週水曜日 | H30 | 有 |
| 102 | | 中沢近トレの会 | エステート中沢集会所(中沢2丁目) | 毎週水曜日 | R1 | 有 |

※南野3丁目は交付後、全額返還のため、助成金の覧は「無」で表記

イ) 連携サロン(社協サロン登録をおこなわず活動しているサロン。社協は、サロン活動における相談支援・サロン交流会などにおける情報交換の機会の提供などの連携を図っている)

| NO | エリア | サロン名 | 場 所 | 日 時 | 開始年度 | 備 考 |
|----|-----|-----------------------|--------------|--------------------|------|----------|
| 1 | ② | ハマナスの会 | 聖ヶ丘3丁目南集会所 | ①毎週水曜日 ②毎月第3金曜日 | H27 | 元社協登録サロン |
| 2 | ⑥ | カレーの日(馬引沢団地ボランティアクラブ) | 馬引沢団地自治会集会所 | 第2水曜日 | H9 | |
| 3 | | 歌の輪サークル | グリーンメゾン諏訪集会所 | 第2・4火曜日 | H23 | 元社協登録サロン |
| 4 | ⑦ | エステート永山-3 “ふれあいサロン” | エステート永山3集会所 | ①毎週金曜日 ②毎月最終土曜日 | H19 | |
| 5 | | さくらカフェ | 永山3-2集会所 | 毎月第1月曜日 | H30 | 元社協登録サロン |
| 6 | | 永山ハイツ体操サロン | 永山ハイツ集会所 | 毎週月曜日 | H30 | |
| 7 | ⑧ | みのりの会 | 貝取2-10団地集会所 | 第1木・第3金曜日 | H18 | 元社協登録サロン |
| 8 | ⑨ | 落合3-2自治会ふれあいサロン | 落合3-2自治会集会所 | 毎週月・火曜日 | H8 | |
| 9 | | 三々五々の会 | 落合3-3集会所 | 毎月第1水曜日 | H19 | 元社協登録サロン |

ウ) 諏訪支部によって実施されているサロン

| NO | エリア | サロン名 | 場 所 | 日 時 | 開始年度 | 備 考 |
|----|-----|------------|----------------|-------|------|-----|
| 1 | ⑥ | 茶話会(諏訪2丁目) | 諏訪2丁目住宅管理組合集会所 | 第1火曜日 | H17 | |
| 2 | | 茶話会(諏訪5丁目) | 諏訪5丁目自治会集会所 | 第1木曜日 | H18 | |
| 3 | | 茶話会(諏訪1丁目) | 永山ハウス | 第3木曜日 | H20 | |

エ) ラウンジ

(サロン活動の中で、毎週1回以上の開催、小イベントの実施など一定の条件を満たす活動)

| NO | エリア | サロン名 | 場 所 | 日 時 | 開始年度 | 備 考 |
|----|-----|---------------|------------------|---------------------------------|------|-----|
| 1 | ⑥ | 諏訪4丁目ふらっとラウンジ | 諏訪4丁目自治会談話室とその周辺 | 毎週月曜日、 第1・3・5金曜日、 第2・4土曜日 | H19 | |
| 2 | | 諏訪5丁目ぶらっとラウンジ | 諏訪5丁目集会所とその周辺 | 毎週土曜日 | H21 | |

(4) 小地域福祉活動推進事業

地域住民ニーズの把握や住民自らが福祉課題を共有化し、それぞれの地域の個別課題の解決に向けて協議する場として、コミュニティエリア内の自治会・住宅管理組合、民生委員、地域包括支援センター、福祉団体ボランティア、コミュニティセンター運営協議会や社協役員とともに「地域福祉推進委員会」を設置し、地域住民がさまざまな地域課題解決に取り組めるよう支援する。

① 令和2年度実績（小地域福祉活動状況）

| エリア名 | 小地域福祉活動の進捗状況 |
|----------------------------|--|
| <p>第1エリア (関戸・一ノ宮)</p> | <p><関戸エリア> ■まち育てネットワーク・関一 *委員会：2回開催 ：延べ30団体35人参加 ※コロナウイルスの影響で4回中止 *世話人会：4回開催 ※コロナウイルスの影響で2回中止 [定例の委員会内での取り組み] ※定例の委員会では、コロナ禍の地域活動状況と情報交換を実施。 [委員会企画事業] <交流事業> ・世代間交流事業：芋煮会[12月]：多摩中との連携。約180人参加。 <まち歩き> ※コロナ禍のため中止 <防災企画> ※コロナ禍のため中止 <講演会（認知症・障がいについて知る事業）> ※コロナ禍のため中止 <オンライン活用> ・Zoom 座談会：第1回 [1月] 8人参加。 第2回 [3月] 12人参加。 *広報紙：「まちネット・関一だより」 第11号 [9月] 1,000部発行 ※第12号 [3月予定]は発行延期。 *多摩第一小学校放課後教室ボランティア協力： ※コロナ禍のため放課後教室中止 *サロン交流会 ※コロナ禍のため中止 *新規サロン登録：なし *地域事業（関戸楽縁祭）への参加及び協力 ※コロナ禍のため中止</p> <p><一ノ宮エリア> *地域事業（ふれあい・おとなりサンデー）への参加及び協力 ※コロナ禍のため中止</p> |
| <p>第2エリア (連光寺・聖ヶ丘)</p> | <p>■連光寺・聖ヶ丘地域福祉推進委員会 *委員会：5回開催 ：延べ97団体146人参加 ※第1回を2日に分散して開催 ※第3回委員会は全10エリアで初めて Zoom のみで開催 ※第4回委員会は全10エリアで初めて Zoom と会場参加を合わせた形で開催 ※コロナウイルスの影響で2回中止</p> |

| | |
|----------------------------------|---|
| | <p>*世話人会：9回開催 ※コロナウイルスの影響で3回中止</p> <p>*オリエンテーション：1回開催 10団体13人参加 〔定例の委員会内での取り組み〕 <イベント企画グループ> <学校連携グループ> ・さくら運送 ～多摩桜の丘学園・ビッグエー連携買い物支援プロジェクト～ 令和2年度総件数130件 開始から(平成29年度)の総件数432件 ・多摩大生の先生が教える無料 Zoom 講座[11月] ①9人 ②17人。</p> <p><子育て支援グループ> <高齢者支援グループ> <自治会グループ> <その他の活動></p> <p>*各部会の活動 ○広報部会 ・広報紙「ふくしポスト」 第25号 [6月] 3,000部発行 第26号 [10月] 3,500部発行 第27号 [1月] 3,500部発行</p> <p>○事業部会 講演会 ※コロナ禍のため中止</p> <p>*聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施(ひじり館) ※コロナ禍のため年間で中止。 ・福祉なんでも相談の実施(連光寺福祉館) 3回実施。 ※コロナ禍のため2回中止</p> <p>*新規サロン登録：「近トレ丘の上」</p> |
| <p>第3エリア (桜ヶ丘)</p> | <p>■桜ヶ丘まちネット</p> <p>*委員会：2回開催 ※コロナウイルスの影響で1回紙面開催 ：延べ11団体22人参加</p> <p>*世話人会：10回開催 ※コロナウイルスの影響で1回中止</p> <p>〔定例の委員会内での取り組み〕 ※コロナ禍の活動アンケートや定例の委員会では情報交換・地域課題討議等を実施</p> <p>〔委員会企画事業〕</p> <p>*普及啓発講座： 「元気なうちに知っておこう！分かりやすい相続講座」 [11月] 講師：税理士 内藤 純氏 共催：ゆう桜ヶ丘・桜ゆうゆう会 参加者：23人</p> <p>*広報紙：「さくらの丘だより」 第20号 [1月] 2,900部発行</p> <p>*サロン活動にこにこサロン(毎週木曜)11回開催 延べ約90人参加。 ※コロナウイルスの影響で10～12月のみ実施。 ・福祉なんでも相談の実施(にこにこサロン内)：3回実施。 (連携：西部地域包括支援センター)</p> <p>*桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携 ・「ゆう桜ヶ丘夏まつり」への運営の協力、コロナ禍で中止</p> <p>*新規サロン登録：なし</p> |
| <p>第4エリア (東寺方、和田、百草、落川)</p> | <p><百草団地周辺エリア> ■三方の森ふれんど</p> |

| | |
|---------------------------|--|
| | <p>*委員会：4回開催 ※コロナウイルスの影響で2回中止 ：延べ44団体59人参加</p> <p>*世話人会：8回開催 ※コロナ禍で3回中止</p> <p>[委員会企画事業]</p> <p>*コロナに負けるな「手書き壁新聞」</p> <p>*定例食事会：コロナ禍で中止</p> <p>*広報紙：「三方の森ふれんどだより」 第8号 [8月] 1,300部発行 第9号 [3月] 1,300部発行</p> <p>*サロン活動 三方の森ふれんど広場（第2土曜日）2回実施</p> <p>*新たなつながりづくり：世代間交流 ・三方の森ふれんどランチ実施（愛生苑・東寺方児童館共催）コロナ禍で中止</p> <p>*その他 ・福祉なんでも相談の実施（三方の森コミュニティ会館）：9回実施。 （連携：西部地域包括支援センター） ※高齢者を対象の脳トレ、「脱水症について」ミニ講座実施。</p> <p><東寺方エリア> ・自治会夏祭り コロナ禍で中止 ・ざっくばらん座談 コロナ禍で中止</p> <p><和田エリア> ・福祉なんでも相談（運協共催・連携：西部包括支援センター） 3回実施。 脳トレ実施 ・近トレ「かるがも近トレ」支援</p> <p>*新規サロン登録：なし</p> |
| <p>第5エリア （愛宕・乞田）</p> | <p><愛宕エリア> ■ほほえみネットワーク・愛宕</p> <p>*委員会：1回開催 ：21人参加</p> <p>*世話人会：8回開催 ※コロナウイルスの影響で5回中止</p> <p>[定例の委員会内での取り組み]</p> <p>※コロナ禍のため、講座と地域懇談会は中止</p> <p>・まち歩き「まち歩き&りんご狩り」（日向園）[11月] 21人参加。</p> <p>[委員会企画事業]</p> <p>・おむすびプロジェクト</p> <p>※コロナ禍のため中止</p> <p>・アーケードカフェ 実施（会場：愛宕第一住宅商店街） 第1回 9月26日 19人 第2回 10月24日 24人</p> <p>*広報紙：「ほほえみ通信」 第7号 [8月] 2,500部発行 ※第8号 [3月] は発行延期</p> <p>*愛宕コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施：7回実施 ※4～6月はコロナウイルスの影響で中止。</p> <p>*その他 <オンライン活用> ・Zoom 座談会：[3月] 7人参加。</p> |

| | |
|---------------------------|---|
| | <p>*新規サロン登録：なし</p> |
| <p>第6エリア (馬引沢・諏訪)</p> | <p>■馬引沢・諏訪地域福祉推進委員会 *委員会：3回開催 ：延べ57団体78人参加 ※コロナウイルスの影響で3回中止 *世話人会：8回開催 ※コロナウイルスの影響で2回中止 〔定例の委員会内での取り組み〕 *本年度のテーマ 「馬引沢・諏訪地域の連携強化 ～共有から協働へ～」 ・「コロナで分かったいいこと探し」 コロナ禍での活動について情報交換 [10月] ・「コロナ禍での子どもたち」 諏訪児童館、主任児童委員、青少協北諏訪地区委員会の方から報告と意見交換 [12月] ・「コロナ禍での障がい者の現状」 自立ステーションつばさ、どんぐりパンからの状況報告・意見交換 [3月] 〔委員会企画事業〕 ・馬引沢通りウォークラリー ※コロナ禍のため中止 広報紙での店舗応援企画へ変更 ・見守りウォーキング [毎月第3木曜日] 9回実施 *広報紙：「ささえ愛」 第13号 [7月] 4,500部発行 第14号 [3月] 4,500部発行 *その他 ・地域ニーズ調査 「皆さんのちょっと困った教えてください！～困りごとアンケート～」実施 ①グリーンメゾン諏訪団地（諏訪3丁目） 配布数140世帯 回答58件（11/30～12/14） ②諏訪公団住宅自治会（諏訪2丁目） 配布数410世帯 回答39件（11/16～12/14） *諏訪福祉館との連携： 福祉なんでも相談の実施 5回 *新規サロン登録：なし</p> |
| <p>第7エリア (永山)</p> | <p>■福祉のネットワーク永山 *委員会：3回開催 ：延べ51団体79人参加 ※コロナウイルスの影響で3回中止 *世話人会：9回開催 ※コロナウイルスの影響で3回中止 〔定例の委員会内での取り組み〕 ・新型コロナウイルスのなかでの新たな地域活動の在り方 [9月] ・地域での支え合い(多摩市百草団地自治会みまもりの会事例報告と情報共有) [11月] ・「感染症と防災」勉強会 [3月] ※緊急事態宣言により1月開催予定を延期 〔委員会企画事業〕 *交流 ・「まち歩き」開催（毎月第2火曜日）※緊急事態宣言中は中止。</p> |

| | |
|-----------------------------|---|
| | <p>*見守り ・見守りウォーキング（毎月第2・4月曜日）※緊急事態宣言中は中止。</p> <p>*健康づくり ・ネットワーク永山「体操サロン」（毎月第2水曜日）</p> <p>*広報紙：「ふくしのネットワーク永山だより」（季刊発行） 36号 [4月] 1,200部発行 37号 [8月] 1,200部発行 38号 [10月] 1,200部発行 39号 [1月] 1,200部発行</p> <p>*ネットワークづくり ○「瓜生小地区防災組織担当者連絡会」5回開催。 ・避難所運営訓練実施[11月]：86人参加。 ○「永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会」1回開催。</p> <p>*新規サロン登録：なし</p> |
| <p>第8エリア (貝取・豊ヶ丘)</p> | <p>■ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな</p> <p>*委員会：3回開催 ※コロナウイルスの影響で3回中止 ：延べ49団体76人参加</p> <p>*世話人会：8回開催 ※コロナウイルスの影響で2回中止</p> <p>[定例の委員会内での取り組み] ・新型コロナウイルスの状況下での地域活動[9月] ・地域での支え合いを考える（グリーンメゾン鶴牧3高齢化対応委員会の事例報告と情報共有）[11月] ・「感染症と防災」勉強会 [3月] ※緊急事態宣言により1月開催予定を延期</p> <p>*貝取コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施：9回実施。 ※4～6月はコロナウイルスの影響で中止。 相談件数：14件 ・元気チェックへ協力：4回実施</p> <p>*豊ヶ丘健幸つながるひろばの運営検討 社会福祉法人楽友会と連携。 9月オープン。住民サポーターへの支援</p> <p>*新規サロン登録：なし</p> |
| <p>第9エリア (鶴牧・落合・南野)</p> | <p>■ふれあいトムとも</p> <p>*委員会：2回開催 ：延べ42団体 46人参加。 ※コロナウイルスの影響で4回中止</p> <p>*世話人会：7回開催 ※コロナウイルスの影響で3回中止</p> <p>[定例の委員会内での取り組み] ・鶴牧・落合・南野地区の地域情報&ふれあいトムともの活動、コロナ禍での地域活動について[9月] ・地域事例からこれからの見守りについて考える[11月]</p> <p>*広報紙：「トムともだより」 第13号 [8月] 2,500部発行</p> <p>*鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施（トムハウス）：6回実施。 ※令和2年4月～9月まではコロナウイルスの影響で中止。 (連携：多摩センター地域包括支援センター) ※多摩センター地域包括支援センターと連携して、脳トレを実施</p> |

| | | |
|--|--|--|
| | *新規サロン登録：なし | |
| 第10エリア (唐木田・中沢・ 山王下) | <p>■ほっとネットしょうぶ</p> <p>*委員会：3回開催 ：延べ50団体、69人参加</p> <p>*世話人会：9回開催 ※コロナウイルスの影響で2回中止</p> <p>[定例の委員会内での取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大妻女子大学連携企画「新たな日常での防災を考える」[10月] ・「自分の人生について考える～施設編～」[12月] <ul style="list-style-type: none"> ①知っておきたい老人ホームの選び方 ☆介護施設の費用とサービスの違い ロイヤル入居相談室 相談員 ②相談事例より～後悔しないために普段から心がけておくこと～ 多摩センター地域包括支援センター センター長 ・今年度の活動の振り返りと次年度の取り組みについてグループ討議 [3月] <p>【全体】</p> <p>*広報紙：ほっとネットしょうぶ通信 第5号2, 500部[8月]発行 第6号1, 200部[3月]発行</p> <p>*唐木田コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施（からきだ菖蒲館）：0回実施。 ※令和2年度はコロナウイルスの影響で中止。</p> <p>*青木葉地域連絡会との連携 ・地域の自治会、マンション管理組合、青少年問題協議会、小学校からなる青木葉地域連絡会に出席し、管理組合が抱える課題を情報共有。 ※令和2年度はコロナウイルスの影響で中止。</p> <p>*新規サロン登録：なし</p> | |
| ※地域福祉推進委員会の主なメンバー（民生委員、地域包括支援センター、自治会・住宅管理組合、コミュニティセンター運営協議会、サロン、老人クラブ、青少年問題協議会地区委員会、地域防犯・防火活動組織、大学（企業）、事業所など） | | |
| 地域福祉推進委員会 情報交換会 (地域福祉推進委員会 連絡会) | 開催日時 | 令和2年11月30日(月)午後2時～3時30分 |
| | 会場 | 二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ 7階研修室 |
| | 内容 | 「コロナ禍の委員会活動 あんなことやこんなこと～不要不急ってや っぱり大事～」 |
| | 対象者 | 各地域福祉推進委員会世話人 |
| | 参加者 | スーパーバイザー：小林良二氏 世話人25人(うち3人オンライン参加) |
| 地域福祉普及啓発 講座 (関戸公民館・多摩 市社会福祉協議会 共催市民講座) | 開催日時 | 令和2年10月29日(木)午後2時00分～午後4時00分 |
| | 会場 | 関戸公民館 ヴィータホール |
| | 内容 | WITH コロナ時代！地域活動を止めないオンライン活用講座 |
| | 対象者 | 多摩市民、地域福祉推進委員会世話人 |
| | 参加者 | 44人 |

7 生活支援体制整備事業

(1) 契約状況等

| | R2年度 | R1年度 |
|---------|-------------|-------------|
| 契約年月日 | 令和2年4月1日 | 平成31年4月1日 |
| 契約金額 | 10,588,000円 | 10,854,000円 |
| 契約変更年月日 | 令和3年1月4日 | — |
| 契約金額 | 10,107,000円 | — |

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

| 区分 | R2年度 | | | R1年度 | | |
|----|------------|------------|--------|------------|------------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 10,107,000 | 10,107,000 | 100 | 10,854,000 | 10,854,000 | 100 |

② 支出の状況

単位：円

| 区分 | R2年度 | | | R1年度 | | |
|----|------------|------------|--------|------------|------------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 10,107,000 | 10,035,287 | 99.3 | 10,854,000 | 10,655,040 | 98.2 |

(3) 生活支援コーディネーターの活動状況

① 活動件数

| | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 個別支援 | 157 | 129 | 175 | 134 |
| 地域支援 | 1,656 | 2,449 | 2,026 | 1,628 |

② 相談・対応・事業内容

| | 居場所 | 見守り | 防災・防犯 | 介護予防 | 生活支援 | 認知症 | 地域行事 | 制度 | その他 | |
|------|------|-------|-------|------|------|-----|------|-----|-----|-----|
| 個別支援 | 29年度 | 22 | 19 | 4 | 23 | 83 | 15 | 4 | 27 | 10 |
| | 30年度 | 19 | 12 | 2 | 24 | 64 | 25 | 1 | 18 | 10 |
| | 元年度 | 18 | 28 | 5 | 41 | 71 | 26 | 3 | 36 | 26 |
| | 2年度 | 27 | 34 | 0 | 24 | 62 | 15 | 2 | 20 | 19 |
| 地域支援 | 29年度 | 771 | 674 | 381 | 529 | 312 | 291 | 191 | 43 | 63 |
| | 30年度 | 1,200 | 1,055 | 462 | 817 | 364 | 341 | 415 | 63 | 147 |
| | 元年度 | 926 | 842 | 359 | 610 | 451 | 285 | 257 | 90 | 164 |
| | 2年度 | 780 | 691 | 261 | 594 | 366 | 240 | 128 | 55 | 167 |

③ 連携先・繋ぎ先

| | | 多摩市 | 警察消防 | 専門機関 | 包括 | 協議体 | 企業社福 | 学校関係 | 地域団体 | コミセン | 民生委員 | NPO・ボラ | 社協内 | その他 |
|------|------|-----|------|------|-----|-----|------|------|------|------|------|--------|-----|-----|
| 個別支援 | 29年度 | 19 | 0 | 11 | 57 | 1 | 6 | 0 | 13 | 5 | 11 | 3 | 30 | 3 |
| | 30年度 | 14 | 1 | 13 | 47 | 7 | 2 | 1 | 7 | 4 | 3 | 5 | 12 | 2 |
| 地域支援 | 29年度 | 267 | 24 | 209 | 333 | 55 | 201 | 190 | 486 | 242 | 388 | 326 | 77 | 44 |
| | 30年度 | 476 | 35 | 247 | 486 | 120 | 302 | 258 | 821 | 295 | 526 | 403 | 150 | 53 |

| | | 多摩市 | 専門機関 | 医療機関 | 包括 | 協議体 | 企業・社福・その他 | 学校関係 | サロン | 老人クラブ | 自治会管理組合 | 自主防 | コミセン・福祉館 | 民生委員 | ボランティア | 社協内 | その他 |
|------|------|-----|------|------|-----|-----|-----------|------|-----|-------|---------|-----|----------|------|--------|-----|-----|
| 個別支援 | R1年度 | 22 | 17 | 1 | 64 | 0 | 20 | 3 | 5 | 2 | 5 | 0 | 4 | 9 | 5 | 10 | 4 |
| | R2年度 | 26 | 21 | 6 | 44 | 1 | 6 | 1 | 7 | 0 | 6 | 0 | 1 | 1 | 3 | 11 | 3 |
| 地域支援 | R1年度 | 347 | 177 | 22 | 394 | 90 | 268 | 189 | 415 | 226 | 320 | 132 | 283 | 349 | 195 | 110 | 52 |
| | R2年度 | 155 | 79 | 9 | 146 | 24 | 270 | 188 | 426 | 108 | 278 | 27 | 225 | 228 | 203 | 84 | 43 |

*R1年度より集計項目の変更を行った

④ 具体的な取り組み内容

※地域福祉コーディネーターと兼務のため、地域福祉推進委員会での活動は上記参照

ア) 介護予防

○近所de元気アップトレーニング(近トレ) 令和元年度 活動状況一覧 (令和2年3月31日現在)

| NO | エリア | 団体名 | 場 所 | 日 時 | 近トレ登録年度 | 助成金交付 |
|----|-----|--------------------|--------------------|----------------------|---------|-------|
| 1 | ① | 一ノ宮けやきサロン | 一ノ宮集会所(一ノ宮1丁目) | 毎週水曜日 13:30~15:00 | H30 | 有 |
| 2 | | サロンまちな縁側 | 関戸河原クラブ集会所(関戸2丁目) | 毎週木曜日 14:00~15:30 | H30 | 有 |
| 3 | | 桜ヶ丘近トレ | あいフィットネスさくら(関戸1丁目) | 毎週火曜日 14:00~15:00 | H30 | 無 |
| 4 | | 1・2・3・4いきいき体操 | 桜ヶ丘一ノ宮集会所(一ノ宮4丁目) | 毎週木曜日 10:00~12:00 | R1 | 有 |
| 5 | | 3丁目かわせみ会 | 関戸3丁目集会所 | 毎週月曜日 10:00~11:00 | R2 | 有 |
| 6 | ② | 連光寺東部健幸サロンわわわ(我和輪) | 連光寺東部集会所(連光寺6丁目) | 毎週木曜日 13:00~15:00 | H30 | 有 |
| 7 | | 連光寺志学サロン | 連光寺志学サロン(連光寺2丁目) | 毎週木曜日 13:30~15:00 | H30 | 有 |
| 8 | | ハマナスの会 | 聖ヶ丘3丁目南集会所 | 毎週水曜日 10:30~11:30 | H30 | 無 |
| 9 | | 聖ヶ丘灯火サロン | 聖ヶ丘4丁目集会所 | 毎週月曜日 8:45~9:15 | H30 | 有 |
| 10 | | 金聖会 | 聖ヶ丘2丁目集会所 | 毎週金曜日 10:00~11:30 | H30 | 有 |

| | | | | | | |
|----|---|------------------------|----------------------------|------------------------|-----|---|
| 11 | ② | 京王一の宮サロン | 京王一の宮集会所（連光寺4丁目） | 毎週木曜日 14:00～15:00 | R1 | 有 |
| 12 | | 近トレ丘の上 | 関戸自治会南田倶楽部（聖ヶ丘1丁目） | 毎週火曜日 10:30～12:00 | R2 | 有 |
| 13 | ③ | コスモスの会 | あいクリニック（貝取） | 毎週金曜日 14:00～16:00 | H30 | 無 |
| 14 | ④ | ふらっと東寺方 | 東寺方地区市民ホール | 毎週水曜日 14:00～16:00 | H30 | 有 |
| 15 | | かるがも近トレ | 大栗川かるがも館 | 毎週水曜日 10:00～ | R1 | 無 |
| 16 | ⑤ | いきいき元気アップ教室（いきいきサロン和田） | 和田集会所（和田3丁目） | 毎週水曜日 10:00～11:00 | H30 | 無 |
| 17 | | サロンかいどりやま | グリーンヒル貝取1-40団地集会所 | 毎週水曜日 9:30～11:30 | H30 | 無 |
| 18 | ⑥ | はなみずき近トレクラブ | タウンハウス諏訪集会所（諏訪3丁目） | 毎週月曜日 10:30～12:00 | H30 | 有 |
| 19 | | なごやか健幸体操の会 | グリーンメゾン諏訪集会所（諏訪3丁目） | 毎週火・木曜日 10:00～12:00 | H30 | 有 |
| 20 | | ブリリア月曜会 | ブリリア多摩ニュータウンC棟マルチルーム | 毎週月曜日 10:00～12:00 | R1 | 無 |
| 21 | ⑦ | ラウンジ永山 | 永山西集会所Eラウンジ（永山4丁目） | 毎週火曜日 14:00～16:00 | H30 | 有 |
| 22 | | すいすいサロン | 永山東集会所（永山4丁目） | 毎週水曜日 10:30～11:30 | H30 | 有 |
| 23 | | 瓜生元気アップトレーニング | 瓜生集会所（永山6丁目） | 毎週月曜日 10:30～12:00 | H30 | 有 |
| 24 | | 永山ハイツ体操サロン | 永山ハイツ集会所（永山2丁目） | 毎週月曜日 13:30～15:00 | H30 | 無 |
| 25 | | いきいきサロン夢の会 | 東永山複合施設A棟304 | 毎週火曜日 14:00～16:00 | H30 | 有 |
| 26 | | サロン5-21 | タウンハウス永山5集会所 | 毎週月曜日 10:00～11:30 | R1 | 有 |
| 27 | | エステート永山近トレ教室 | エステート永山3団地集会所 | 毎週月曜日 14:00～15:30 | R1 | 有 |
| 28 | | 3の2近トレサロン | 永山3-2集会所 | 毎週水曜日 10:00～12:00 | R1 | 有 |
| 29 | ⑧ | 南野カフェ | パルシステム東京多摩センター交流ルーム（南野1丁目） | 毎週月曜日 13:30～14:30 | H30 | 有 |
| 30 | | コスモ近トレ | コスモフォーラム多摩コミュニティ棟内（豊ヶ丘3丁目） | 毎週水曜日 10:00～11:00 | H30 | 有 |
| 31 | | 茶ロン つむぎ | エステート貝取-2集会所 | 13:30～15:30 | R1 | 有 |
| 32 | | GM2シニア会 | グリーンメゾン貝取2集会所 | 毎週水曜日 11:00～12:00 | R1 | 有 |
| 33 | ⑨ | 落合3-5自治会コミュニティサロンあいあい | 落合3-5集会所 | 毎週木曜日 10:00～12:00 | H30 | 有 |
| 34 | | ツル4近トレ | タウンハウス鶴牧4集会所 | 毎週水曜日 10:30～12:00 | H30 | 有 |

| | | | | | | |
|----|---|-----------------|----------------------------|----------------------|-----|---|
| 35 | ⑨ | Dグラフオート煉瓦坂サロン | 落合2-38マンション内 | 毎週月曜日 11:00~12:00 | H30 | 無 |
| 36 | | みんなで元気はつらつ会 | タウンハウス落合5集会所 | 毎週金曜日 10:30~11:30 | H30 | 有 |
| 37 | | 鶴5東町親睦会 | 鶴牧5丁目集会所 | 毎週月曜日 14:00~16:00 | R1 | 有 |
| 38 | | オーベル近トレクラブ | オーベルグランデュオ多摩中央公園コミュニティスクエア | 毎週火曜日 10:00~12:00 | R1 | 有 |
| 39 | | OGB会(落合生き生きサロン) | 落合ブロック集会所 | 毎週月曜日 13:30~16:00 | R1 | 有 |
| 40 | | ブリリア体操広場 | ブリリア多摩センターエクササイズスタジオ | 毎週木曜日 10:00~12:00 | R2 | 無 |
| 41 | ⑩ | アルテ体操 | 鶴牧1-17マンション内コミュニティリビング | 毎週水曜日 10:00~11:00 | H30 | 有 |
| 42 | | 中沢近トレの会 | エステート中沢集会所 | 毎週水曜日 10:30~11:30 | R1 | 有 |

②活動・助成の状況

| | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|----------------|---------|---------|---------|
| 活動団体数 | 27 | 39 | 42 |
| 助成団体数 | 20 | 32 | 32 |
| 助成総額 (単位:円) | 300,000 | 480,000 | 310,000 |

イ) 生活支援

| エリア | 事業名 | 対象 | 担い手 | 連携先 | 内容 |
|-----|--------------|------------------------|-----------------|---|---|
| ② | さくら運送 | 地域住民 ※店舗から 20分圏域 | 多摩桜の丘学園高等部 | 多摩桜の丘学園 ビッグ・エー 連光寺・聖ヶ丘地域 福祉推進委員会 | 「買い物支援(主に高齢者)」 年間:136件活動 ビッグ・エーで買い物したものを、利用者と一緒にも多摩桜の丘学園の生徒が自宅まで運ぶ。 |
| ⑥ | 地域ニーズアンケート調査 | 団地住民 | | 管理組合、民生児童委員 | UR団地、分譲団地をモデルとして、困りごとアンケート調査を実施。ニーズ把握と担い手発掘を行った。今後、担い手の組織化の仕組みづくりを行っていく。 |
| ⑨ | 資源ごみ回収日のお手伝い | 団地住民 | 理事会高齢化 対応委員会 | | 資源ゴミ回収日の回数減少に伴い、資源ゴミ出し支援を検討。住民アンケートを通して担い手を発掘。コロナの影響で希望者がなく、活動には至らなかった。 |

ウ) ネットワーク構築・ニーズ把握

| 事業 | 回数 |
|-----------------|---------------|
| 地域ケア会議 | 6 |
| 元気塾サービス担当者会議 | 3 |
| ぐっとらいふミーティング | 16 |
| 地域包括支援センター代表者会議 | 2 |
| 地域包括支援センター地区連絡会 | 0 |
| 地域活動・支えあいリストの更新 | 1 計15,000部 |
| 第1層協議体との連携 | |
| まるっと協議体 | 2 |
| 生活支援分科会 | 4 |
| 移動分科会 | 3 |
| 移動分科会モデル事業 | 7 |
| 啓発分科会 | 2 |

8 たすけあい有償活動事業

(1) 概要

| | |
|-------------|--|
| 実施日時 | 月曜日～土曜日 |
| 内容 利用料金 | 住民同士の支えあいの仕組みづくりも含めた地域福祉の観点から、地域ニーズに柔軟に対応できるサービス提供をめざしている。 生活援助サービス・・・家事全般、簡単な身の回りの世話、手続き代行、薬の受取、趣味活動などの外出補助 (1時間900円、時間外1,100円) 介助サービス・・・車イス、通院の付き添いなどの身辺介助 (1時間1,000円、時間外1,200円) その他のサービス・・・換気扇掃除、窓拭き、草むしり、簡単な模様替えなど (1時間900円、時間外1,100円) 時間外・・・早朝(7時～8時) 夜間(17時～20時) 及び日曜・祝日は割増料金 |
| 対象者 | 多摩市在住で、上記内容を本人または家族ができない方 |
| 連携者 (団体) | 市、地域包括支援センター、介護保険事業所、シルバー人材センター他 |

2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

| 区分 | R2年度 | | | R1年度 | | |
|----|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 4,562,000 | 2,176,574 | 47.7 | 4,579,000 | 3,107,272 | 67.9 |

※前期末支払資金残高より296,821円充当

② 支出の状況

単位：円

| 区分 | R2年度 | | | R1年度 | | |
|----|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 4,562,000 | 2,176,574 | 47.7 | 4,579,000 | 3,051,274 | 66.6 |

(3) たすけあい有償活動実施状況

単位：人

| | 利用者 | 協力員 | | | 利用状況 | | | |
|-----|-----|--------|-------|------|------|-----|----|-----|
| | 人数 | 月末登録者数 | 新規登録者 | 活動者数 | 援助 | | 介助 | |
| | | | | | 日中 | 時間外 | 日中 | 時間外 |
| 4月 | 44 | 148 | 0 | 35 | 44 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 0 | 148 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 64 | 150 | 1 | 41 | 64 | 0 | 0 | 0 |
| 7月 | 63 | 149 | 0 | 41 | 63 | 0 | 0 | 0 |
| 8月 | 55 | 148 | 0 | 40 | 55 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 60 | 149 | 2 | 42 | 60 | 0 | 0 | 0 |
| 10月 | 67 | 153 | 5 | 47 | 67 | 0 | 0 | 0 |
| 11月 | 60 | 153 | 1 | 43 | 60 | 0 | 0 | 0 |
| 12月 | 57 | 153 | 0 | 43 | 57 | 0 | 0 | 0 |

| | | | | | | | | |
|------------|------|-------|---|------|------|-----|-----|---|
| 1月 | 49 | 153 | 1 | 39 | 49 | 0 | 0 | 0 |
| 2月 | 53 | 153 | 0 | 40 | 53 | 0 | 0 | 0 |
| 3月 | 53 | 137 | 1 | 41 | 53 | 0 | 0 | 0 |
| 月平均 | 52.1 | 149.5 | | 37.7 | 52.1 | 0 | 0 | 0 |
| 昨年度 月平均 | 78.4 | 165.6 | | 52.8 | 74.8 | 0.9 | 2.7 | 0 |

※コロナ禍のため、4月中旬から6月上旬の間活動休止
(新規利用者：33人 新規登録協力員：11人)

(4) 過去5年間の状況

単位：人

| | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------------|-----------|------|------|------|------|------|
| 利用者数(月平均数) | | 84.8 | 77.9 | 83.5 | 78.3 | 52.1 |
| 協力員 | 登録者数 | 212 | 153 | 166 | 149 | 137 |
| | うち新規登録者数 | 42 | 32 | 28 | 30 | 11 |
| | 活動者数(月平均) | 56 | 55.9 | 54.8 | 52.8 | 37.7 |

(5) たすけあい有償活動協力員懇談会(研修会兼ね実施)

| | |
|------|--------------------------------------|
| 開催日時 | 令和3年2月17日(水) 午前10時～11時30分 |
| 会場 | 永山公民館 集会室 |
| 内容 | 協力員がお互いに情報を共有し、日頃の活動における疑問や課題を解決する機会 |
| 対象者 | たすけあい有償活動協力員 |
| 参加者 | 4人 |

(6) たすけあい有償活動協力員説明会

| | |
|------|--|
| 開催日時 | 第1回 令和2年10月8日(木) 午前10時～11時30分 第2回 令和2年11月18日(水) 午後1時～3時 第3回 令和2年12月7日(月) 午後1時～3時 |
| 会場 | 第1回 ひじり館 第2回 とよよん 第3回 とよよん |
| 内容 | たすけあい有償活動の事業説明 協力員登録手続き |
| 対象者 | 18歳以上の市民及び近隣地区住民 |
| 参加者 | 第1回 5人 第2回 0人 第3回 0人 |

9 住民主体による訪問型サービス

(1) 概要

| | |
|------------|---|
| 実施日時 | 月曜日～土曜日 |
| 内容 利用料金 | <p>多摩市介護予防・日常生活支援総合事業において多摩市社会福祉協議会で実施する訪問型サービス。(平成28年5月より指定) たすけあい有償活動の協力員登録者のうち、多摩市が実施する研修を受けた協力員が担い手となる。地域包括支援センターもしくはケアマネジャーの作成するケアプランに基づき、介護予防支援のため生活支援を実施するもの。</p> <p>内 容・・・家事支援(掃除・洗濯・食事の準備・買い物代行等)、買物同行支援 頻 度・・・1週間に1回まで</p> <p>家事支援 1回60分以内 買物同行支援 1回90分以内</p> <p>利用料・・・家事支援 60分以内 1,510円/回(利用者負担302円) 買物同行支援 90分以内 2,260円/回(利用者負担452円)</p> <p>活動費・・・家事支援1,100円/回 買物同行支援1,650円/回 ※交通費相当含む</p> <p>キャンセル料・・・当日キャンセルの場合 家事支援1,100円 買物同行支援1,650円</p> |
| 対象者 | 多摩市在住 介護保険の認定が要支援1、2 もしくは事業対象者の認定がある方 |

2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

| 区 分 | R2年度 | | | R1年度 | | |
|-----|-----------|---------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合 計 | 2,024,000 | 822,005 | 40.6 | 1,831,000 | 1,335,614 | 73.0 |

② 支出の状況

単位：円

| 区 分 | R2年度 | | | R1年度 | | |
|-----|-----------|---------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合 計 | 2,024,000 | 760,475 | 37.6 | 1,831,000 | 1,147,720 | 62.7 |

(3) 住民主体による訪問型サービス実施状況

単位：人

| | 協力員 | | | 利用状況 | | |
|-----|------------|------------|------|------|------------|------|
| | 月末 登録者数 | 新規 登録人数 | 活動者数 | 相談数 | 新規 利用者数 | 利用者数 |
| 4月 | 57 | 0 | 13 | 0 | 0 | 17 |
| 5月 | 57 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 58 | 0 | 9 | 2 | 0 | 9 |
| 7月 | 58 | 0 | 10 | 0 | 1 | 12 |
| 8月 | 58 | 0 | 12 | 0 | 0 | 14 |
| 9月 | 58 | 0 | 13 | 3 | 1 | 14 |
| 10月 | 57 | 0 | 14 | 2 | 2 | 15 |
| 11月 | 60 | 4 | 14 | 1 | 1 | 16 |
| 12月 | 60 | 0 | 14 | 1 | 0 | 17 |
| 1月 | 60 | 0 | 14 | 0 | 0 | 16 |

| | | | | | | |
|------------|------|------|------|------|-----|----|
| 2月 | 60 | 0 | 12 | 1 | 0 | 13 |
| 3月 | 55 | 0 | 13 | 0 | 1 | 13 |
| 月平均 | 58.2 | 0.33 | 11.5 | 0.83 | 0.5 | 13 |
| 昨年度 月平均 | 62.6 | 1.2 | 16.3 | 2.3 | 1.6 | 21 |

(昨年度：新規利用者 19人 新規登録協力員 14人)

(今年度：新規利用者 6人 新規登録協力員 4人) ※実施主体の多摩市判断にて4月中旬から6月上旬まで活動休止

10 ボランティア・市民活動推進事業（多摩ボランティア・市民活動支援センター）

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

| 区分 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|----|-----------|------------|--------|-----------|------------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 9,979,000 | 10,344,493 | 103.7 | 9,946,000 | 10,493,456 | 105.5 |

※前期末支払資金残高含む

② 支出の状況

単位：円

| 区分 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|----|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 9,979,000 | 7,846,987 | 78.6 | 9,946,000 | 7,116,148 | 71.5 |

(2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催

| 委員会名 | 委員数 | 開催日 | 出席者数 |
|-----------------------------|-----|---------|------|
| 運営委員会 | 15名 | R2.6.12 | 書面決議 |
| | | R2.9.17 | 10名 |
| | | R2.12.8 | 10名 |
| | | R3.2.15 | 14名 |
| | | R3.3.23 | 11名 |
| 企業等連携強化専門委員会 | 8名 | R2.6.30 | 7名 |
| | | R3.1.19 | 7名 |
| 災害ボランティアセンター運営ボランティア育成専門委員会 | 15名 | R2.10.8 | 9名 |

(3) ボランティア育成事業

① 昔あそびボランティア養成講座「昔あそびの世界へようこそ」

| 実施日 | 参加者 | 場所 | 内容 | 協力団体等 |
|---------|-----|---------------|--|----------------------------|
| R2.9.20 | 9人 | 関戸公民館 大会議室 | <全回共通内容> 1. 昔あそびを伝承する意義やことにかかわる活動の楽しさ、喜び、注意していること等 2. その指導方法 3. 体験 4. 質疑応答 | こままわし こまのたけちゃん 協力：松村美花氏 |

② オンライン講座「0からはじめるZoom講座」

| 実施日 | 参加者 | 場所 | 内容 | 協力団体等 |
|---------------------------|-----|--------------------|---|-------|
| R2.1.27～ 3.24 (全5回) | 21人 | Zoomによる オンライン会議 | <全回共通内容> 1. Zoom入室方法 2. Zoomの基本操作 3. 自己紹介 4. 質疑応答 | |

③ボランティア体験

| 実施日 | 参加者 | 場所 | 内容 | 協力団体等 |
|--------------------|-----|--|--------------------|---|
| コロナ禍のため未実施 (中止) | | ガーデンシティ多摩センターこどもまつり2020 及び東京ヴェルディホームゲーム会場等全3箇所 | 東京医療学院大学学生ボランティア体験 | 東京ヴェルディ男性ボランティア会議 |
| コロナ禍のため未実施 (中止) | | 市内・近隣の福祉施設等全箇所 | 夏のボランティア体験2020 | 市内・近隣の高齢者、障がい者施設・団体、保育園、児童館、学童クラブ、NPO・ボランティア団体、コミュニティセンター |

④災害ボランティア育成

ア) 災害ボランティアセンター運営ボランティア育成講座

| 実施日 | 参加者 | 場所 | 内容 | 協力団体等 |
|------------|-----|---------------|---|--------------------------|
| R2. 10. 31 | 21人 | 関戸公民館 大会議室 | ① 講座「八王子市災害ボランティアセンター運営の実際」 ② 多摩市災害ボランティアセンターの運営について ③ 意見交換 | ① 国土館大学 ② 八王子市社会福祉協議会 |

上記参加者には社協職員を含む（職員研修を兼ねているため）

※運営ボランティアとして52人が登録（新規登録2名）

イ) 多摩市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

| 実施日 | 参加者 | 場所 | 内容 | 協力団体等 |
|-------------------------|-----|--------------------------|-------------------|-------|
| ※ コロナ禍のため未実施 (中止) | | 二幸産業・N SP健幸福 社プラザ他 | 災害ボラセン設置・運営 訓練 | |

⑤ ボランティアまつり（平成30年度よりボランティア・地域活動見本市）

| 回 | 実施日 | 来場者 | 場所 | 内容 | 協力団体等 |
|-----|------------|--------|-----------------------------|---|---|
| 第8回 | H29. 1. 29 | 3,500人 | 関戸公民館各フロア、さくら広場、多摩ボランティア・市民 | ・特別企画：映画「みんなの学校」の上映、市内4中学校の生徒（多摩中学校・東愛宕中学校・和田中学校・鶴牧中学校）によるトークセッション「私のボランテ | 協賛企業等 39 団体、ボランティア35人（実行委員10人、財源確専門委員会委員4人含む） |

| | | | | | |
|------|-----------------|--------|------------------|--|---|
| | | | 活動支援センター | <ul style="list-style-type: none"> ・イア体験 ・各種発表、体験 ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーンティング等 ・チャリティイベントの売上額 127,500円 ・協賛金額 308,000円 | ※企画運営：第8回ボランティアまつり実行委員会 |
| 第9回 | H30.1.27 | 3,000人 | | <ul style="list-style-type: none"> ・防災啓発体験企画「自分にもできる防災」(VC運営委員会・NPO法人シーズネットワーク共催企画) ・「たまたま多摩にいる人交流おそうじ」(NPO法人グリーンバード中央大学チーム共催企画) ・各種発表、体験 ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーンティング等 ・チャリティイベントの売上額 20,500円 ・協賛金額 278,000円 | 協賛企業等 34 団体、ボランティア 23 人 (運営委員・財源確専門委員会委員 9 人含む) |
| 第10回 | H31.1.26 | 100人 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・市民活動の活動紹介、体験、相談コーナー ・多摩フレイル予防プロジェクト (TFPP) の実施 ・協賛金額 175,000円 | 参加協力団体・機関：28、協賛企業等 16 |
| 第11回 | R1.10.20 | 400人 | 二幸産業・NSP 健幸福祉プラザ | <ul style="list-style-type: none"> ・参加団体による活動紹介、相談、マッチングほか ・参加者・団体同士の交流の機会 | 参加協力団体・機関：13 |
| 第12回 | コロナ禍のため未実施 (中止) | | | <ul style="list-style-type: none"> ・参加団体による活動紹介、相談、マッチングほか ・参加者・団体同士の交流の機会 | 参加協力団体・機関： |

⑥ たまボランティアギフト マatchingギフト合計金額 1,500円

| 実施日 | 参加者 | 場所 | 内容 | 協力団体等 |
|------------|-----|---------------|--------------|-----------------------|
| R2.6.17~24 | 3人 | 多摩市内子ども・誰でも食堂 | お弁当の配送ボランティア | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会職員共済会 |

(4) 企業・学校・社会福祉法人等による地域貢献活動の促進(多摩地域企業等情報交換の集い)

| 実施日 | 参加者 | 場所 | 内容 | 協力団体等 |
|-----------|-----------------|--------------------------|--|--|
| R2. 11. 1 | 25 団体 | コロナ禍のため書面にて発足発表 | 企業等の地域貢献ネットワーク多摩地域企業・大学等連絡会(ゆるたまネット)が発足 | 25 団体 一般企業：13 団体 非営利法人：8 団体 大学：4 団体 |
| R3. 3. 15 | 21 人 (20 団体) | コロナ禍のためオンライン開催 (Zoom 使用) | ①「コロナ禍での地域貢献活動(食の支援)」について発表。 ・NPO 法人フードバンク TAMA ・多摩ボラセンからの活動報告 ・動画メッセージ上映 ・一般社団法人祥鶴 ②次年度にコロナ禍で生活に困っている世帯などを対象とした食品詰め合わせキット無料配布の試行実施についての提案。 | 20 団体 一般企業：9 団体 非営利法人：8 団体 大学：4 団体 |

(5) 相談事業

| 実施日 | 来所者 | 場所 | 内容 | 協力団体等 |
|-----------------------------------|------|------------------------------|--|-----------------------------------|
| R2. 7. 16～ R2. 11. 30 全 8 回 | 28 人 | 市内コミュニティセンター 4 箇所、永山公民館、とよよん | 令和 2 年度ボランティア保険加入受付、ボランティア・市民活動の情報提供、相談等 | 市内コミュニティセンター運営協議会、ボランティア相談員延べ 1 人 |
| 毎月 第 4 木曜日 全 9 回 | 10 人 | 老人福祉センター | ボランティア・市民活動の情報提供、相談対応、ボランティア保険受付等 | |
| R2. 6. 10～ R2. 12. 9 全 8 回 | 10 人 | 多摩ボランティア・市民活動支援センター打ち合わせコーナー | ・NPO 設立・運営に関する相談 (NPO 法人の設立を考えている方向け) ・会計・税務に関する相談 (ボランティア団体や特定非営利活動法人向け) | 内藤純氏 (公認会計士・税理士) |

(6) 協力事業

| | 団体 | 実施日 | 実施・協力内容 | 協力団体等 |
|----|---------------------------------------|---------------------------------|---|----------------------------|
| 1 | 多摩ボランティア・市民活動支援センターパソコン研修室利用登録団体(4団体) | R2. 4. 1～ R3. 3. 31 | ・パソコン教室の開催(全151回) ・パソコン研修室の貸出、広報 | |
| 2 | 東京ヴェルディ1969フットボールクラブ(株) | R3. 3. 20 | ・東京ヴェルディホームゲームでの車イス来場者の付添、会場案内等 (参加者申込受付、広報) | |
| 3 | 貝取こぶし館 | R2. 11. 28 | ・福祉部主催手話講座(講師調整手配) | 特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター |
| 4 | 永山公民館 関戸公民館 | R2. 9. 27～11. 22 (全5回) | ・「聞き書きボランティア」入門講座(活動先調整やボランティアコーディネート) | |
| 5 | NPO法人キャットセイビア | R2. 9. 21 | ・地域猫勉強会(広報) | ※ボランティア登録団体 |
| 6 | NPO法人シニアサポート多摩 | R2. 9. 24～、R2. 10. 25 (合計2回) | ・相続・遺言・成年後見・死後の事務「無料相談会」(広報) | ※ボランティア登録団体 |
| 7 | What's jazz 実行委員会 | R3. 2. 25 | チケット代行販売(販売手数料収入20,200円) | ※ボランティア登録団体 |
| 中止 | 第39回せいせき桜まつり実行委員会 | コロナ禍のため未実施 | ・東日本大震災復興支援フェア出店 | 元気いしのまき、多摩市災害復興支援ボランティアの会 |
| | 映画フォーラム実行委員会 | コロナ禍のため未実施 | チケット代行販売(販売手数料収入円) | ※ボランティア登録団体 |

(7) 地域出前事業

| | 学校・団体 | 実施日 | 実施・協力内容 | 協力団体等 |
|---|--------|---------------------------|-------------------------------|-------------------|
| 1 | 永山高校 | R2. 9. 30 | 講師派遣 ボランティア・市民活動 についての話 | |
| 2 | 聖ヶ丘中学校 | R2. 9. 11 | ①車椅子講習会 ②高齢者疑似体験 | ①②大和会 |
| 3 | 永山小学校 | ①R2. 11. 26 ②R2. 12. 4 | ①視覚障がい者当事者の話、点字体験 | ①多摩市視覚障害者福祉協会、多摩市 |

| | | | | |
|----|--------------------|--|---|---|
| | | | ②聴覚障がい者当事者の話、手話体験 | 点訳サークル「トータス」 ②多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」 |
| 4 | 多摩市立子育て総合センター たまっこ | R2. 11. 27 | 講師派遣 「令和2年度子育て・子育て支援者養成講座」での市民活動の紹介と役割について | |
| 5 | 大松台小学校 | ①R2. 12. 15 ②R2. 1. 19 ③R2. 2. 2 | ①②視覚障がい者当事者の話、点字体験 ③聴覚障がい者当事者の話、手話体験 | ①②多摩市視覚障害者福祉協会 パソコン点訳サークルこがめ ③多摩市聴覚障害者協会、特定非営利活動法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」 |
| 6 | 多摩第二小学校 | R2. 12. 18 | ①車椅子講習会 ②高齢者疑似体験 | ①②大和会 |
| 7 | 瓜生小学校 | R3. 1. 26 | 高齢者疑似体験 | まちづくり推進担当職員 |
| 8 | 南鶴牧小学校 | ①R3. 1. 12 ②R3. 1. 14 | ①車椅子ユーザー当事者の話 ②視覚障害当事者の話 | ①平田真利恵氏 ②多摩市視覚障害者福祉協会 |
| 中止 | 東京医療学院大学 | コロナ禍のため未実施 | 講師派遣 ①ボランティア・市民活動についての話 ②多摩ボランティア・市民活動支援センターの取り組みについて | |
| | 恵泉女学園大学 | コロナ禍のため未実施 | 講師派遣 ボランティア入門講座 | |
| | 大妻多摩中学校 | コロナ禍のため未実施 | 講師派遣 ①ボランティア・市民活動についての話 ②夏のボランティア体験2020の説明 | |

| | | | | |
|----|------------------|----------------|--------------|-------------------------|
| 中止 | 多摩市老人クラブ連 合会 | コロナ禍の ため未実施 | 車いす講習会 | ①男性ボランティア 会議 ②愛生苑 |
| | 東京海上日動システム ズ㈱ | コロナ禍の ため未実施 | 社員向け障がい者理解講座 | |

(8) ボランティア活動等振興助成金交付事業

① 令和2年度実績

| 団体名 | 事業内容 | 助成金額 (単位：円) |
|-------------------------|---|----------------|
| NPO法人 シニアサポート多 摩 | 主に独居・夫婦のみ世帯の高齢者に向けた 法務と福祉の相談会 | 30,000 |
| NPO法人キャットセイビア | 担い手(ボランティア)を増やすための普 及啓発講座開催 | 30,000 |
| 多摩市音訳グループ繭 | 会員の質の向上を図る事業 | 20,000 |
| 傾聴ボランティアグループ「福寿 草」 | 会員の質の向上を図る事業 | 20,000 |
| 聖ヶ丘子どもおとしより見守り実 行委員会 | 地域での防犯活動の範囲拡大や、地域の 様々なボランティア活動の担い手を発掘 するための普及啓発事業 | 30,000 |
| 合計(5団体) | | 140,000 |

※傾聴ボランティアグループ「福寿草」に関しては、コロナウイルス感染拡大に伴い未
実施となった。(交付額：20,000円は返還)

② 過去5年間の状況

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 登録団体数 | 64 | 58 | 58 | 62 | 61 |
| 助成団体数 | 14 | 12 | 12 | 13 | 5 |
| 助成総額(円) | 499,600 | 424,470 | 344,000 | 394,000 | 140,000 |

(9) 子ども食堂等活動支援金交付事業

① 令和2年度実績

| 団体名 | 事業内容 | 助成金額 (単位：円) |
|---------------------------|---------------------|----------------|
| 特定非営利活動法人 プレイルームゆづり葉の家 | 愛宕だれでも食堂 | 20,000 |
| 特定非営利活動法人どんぐりパ ン | きっちん空(子ども・誰でも食堂) | 20,000 |
| 一般社団法人 祥鶴会 | ほくの家(子ども・誰でも食堂) | 20,000 |
| ハーモニークラブ | ハーモニーカフェ(子ども・誰でも食堂) | 20,000 |
| ピンクララタマ | ピンクララタマ(子ども・誰でも食堂) | 20,000 |

| | | |
|-----------|----------------------|---------|
| わくわく子ども食堂 | わくわく子ども食堂(子ども・誰でも食堂) | 20,000 |
| 合計(6団体) | | 120,000 |

②過去5年間の状況

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|---------|------|------|--------|---------|---------|
| 応募団体数 | 0 | 0 | 2 | 6 | 6 |
| 助成団体数 | 0 | 0 | 2 | 6 | 6 |
| 支援総額(円) | 0 | 0 | 40,000 | 120,000 | 120,000 |

(10) フードドライブ事業

食品・食材を集め生活困窮者や支援団体に対して配布する。

| | R2年度 |
|-----------------------|---------|
| 寄付件数(個人) | 223件 |
| 寄付物品総重量(個人) | 912kg |
| 寄付件数(団体) | 39件 |
| 寄付物品総重量(団体) | 1,000kg |
| 食材配布数(子ども・誰でも食堂) | 107件 |
| 食材配布数(フードバンク団体) | 39件 |
| 食料配布数*個人(世帯)(資金貸付相談者) | 39件 |

※寄付された食品・食材は、各子ども・誰でも食堂やフードバンク団体へ配布しますが、一部(賞味期限が長い食品等)を、個人(世帯)への緊急配布用に保管しているため、寄付受付件数と配布件数は数値が異なります。

※令和元年度実績

◎食料品の寄付の受付(フードドライブ実績) 寄付件数: 96件

◎食料品の配布状況(フードバンク実績)

貸付相談者配布件数: 19件、生活困窮者支援団体への配布件数: 31件

(11) 販売事務業務委託(多摩市受託事業) ※通年

| 委託件名 | 事業内容 | 収入金額 (単位:円) |
|------------------|------------------------------------|----------------|
| 多摩市印刷物有償頒布事務業務委託 | 多摩市印刷物の有償頒布に係る業務(販売) ※委託料は販売価格の20% | 1,700 |
| 学校施設等使用券売払事務業務委託 | 学校施設等使用券の販売及び収納業務 ※委託料は販売価格の5% | 44,800 |
| 合計 | | 46,500 |

(12) 関係機関との連携

| 会議名 | 実施回数 | 備考 |
|-----------------------------|------|-----------------------|
| 多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体等連絡会 | 月1回 | 構成: 29団体 ※令和2年度は年2回開催 |
| 市区町村ボランティア・市民活動センター長会議 | 年4回 | オンライン会議 |

| | | |
|----------------------------------|-------|--|
| 市区町村ボランティア・市民活動推進事務局連絡会 | 年 4 回 | オンライン会議 |
| 市区町村社協南多摩ブロック職員 の会ボランティア担当者会議 | 年 3 回 | 構成：八王子市、町田市、日野市、稲城市、 多摩市の 5 市社協 ※会議の他、メーリングリストを作成し、情報 交換を行っている。 |

(13) ボランティア基金・寄附金状況

① ボランティア基金（令和3年3月末現在高 12,275,590円）

単位：円

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------|--------|-------|--------|--------|---------|
| 寄附金額 | 15,285 | 9,557 | 31,353 | 50,000 | 442,952 |

※平成28年度寄附金のうち、1,111,571円はふるさとTAMA応援寄附金。次年度4月期に基金への積立を行うため平成29年3月末現在高には含まれず

② 指定寄附金（ボランティア・市民活動推進）

単位：円

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 寄附金額 | 181,347 | 244,688 | 231,430 | 194,600 | 165,940 |

※ 商品券による寄附 100,000円を含む

※ 平成28年度の寄附金のうち、98,600円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成29年度の寄附金のうち、72,500円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成30年度の寄附金のうち、98,500円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 令和元年度の寄附金のうち、49,500円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 令和2年度の寄附金のうち、1,500円は「たまボランティアギフト」による寄附金

(14) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|---------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 個人登録者数 | 505人※1 | 551人※1 | 651人※1 | 716人※1 | 878人※1 |
| 団体加盟者数 | 2,296人※2 | 1,853人※2 | 2,074人※2 | 2,155人※2 | 1,884人※2 |
| V保険登録者数 | 3,012人 | 2,224人 | 3,032人 | 2,062人 | 1,810人 |
| 登録団体数 | 64団体 | 58団体 | 58団体 | 60団体 | 61団体 |

※1 個人登録者数のうち、474人は介護予防ボランティアポイント登録者

また、災害ボランティアやヴェルディボランティアで重複あり

※2 延べ人数。複数の団体に所属して活動しているボランティアがいるため

(15) 多摩ボランティア・市民活動支援センター（ヴィータ）利用登録者状況

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|----------|---------|---------|---------|--------|--------|
| 個人利用登録者数 | 955人 | 1,037人 | 1,107人 | 1,126人 | 1,235人 |
| 来館者数 | 12,704人 | 12,750人 | 11,540人 | 8,917人 | 4,558人 |

(16) ボランティア相談状況

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----------|------|------|------|------|------|
| ボランティア希望 | 158 | 147 | 125 | 157 | 126 |
| ボランティア要請 | 97 | 91 | 77 | 61 | 21 |
| マッチング（紹介） | 87 | 86 | 55 | 54 | 11 |
| 情報提供 | 46 | 34 | 22 | 20 | 25 |

| | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 協力依頼 | 29 | 41 | 55 | 48 | 38 |
| その他 | 11 | 27 | 28 | 11 | 8 |
| 計 | 341 | 340 | 307 | 297 | 218 |

※介護予防ボランティア登録者の数は含まない。

※マッチング(紹介)は、ボランティア要請に対しての紹介数のため合計数に含まず。

(17) 活動室・会議室利用状況及び機材貸出状況

① 活動室利用状況

ヴィータ(本センター) 打ち合わせコーナー 定員30人
 総合福祉センター ボランティア活動室 定員15人
 永山分室 ボランティア活動室 定員20人 会議室 定員50人

()内は前年度

| 利用月 | ヴィータ(本センター) | | 総合福祉センター分室 | | 永山分室 | |
|--------|-------------|-----------|------------|-------------|-----------|---------------|
| | 延団体数 | 利用人数 | 延団体数 | 利用人数 | 延団体数 | 利用人数 |
| R2. 4 | 0 (23) | 0 (168) | 0 (18) | 0 (169) | 4 (60) | 10 (911) |
| R2. 5 | 0 (36) | 0 (105) | 0 (11) | 0 (88) | 0 (44) | 0 (862) |
| R2. 6 | 4 (10) | 17 (76) | 1 (19) | 5 (129) | 15 (39) | 138 (1,093) |
| R2. 7 | 5 (13) | 21 (107) | 13 (12) | 72 (95) | 27 (51) | 246 (868) |
| R2. 8 | 3 (4) | 16 (21) | 1 (11) | 9 (75) | 17 (35) | 135 (496) |
| R2. 9 | 7 (10) | 24 (61) | 6 (15) | 25 (98) | 42 (58) | 378 (910) |
| R2. 10 | 7 (17) | 31 (69) | 11 (20) | 57 (148) | 45 (54) | 456 (900) |
| R2. 11 | 8 (15) | 35 (97) | 12 (13) | 73 (92) | 46 (54) | 427 (833) |
| R2. 12 | 5 (14) | 17 (72) | 8 (24) | 31 (110) | 40 (53) | 410 (816) |
| R2. 1 | 2 (14) | 11 (62) | 4 (13) | 16 (106) | 13 (44) | 100 (767) |
| R2. 2 | 5 (20) | 20 (89) | 5 (18) | 24 (164) | 23 (51) | 227 (815) |
| R2. 3 | 4 (0) | 20 (0) | 9 (0) | 46 (0) | 31 (5) | 313 (17) |
| 合計 | 50 (176) | 212 (927) | 70 (165) | 358 (1,274) | 303 (548) | 2,840 (9,288) |

② 機材貸し出し状況

印刷機、コピー機(白黒・カラー)、拡大コピー機、メールボックス、ロッカー、車いす、高齢者疑似体験セット、視覚障がい体験セット、アイマスク、白杖、点字練習器、図書等、ボランティア・市民活動に必要な機材・用具の貸出を行った(一部有料)。

| 貸出機材 | 貸出件数合計 ()内は前年度 |
|----------------|-----------------|
| ロッカー | 31 (31) |
| メールボックス | 15 (15) |
| 多目的ボックス | 19 (19) |
| 車いす | 9 (22) |
| 高齢者疑似体験セット | 11 (15) |
| 視覚障がい体験セット | 0 (3) |
| アイマスク | 2 (4) |
| 点字練習器 | 0 (3) |
| 女性センターライブラリー図書 | 9 (46) |

(18) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況

① 「ボランティア通信」発行状況(月1回発行)

| 発行部数(月別) | 総発行部数 | 設置・送付箇所数 | 主な設置・送付場所 |
|----------|---------|----------|---|
| 3,000部 | 36,000部 | 385箇所 | 市内公共施設(コミュニティセンター含む)、市内郵便局、市内企業・店舗(福祉協力店含む)、学校等 |

② 多摩ボランティア・市民活動支援センター専用ホームページ開設状況

ア) 令和2年度実績 ()内は前年度の数

| 月 | 訪問者数 | 一日平均アクセス者数 |
|-------|----------------|------------|
| R2.4 | 815(871) | 27(29) |
| R2.5 | 793(967) | 26(31) |
| R2.6 | 1,024(1,837) | 34(61) |
| R2.7 | 1,020(1,585) | 33(51) |
| R2.8 | 984(894) | 32(29) |
| R2.9 | 1,045(769) | 35(36) |
| R2.10 | 1,032(1,081) | 33(35) |
| R2.11 | 1,001(810) | 33(27) |
| R2.12 | 833(636) | 27(21) |
| R3.1 | 966(792) | 31(26) |
| R3.2 | 1,037(724) | 37(25) |
| R3.3 | 1,211(890) | 42(29) |
| 合計 | 11,861(11,856) | 32(29) |

※訪問者数は、1回以上アクセスしたユーザー数（重複なし）

イ) 過去5年間の状況

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 訪問者数 | 18,036 | 16,263 | 13,185 | 11,856 | 11,861 |
| 一日平均アクセス者数 | 49 | 45 | 27 | 29 | 32 |

③ 多摩ボランティア・市民活動支援センターメールマガジン配信状況

ア 配信日：第1木曜日。その他、不定期に配信。

イ 登録件数：595人（令和3年3月末日現在）

ウ 配信回数：14回

エ 過去5年間の状況

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------|------|------|------|------|------|
| 登録件数 | 632 | 625 | 617 | 598 | 595 |

1.1 介護予防ボランティアポイント事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

| | |
|------|--|
| 目的 | 多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱に基づき、介護保険法（平成9年法律第123号）第115条の45第1項第1号に規定する介護予防事業として、高齢者のボランティア活動実績を「ポイント」として評価することにより、介護予防を促進し、もって元気な高齢者が地域に貢献できるような取り組みを推進することを目的とする。 |
| 事業開始 | 平成26年7月7日（受託事業開始） |
| 事業概要 | <p>(1) 事業内容</p> <p>①制度根拠：介護保険法第115条の45第1項第1号、地域支援事業実施要綱、多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱</p> <p>②介護予防ボランティア：多摩市在住の介護保険第1号被保険者（あらかじめ管理機関へ登録が必要）</p> <p>③介護予防ボランティア活動（多摩市長が指定する介護予防ボランティア事業及び活動）</p> <p>ア) 事業 ●介護保険対象施設 ●多摩市が実施する地域支援事業（介護予防事業）</p> <p>イ) 活動 ●レクリエーション等の指導、参加支援 ●お茶だしや食堂内の配膳・下膳などの補助 ●散歩、外出、館内移動の補助 ●模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露などの行事の手伝い ●話し相手 ●その他施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動（例—草刈、洗濯物の整理、シーツ交換など） ●その他</p> <p>④活動実績の把握：介護予防ボランティアが持参する介護予防ボランティア手帳に活動確認スタンプを押印。</p> <p>⑤評価ポイントの付与：介護予防ボランティア手帳に押印されたスタンプの数に応じて最大5,000ポイントの評価ポイントを付与。</p> <p>⑥評価ポイント転換交付金：介護予防ボランティア手帳を添えて、評価ポイント活用を申し出る。交付額は年間最大で5,000円。</p> <p>⑦その他：介護保険料の未納又は滞納の場合、適用しない。</p> <p>(2) 業務内容</p> <p>①介護予防ボランティア登録対象者向け説明会・研修会及び受入機関向け説明会の実施</p> <p>②受入機関の登録に関する事務</p> <p>③介護予防ボランティアの登録及び介護予防ボランティア手帳の交付に関する事務</p> <p>④介護予防ボランティア活動評価ポイントの付与及び管理に関する事務</p> <p>⑤介護予防ボランティアポイント交付金交付申請に関する事務</p> <p>⑥介護予防ボランティアポイント登録者に対する受入機関及び活動内容等の紹介に関する事務</p> |

(2) 契約状況等

単位：円

| | 令和2年度 | 令和元年度 |
|---------|------------|------------|
| 契約年月日 | 令和2年4月1日 | 平成31年4月1日 |
| 契約金額 | 2,243,000円 | 2,230,000円 |
| 変更協議年月日 | 令和3年1月4日 | |
| 契約金額 | 1,912,000円 | |

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

| 区 分 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|-----|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 収入済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 収入済額 | 執行率(%) |
| 合 計 | 1,912,000 | 1,912,000 | 100.0 | 2,230,000 | 2,230,000 | 100.0 |

② 支出の状況

単位：円

| 区 分 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|-----|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 支出済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 支出済額 | 執行率(%) |
| 合 計 | 1,912,000 | 1,739,260 | 90.9 | 2,230,000 | 2,061,547 | 92.4 |

(4) 事業実施状況

① ボランティア登録者数

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------|------|------|------|------|------|
| 登録者数 | 255人 | 343人 | 404人 | 477人 | 474人 |

② 登録施設数

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-------|------|------|------|------|------|
| 登録施設数 | 39 | 45 | 51 | 52 | 50 |

③ 登録者向け説明会

| 実施日 | 参加者 | 場所 | 内容 | 協力団体等 |
|-----------------------------------|-----|------------------------------------|--|-------|
| R2.6.11 ~ R3.3.11(毎月 第一木曜日) | 14人 | 多摩ボランティア・市 民活動支援センター 打合せコーナー | ・にゃんともTAMARボラ ティアポイントについて ・登録手続きについて | |

④ 研修会

| 実施日 | 参加者 | 場所 | 内容 | 協力団体等 |
|----------|-----|-----------|-----------------------|----------------|
| R2.10.27 | 6人 | 関戸公民館大会議室 | お口の健康からはじめるフレ イル予防 | 天本病院 田中 仁士氏 |

⑤ 施設向け説明会

| 実施日 | 参加者 | 場所 | 内容 | 備考 |
|---------|--------------|------------------------------------|--|-----------------|
| R3.1.19 | 0施設の ため中止 | 多摩ボランティア・市 民活動支援センター 打合せコーナー | ・にゃんともTAMARボラ ティアポイントについて ・登録手続きについて | 問合せ1施設に 資料送付 |

⑥ 施設ボランティア受入れ担当者情報交換会と研修会

| 実施日 | 参加者 | 場所 | 内容 | 備考 |
|-----------|-----------|-----------------|----------------------------|----|
| R3. 3. 10 | 7施設 7人 | Zoom によるオンライン会議 | コロナ禍で中止、縮小した活動再開のための備えについて | |

1.2 福祉サービス利用援助事業

(1)概要

| | |
|-----|---|
| 目的 | 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に対し、本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うことにより、安心して自立した生活が送れるようにする。 |
| 対象者 | 1 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者 2 支援が必要な高齢者、身体障がい者 |
| 内容 | ①福祉サービス利用援助(情報提供、手続き援助、利用料の支払い等) ②日常的金銭管理サービス(年金や手当の受領手続き、日常生活上の支払い手続き、払い戻し等) ③書類等の預かりサービス(年金証書、預貯金通帳、権利証、実印等) ④成年後見制度に関する相談及び利用支援 |

(2)地域福祉権利擁護事業(東京都社会福祉協議会受託事業)

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 相談件数 | 3,998 | 4,009 | 3,292 | 3,030 | 2,156 |
| 契約件数 | 19 | 16 | 28 | 20 | 25 |
| 解約件数 | 10 | 18 | 23 | 14 | 17 |
| 年度末契約件数 | 86 | 84 | 89 | 95 | 103 |

収支状況(人件費を除く)

収入の状況

単位:円

| 区分 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|----|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 4,136,000 | 3,964,219 | 95.8 | 3,821,000 | 3,789,693 | 99.2 |

支出の状況

| 区分 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|----|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 4,136,000 | 3,402,799 | 82.3 | 3,821,000 | 3,598,899 | 94.2 |

(3)東京都福祉サービス総合支援事業（多摩市補助事業）

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|---------|------|------|------|------|------|
| 相談件数 | 980 | 747 | 715 | 627 | 349 |
| 契約件数 | 7 | 4 | 7 | 4 | 3 |
| 解約件数 | 6 | 4 | 8 | 5 | 7 |
| 年度末契約件数 | 22 | 22 | 21 | 20 | 16 |

福祉サービス利用援助事業 令和2年度末契約総数 119件 (103件+16件)

収支状況（人件費を除く）

収入の状況

単位：円

| 区分 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|----|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 1,594,000 | 1,416,400 | 88.9 | 1,834,000 | 1,690,932 | 92.2 |

支出の状況

| 区分 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|----|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 1,594,000 | 1,147,564 | 72.0 | 1,834,000 | 1,207,305 | 65.9 |

(4) 成年後見制度利用支援業務

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 相談件数 | 134 | 183 | 185 | 163 | 360 |
| 申立支援件数 | 4 (4) | 7 (7) | 9 (9) | 4 (4) | 20 (4) |
| マッチング支援件数 | | | | | 21 |

※平成21年10月1日より業務開始

※申立支援件数のうち、括弧内は(2)および(3)の契約者に対して申立支援を行った件数。

※令和2年4月1日より多摩市成年後見制度利用者支援事業業務として委託を受ける。

収支状況（人件費を除く）

収入の状況

単位：円

| 区分 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|----|-----------|---------|--------|---------|---------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 2,772,000 | 576,550 | 20.8 | 975,000 | 770,000 | 79.0 |

支出の状況

| 区分 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|----|-----------|---------|--------|---------|---------|--------|
| | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) | 予算現額 | 執行済額 | 執行率(%) |
| 合計 | 2,772,000 | 566,563 | 20.4 | 975,000 | 583,577 | 59.9 |

(5)実施事業

| | |
|---------------------|--|
| <p>広報・説明会</p> | <p>1 社協および市広報紙、ホームページの掲載。独自パンフレットの配布。 2 社協職員による成年後見制度及び福祉サービス利用援助事業説明会の実施。 ① 市民向け事業説明会 令和2年9月7日(月) 2人 ② 事業所向け事業説明会 令和2年11月27日(金) 25人 ③ 生活支援員募集事業説明会 令和2年8月31日(月) 8人、令和3年2月25日(木) 4人 合計12人</p> |
| <p>ふくし法律 相談</p> | <p>実施日：毎月、第3木曜日 午後1時30分～3時30分 場 所：総合福祉センター内 弁護士：第二東京弁護士会所属 弁護士 増田径子氏 対象者：高齢者、障がい者及びその家族等 相談人数および件数：16人、13件 相談について(6件) 財産管理について(3件) 成年後見制度について(2件) その他(2件)</p> |
| <p>講演会</p> | <p>事業名：「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」 日 時：令和2年7月6日(月) 午前10時～12時 場 所：消費生活センター 講座室 講 師：社会福祉士・ファイナンシャルプランナー 音川敏枝氏 目 的：「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、家族信託と成年後見制度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。 内 容：成年後見制度と家族信託について講演を行った。 参加者：8人</p> <p>事業名：「専門職見人等懇談会」 日 時：令和2年11月6日(金) 午後7時～9時 場 所：消費生活センター 講座室 講 師：司法書士 入沢修自氏 目 的：後見業務における疑問等の解決を図り、合わせて専門職見人等及び受任予定の士業の交流を促進することで成年後見人等の支援を行う。 内 容：「不動産や証券等の財産管理方法について」の講演と情報交換会を行った。 参加者：8人</p> <p>事業名：「司法書士による市民のための成年後見相談会」 日 時：令和2年12月12日(土) 午前9時30分～11時50分 場 所：消費生活センター 講座室 相談員：(公社)成年後見センターリーガルサポート東京支部所属 司法書士3名 北村智史氏、鈴木悠平氏、小林律氏 目 的：市民を対象に成年後見制度や遺言等の普及啓発を図る。 内 容：司法書士による成年後見制度や遺言に関する相談会を行った。 相談者数：3人</p> |

| | |
|--------------|--|
| | <p>事業名：「市民のための成年後見講座」 日 時：令和3年2月6日（土）午前10時～12時 場 所：消費生活センター 講座室 講 師：司法書士 相田浩和氏 目 的：市民を対象に成年後見制度の普及啓発を行う。 内 容：成年後見制度の活用（基礎編）について講演を行った。 参加者：2人</p> <p>事業名：「親族後見人懇談会」 日 時：令和3年2月6日（土）午後2時～4時 場 所：消費生活センター 講座室 講 師：司法書士 吉村護氏 目 的：親族で後見人等としての活動を考ええている方に対して、後見業務の具体的な内容や活動におけるポイントを伝え、今後の後見活動における心構えに繋げる。 内 容：「親族が後見人として就任した後に行う活動について」の講演を行い、個別相談に応じた。 参加者：2人</p> |
| <p>専門研修会</p> | <p>事業名：生活支援員研修会 「感染症予防対策について」 「新型コロナウイルス禍における支援について」 日 時：令和3年1月25日（月）午後2時～4時 場 所：総合福祉センター7階 研修室 及び オンラインツールZOOMでの参加 講 師：多摩市社会福祉協議会 センター係 看護師 渡辺誠子氏 目 的：感染予防について周知することで、安心安全な支援の継続につなげる。また、支援活動を通じて感じたことや疑問などを生活支援員同士で共有し、話し合うことによって利用者へのより良い支援に繋げていく。 内 容：「感染症予防対策について」の講話を行い、グループワークを通じて、新型コロナウイルス禍における支援中に困ったことや良かったことを共有する。 対象者：生活支援員・職員 参加者：生活支援員16人、職員7人 計23人</p> |

13 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金（東京都社会福祉協議会受託事業）

単位：円

| 資金種別 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 | |
|-------------|------------------------------|--|--|-------------------------------------|------------------------------------|--|
| 相談総件数 | 1,628件 | 2,137件 | 2,114件 | 2,148件 | 1,397件 | |
| 資金種別ごとの貸付内容 | ①福祉資金 | 3,300,000 (5件) 辞退 2,023,000 | 58,000 (1件) | 308,000 (2件) | - | - |
| | ②緊急小口資金 | 200,000 (2件) | 350,000 (4件) | 100,000 (1件) | ※特例貸付 (11件) | ※特例貸付 (1,032件) |
| | ③教育支援資金 | 67,587,000 (44件) 辞退 3,372,000 | 79,202,500 (57件) 辞退 9,036,000 | 27,689,500 (23件) 辞退 10,000 | 1,370,000 (8件) 辞退 238,000 | 13,269,000 (10件) 辞退 2,190,000 |
| | ④総合支援資金 | 246,000 (1件) | - | 420,000 (1件) | ※特例貸付 (0件) | ※特例貸付 (1,160件) |
| | ⑤要保護世帯向け 不動産担保型 生活福祉資金 | - | - | - | 13,930,000 (1件)- | - |
| | 合計 | 71,363,000 (52件) | 79,610,500 (62件) | 28,507,500 (27件) | 15,300,000 (20件) | 13,269,000 (2,202件) |

※特例貸付：新型コロナウイルスの影響による特例貸付の申請（緊急小口資金）・貸付（総合支援資金）件数

(2) 小口資金（多摩市社会福祉協議会独自事業）

不慮の出来事で、その出費に急を要するものに2万円を限度に資金を貸し付ける。

単位：円

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 | |
|----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------|
| 相談件数 | 764件 | 688件 | 558件 | 425件 | 51件 | |
| 貸付金額 | 505,000 (26件) | 347,000 (23件) | 250,000 (13件) | - | 20,000 (1件) | |
| 償還 状況 | 当年度貸付分 償還金 | 372,000 (64件) | 201,000 (29件) | 164,000 (22件) | - | 20,000 (1件) |
| | 過年度貸付分 償還金 | 315,000 (82件) | 276,000 (62件) | 158,000 (28件) | 117,000 (22件) | 2,000 (1件) |

(3)緊急援護事業（多摩市社会福祉協議会独自事業）

生活困窮者に対して、2,000円を限度に金品等を援助する。

単位：円

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 支給件数 | 10件 | 8件 | 4件 | 7件 | 5件 |
| 支給金額 | 2,000 | 4,500 | 1,000 | 8,000 | 2,500 |

※ 業務の一部は、多摩市健康福祉部生活福祉課に依頼して実施

※ 多摩市健康福祉部生活福祉課で、5件合計2,500円支給。うち4件は返還済。

(4)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業（東京都社会福祉協議会受託事業）

ひとり親の修学を支援し、資格取得と資格を活かした就職を促進して一人親家庭の自立を図る（平成28年12月開始）。

| | | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------|---------|------------------|------------------|-------------------|------|
| 相談件数 | | 16件 | 29件 | 28件 | 4件 |
| 貸付件数 | ① 入学準備金 | 500,000円 (1件) | — | 1,000,000 (2件) | — |
| | ② 就職準備金 | — | 200,000円 (1件) | 400,000 (2件) | — |
| | 合計 | 500,000円 (1件) | 200,000円 (1件) | 1,400,000 (4件) | — |

(5)出張相談（しごと・くらしサポートステーション）

しごと・くらしサポートステーション（ベルブ永山）で毎月第1・3火曜日に出張相談を実施。（令和元年6月開始）

| | R1年度 | R2年度 |
|------|------|------|
| 実施回数 | 20回 | 未実施 |
| 相談件数 | 4件 | — |

※R2年度については、生活福祉資金特例貸付の実施に伴う、社協内での相談・申請対応の増加に対応するため実施せず。

(6)その他（フードバンク事業）

生活困窮者に対して、食糧を配布する。

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------|------|------|------|------|------|
| 支給件数 | 19件 | 31件 | 111件 | 50件 | 185件 |

※上表は貸付相談者や生活困窮者支援団体等に対して食糧を配布した件数

※令和2年度実績

◎食料品の寄付の受付（フードドライブ実績）

寄付件数：262件

◎食料品の配布状況（フードバンク実績）

貸付相談者配布件数：39件、生活困窮者支援団体への配布件数：146件

14 収益事業の実施

公園・資源化センター等の公共施設、福祉協力店、および市内工事現場に自動販売機を設置し、その売上の一部が収益金と、赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金への寄付となる。

単位：円

| 設置場所 | 業者 | ロケーションマージン額（手数料収入） | | | | |
|------------------|-------------------|--------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
| 一本杉公園（2台） | 西都ヤクルト販売(株) | 598,780 | 655,284 | 791,636 | 630,449 | 572,899 |
| 多摩東公園 | | 395,752 | 366,936 | 363,216 | - | 479,983 |
| 資源化センター | | 240,648 | 202,076 | 201,216 | 303,848 | 205,818 |
| エリアティ | | - | 2,915 | 25,365 | 23,530 | 30,247 |
| 魚勇 | | - | 322 | 4,157 | 3,431 | 1,489 |
| シルバー人材センター | | 37,588 | 43,000 | 30,924 | - | - |
| 新井歯科医院 | *1 | - | 12,649 | 27,443 | 26,531 | 26,792 |
| ポロン | 東京キリンビバレッジサービス(株) | - | 1,120 | 15,207 | 13,988 | 14,265 |
| 高西寺 | | - | 1,790 | 23,227 | 21,397 | 24,051 |
| KDDI 多摩センタービル *2 | | - | - | - | - | 13,322 |
| 中沢都営住宅建設工事現場 | | - | - | 9,372 | 24,702 | 12,704 |
| 三井住友建設聖蹟桜ヶ丘現場 *2 | | - | - | - | - | 66,492 |
| 旧北貝取小学校工事現場 *2 | | - | - | - | - | 1,488 |
| 西落合小学校改修工事現場 | | - | - | 64,237 | 74,387 | - |
| K&K | | - | 75,159 | 181,476 | 111,310 | - |
| チャットボックス | | - | 15,098 | 31,361 | - | - |
| ジャパンビバレッジ | | - | - | 112 | - | - |
| 合計 | | 1,272,768 | 1,376,349 | 1,768,949 | 1,219,079 | 1,449,550 |

*1 設置業者) コカ・コーラボトラーズジャパン(株)

*2 令和2年度新規設置自販機

※ ロケーションマージン額：販売品売上単価の1%～40%（設置場所により異なる）を販売手数料としており、商品により1本当たり1円～60円の収益がある。

15 老人福祉センター事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

| | |
|------|--|
| 目的 | 市内在住の満60歳以上の方に、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションなどの事業を実施するとともに、高齢者団体の活動を支援し、健康で明るい生活を過ごしていただく。 |
| 事業開始 | 平成9年4月1日（受託事業開始） ※令和2年度をもって事業受託終了 （令和3年度より多摩市総合福祉センター指定管理者に事業移管） |
| 対象 | 市内在住の満60歳以上の方（R3年3月末現在 50,810人） |
| 実施場所 | 多摩市総合福祉センター内 |
| 内容 | <p>① 業務日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ●月曜日から土曜日[年末年始・日曜日・祝日・第2土曜日を除く日]の午前9時から午後5時まで <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●趣味、教養、健康増進などの教室・講座 陶芸 英会話 中国語 折り紙 書道 ペン字 フォークダンス 料理 キーボード オカリナ 俳句 ハングル語 パソコン らくらく運動 健身気功 ボディコンディショニング ヨガ 呼吸で体幹ストレッチ 3B体操 リズムダンス 等 ●行事等の開催 春の発表会 囲碁の日 カラオケの日 世代間交流事業 将棋大会 囲碁大会 南なん亭 映画の日等 |

(2) 契約状況等

| 区分 | 令和2年度 | | 令和元年度 | |
|---------|-------------|----|-------------|----|
| | 内容 | 備考 | 内容 | 備考 |
| 契約年月日 | 令和2年4月1日 | | 平成31年4月1日 | |
| 概算契約金額 | 41,930,000円 | | 39,024,000円 | |
| 契約変更年月日 | 令和3年1月8日 | | 令和2年1月10日 | |
| 変更契約金額 | 38,126,000円 | | 36,800,000円 | |

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

| 区 分 | 令和2年度 | | | | 令和元年度 | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|
| | 予算現額 | 収入済額 | 予算残額 | 執行率 (%) | 予算現額 | 収入済額 | 予算残額 | 執行率 (%) |
| 受託金収入 | 38,134,000 | 36,333,912 | 1,800,088 | 95.3 | 36,800,000 | 34,404,021 | 2,395,979 | 93.5 |
| 参加費収入 | 563,000 | 114,200 | 448,800 | 20.2 | 607,000 | 514,100 | 92,900 | 84.7 |
| 利用料収入 | 458,000 | 129,400 | 328,600 | 28.2 | 464,000 | 398,100 | 65,900 | 85.8 |
| 受取利息配当金収入 | 1,000 | 308 | 692 | 30.8 | 1,000 | 270 | 730 | 27.0 |
| 合計 | 39,156,000 | 36,577,820 | 2,578,180 | 93.4 | 37,872,000 | 35,316,491 | 2,555,509 | 93.3 |

③ 支出の状況

単位：円

| 区 分 | 令和2年度 | | | | 令和元年度 | | | |
|----------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|
| | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 執行率 (%) | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 執行率 (%) |
| 人件費 | 32,285,000 | 31,486,045 | 798,955 | 97.5 | 29,742,000 | 28,392,295 | 1,349,705 | 95.5 |
| 事業費 | 4,173,000 | 2,578,521 | 1,594,479 | 61.8 | 5,653,000 | 4,723,401 | 929,599 | 83.8 |
| 事務費 | 531,000 | 358,031 | 172,969 | 67.4 | 564,000 | 289,735 | 274,265 | 51.4 |
| 退職積立金 | 2,166,000 | 2,154,915 | 11,085 | 99.5 | 1,912,000 | 1,910,790 | 1,210 | 99.9 |
| 拠点区分間繰入金 | 1,000 | 308 | 692 | 30.8 | 1,000 | 270 | 730 | 27.0 |
| 合計 | 39,156,000 | 36,577,820 | 2,578,180 | 93.4 | 37,872,000 | 35,316,491 | 2,555,509 | 93.3 |

(4) 利用状況

① 令和2年度実績

単位：人

| | 令和2年度 (令和元年度) | | | | | | | 月別合計 |
|----|------------------|----------------|---------------|------------|------------------|-------------|----------|------------------|
| | 施設利用者 | 寿大学 (文化・教養) | 寿大学 (健康推進) | その他事業 | 同好会活動 | 老人クラブ | 相談業務 | |
| 4月 | 0 (3,446) | 0 (7) | 0 (99) | 0 (26) | 0 (2,750) | 28 (150) | 0 (6) | 28 (6,384) |
| 5月 | 0 (3,132) | 0 (441) | 0 (388) | 0 (22) | 0 (2,153) | 0 (188) | 0 (6) | 0 (6,330) |
| 6月 | 10 (3,378) | 0 (500) | 0 (396) | 49 (45) | 0 (2,723) | 14 (161) | 0 (9) | 73 (7,212) |
| 7月 | 829 (3,417) | 0 (497) | 0 (337) | 0 (72) | 1,559 (2,611) | 59 (136) | 0 (5) | 2,447 (7,075) |
| 8月 | 1,076 (3,186) | 0 (195) | 0 (313) | 0 (77) | 1,105 (1,926) | 45 (127) | 0 (3) | 2,226 (5,827) |

| | | | | | | | | |
|-----------|--------------------|------------------|----------------|--------------|--------------------|----------------|-----------|--------------------|
| 9月 | 1,070 (2,935) | 0 (413) | 0 (234) | 0 (198) | 1,622 (2,487) | 68 (91) | 0 (5) | 2,760 (6,363) |
| 10月 | 1,436 (3,109) | 179 (489) | 218 (295) | 65 (115) | 1,533 (2,385) | 68 (164) | 0 (5) | 3,499 (6,562) |
| 11月 | 1,323 (3,176) | 143 (531) | 214 (329) | 0 (44) | 1,474 (2,523) | 70 (333) | 0 (10) | 3,224 (6,946) |
| 12月 | 1,439 (3,283) | 199 (450) | 216 (270) | 42 (183) | 1,531 (2,510) | 49 (167) | 0 (10) | 3,476 (6,873) |
| 1月 | 1,127 (3,107) | 255 (357) | 150 (240) | 0 (78) | 801 (2,231) | 12 (145) | 0 (5) | 2,345 (6,163) |
| 2月 | 961 (2,876) | 228 (398) | 145 (179) | 0 (10) | 758 (1,967) | 61 (151) | 0 (8) | 2,153 (5,589) |
| 3月 | 1,168 (0) | 51 (0) | 55 (0) | 30 (0) | 1,330 (0) | 44 (18) | 0 (0) | 2,678 (18) |
| 事業別 合計 | 10,439 (34,945) | 1,055 (4,278) | 998 (3,080) | 186 (870) | 11,713 (26,266) | 518 (1,831) | 0 (72) | 24,909 (71,342) |

②過去5年間の状況

単位：人

| 区分 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 施設利用者 | 49,381 | 41,548 | 41,241 | 34,945 | 10,439 |
| 寿大学（文化・教養） | 3,329 | 3,704 | 4,248 | 4,278 | 1,055 |
| 寿大学（健康推進事業） | 3,070 | 2,174 | 2,612 | 3,080 | 998 |
| その他事業 | 3,022 | 3,297 | 3,663 | 870 | 186 |
| 同好会活動 | 29,330 | 29,004 | 28,979 | 26,266 | 11,713 |
| 老人クラブ | 1,867 | 1,971 | 1,975 | 1,831 | 518 |
| 相談業務 | 55 | 292 | 101 | 72 | 0 |
| 合計 | 90,054 | 81,990 | 82,819 | 71,342 | 24,909 |

※平成29年度、浴室ろ過清掃で計12日間浴室と休憩室を閉鎖。その間の施設利用実績減。

※新型コロナウイルス感染拡大による、令和元年度3月期～令和2年度6月期の事業休止に伴い、施設利用、寿大学、その他事業、同好会活動、相談業務等の実績減。

③令和2年度事業詳細

| 事業 | 内容 |
|-----|--|
| 寿大学 | <p>(1) 文化・教養</p> <p>【後期】英会話入門、書道入門、中国語入門、ハングル初級、オカリナ、ペン字、俳句入門、陶芸入門</p> <p>【短期】パソコン講座、(初めてのパソコン、ワード・エクセル初級 他)</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>(2) 健康推進</p> <p>【後期】3B体操、ヨガ、呼吸で体幹ストレッチ、リズムダンス</p> <p>◆新型コロナウイルス感染拡大につき中止した事業</p> <p>・文化・教養関係</p> <p>【寿大学・前期】 英会話入門、書道入門、中国語入門、ハンゲル初級、折り紙、フォークダンス入門、陶芸入門、料理（男性限定）</p> <p>【世代間交流事業】 陶芸教室、卓球大会</p> <p>【生活に役立つ講座】南なん亭、地域啓発講座（「認知症はじめて教室」等）、TFPP（TAMAフレイル予防プロジェクト）</p> <p>・健康増進関係</p> <p>【寿大学・前期】 健身気功、らくらく運動(自彊術)、呼吸で体幹ストレッチ、ボディコンディショニング</p> |
| その他 | <p>◆下記事業は新型コロナウイルス感染拡大のためすべて中止</p> <p>・囲碁の日（毎月第3月曜日・午後1時15分から3時30分）</p> <p>・囲碁大会(12月)</p> <p>・映画の日（毎月第1・3火曜日・午後1時30分）</p> <p>・バリアフリー映画上映会（10月・3月）</p> <p>・カラオケの日（毎月第1金曜日・午前）</p> <p>・春の発表会(3月)</p> <p>・将棋大会（9月）</p> <p>・ビリヤードの日（毎月第3金曜日・午後）</p> |
| 同好会 | <p>61団体</p> <p>① 健康 17団体（ダンス、体操、卓球、太極拳など）</p> <p>② 文化 44団体（英会話、編み物、キーボード、カラオケ、パソコンなど）</p> |

16 障がい者地域活動支援センター事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

| | |
|------|--|
| 目的 | 市内在住の障がいのある方や家族等を対象とした事業の実施、情報提供、福祉サービス利用の援助を行い、障がいのある方の社会参加、自立への援助を図る。 |
| 事業開始 | 平成24年4月1日（受託事業開始） |
| 対象 | 市内在住の障害者手帳所持者・家族、市内の障がい者団体 |
| 実施場所 | 多摩市総合福祉センター内 |
| 内容 | <p>① 業務日時 月曜日から土曜日まで〔第2土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始を除く〕の午前8時30分から午後5時まで</p> <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基礎的事業 <ul style="list-style-type: none"> ・趣味や生きがい活動の支援（教養講座など） ・在宅障がい者デイサービス事業 ・社会との交流の場の提供（同好会活動、カラオケの日、グループ活動など） ●機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業（福祉サービスの利用援助等） ・各種相談事業（パソコン相談など） ・水浴訓練室事業（水中機能訓練など） ・入浴サービス（通所入浴・訪問入浴） ・普及啓発事業（障がい者と共にひとときの和、講演講座など） ●高次脳機能障害者支援促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援 ・関係機関との連携 ・社会資源の把握・開拓 ・広報・普及啓発 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプカードの配布、疑似体験学習への協力など |

(2) 契約状況等

単位：円

| | 令和2年度 | 令和元年度 |
|-------|------------|------------|
| 区分 | 内容 | 内容 |
| 契約年月日 | 令和2年4月1日 | 平成31年4月1日 |
| | 地域活動支援センター | 地域活動支援センター |

| | | 基礎的 事業 | 機能強化 事業 | 高次脳機能 障害者支援 促進事業 | | 基礎的 事業 | 機能強化 事業 | 高次脳機能 障害者支援 促進事業 |
|-------|------------|------------|------------|------------------------|------------|------------|------------|------------------------|
| 契約金額 | 92,730,000 | 29,410,000 | 59,218,000 | 4,102,000 | 92,183,000 | 29,417,000 | 58,664,000 | 4,102,000 |
| 契約変更日 | 令和3年1月8日 | | | | 令和2年1月7日 | | | |
| 変更契約金 | 89,730,000 | 29,110,000 | 56,518,000 | 4,102,000 | 89,283,000 | 28,217,000 | 56,964,000 | 4,102,000 |

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

| 区 分 | 令和2年度 | | | | 令和元年度 | | | |
|-----------|------------|------------|------------|--------|------------|------------|------------|--------|
| | 予算現額 | 収入済額 | 予算残額 | 執行率(%) | 予算現額 | 収入済額 | 予算残額 | 執行率(%) |
| 受託金収入 | 89,730,000 | 79,453,968 | 10,276,032 | 88.5 | 89,283,000 | 83,852,782 | 5,430,218 | 93.9 |
| 参加費収入 | 22,000 | 6,100 | 15,900 | 27.7 | 22,000 | 14,500 | 7,500 | 65.9 |
| 利用料収入 | 461,000 | 106,744 | 354,256 | 23.1 | 444,000 | 114,051 | 329,949 | 25.9 |
| 計画相談支援給付費 | 4,300,000 | 7,794,836 | △3,494,836 | 181.2 | 4,000,000 | 7,368,313 | △3,368,313 | 184.2 |
| 補助金収入 | 260,000 | 260,000 | 0 | 100 | 140,000 | 138,941 | 1,059 | 99.2 |
| 寄付金収入 | 30,000 | 30,000 | 0 | 100 | | | | |
| 合計 | 94,803,000 | 87,651,648 | 7,151,352 | 92.4 | 93,885,000 | 91,488,587 | 2,396,413 | 97.4 |

② 支出の状況

単位：円

| 区 分 | 令和2年度 | | | | 令和元年度 | | | |
|----------|------------|------------|------------|--------|------------|------------|------------|--------|
| | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 執行率(%) | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 執行率(%) |
| 人件費 | 75,025,000 | 68,646,167 | 6,378,833 | 91.5 | 73,842,000 | 70,837,572 | 3,004,428 | 95.9 |
| 事業費 | 12,638,000 | 9,495,118 | 3,142,882 | 75.1 | 13,166,000 | 10,857,498 | 2,308,502 | 82.4 |
| 事務費 | 2,026,000 | 1,197,877 | 828,123 | 59.1 | 1,983,000 | 1,547,007 | 435,993 | 78.0 |
| 支払利息 | 65,000 | 64,071 | 929 | 98.5 | | | | |
| 固定資産取得 | 352,000 | 286,000 | 66,000 | 81.2 | 505,000 | 490,752 | 14,248 | 97.1 |
| リース債務 | 287,000 | 286,279 | 721 | 99.7 | | | | |
| 退職積立金 | 2,710,000 | 2,481,300 | 228,700 | 91.5 | 2,689,000 | 2,687,445 | 1,555 | 99.9 |
| 拠点区分間繰入金 | 1,700,000 | 5,194,836 | △3,494,836 | 305.5 | 1,700,000 | 5,068,313 | △3,368,313 | 298.1 |
| 合計 | 94,803,000 | 87,651,648 | 7,151,352 | 92.4 | 93,885,000 | 91,488,587 | 2,396,413 | 96.4 |

(4) 利用登録状況

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|---------|------|------|--------------------|-------------------|-------------------|
| 登録人数 | — | 105人 | 121人 | 114人 | 77人 |
| (内訳) 身体 | 161人 | 72人 | 70人 (身体・知的重複4人) | 64人 (身体・知的重複6) | 54人 (身体・知的重複3) |

| | | | | | | |
|-------|----------------|-------------|--------|--------|------------------------------|--------------------|
| | | | | 含む) | 人、身体・精神重複3 人含む) | 人、身体・精神重複4 人含む) |
| | 知的 | 29人 | 12人 | 18人 | 22人 (知的・精神重複1 人 含む) | 8名 |
| | 精神 | 25人 | 4人 | 5人 | 9人 | 8人 |
| | 手帳無 | 41人 | 17人 | 32人 | 29人 | 14人 |
| | ※28年度は登録延人数の内訳 | ※年度の登録人数の内訳 | | | | |
| 登録延人数 | 240人 | 273人 | 318人 | 352人 | 369人 | |
| 利用延人数 | 13,442人 | 14,984人 | 5,460人 | 4,291人 | 2,439人 | |

※登録延人数・内訳ともに重複有

※登録人数・内訳ともに平成29年度より年度の登録人数に変更

(5) 実施状況

*新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、総合福祉センターは令和2年3/2～6/21まで休館、事業の中止あり。

【基礎的事業】

① 趣味や生きがい活動の支援（教養講座など）

- ・パソコン教室 緊急事態宣言及び緊急小口資金貸付相談対応等で704研修室使用不可のため、令和2年9月まで中止とした。
- ・親子体操教室 緊急事態宣言及び講師の所属団体の方針により、前期及び後期の一部（令和3年1～2月実施の4回分）は中止とした。

| コース | 内容 | 第1 四半期 | 第2 四半期 | 第3 四半期 | 第4 四半期 | 年間 |
|-------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|---|--------------------------------|-----|
| 木曜コース 年3回 (各4回) 延12回 | 身体、知的、精神障がい者を対象にレベルに応じて基礎から指導 | 5/7～28 ワードでポスターデザイン 中止 | 7/2～30 エクセルでパンフレット作成 中止 | 10/1～22 ワードで年賀状作成 6人 | | 27人 |
| 土曜コース 年3回 (各4回) 延12回 | | 5/30～ 6/27 ワードで絵本作成 中止 | | 10/24～ 11/21 ワードで図形描く年賀状作成 13人 | 1/16～2/6 エクセルでカレンダー作成 8人 | |

| | | | | | | |
|--------------------------------------|---|--|---------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|----|
| 視覚障がい コース 年3回 (各4回) 延12回 | 視覚障がい者を 対象に音声機能 付きソフトで文 章作成やインタ ーネットの操作 方法等の指導 | | 9/3～24 マイエディット の使い方 中止 | 11/5～26 年賀状作 成 4人 | 1/28～2/25 ネットワー の 使い方 4人 | 8人 |
|--------------------------------------|---|--|---------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|----|

・体操教室 前期：中止 後期：開催予定

| | | | | |
|---------------------------------------|---|--|--|-----|
| 成人向け 体操教室 前期・後期 各10回 延20回 | ・ボール、タオル を使った椅子に 座りながらの体 操 ・身体、知的、精 神障がい者が参 加し、無理なく身 体を動かすこと で機能の維持向 上と交流を図る | 前期 5月～9月 中止 第1 四半期 — 第2 四半期 — | 後期 10月～2月 77人 第3 四半期 48人 第4 四半期 29人 | 77人 |
| 親子体操 教室 前期・後期 各10回 延20回 | ・心身の発達の気 になる子どもと 保護者がボール などの道具を使 い身体を動かし ながら共に楽し む | 前期 5月～9月 中止 第1 四半期 — 第2 四半期 — | 後期 10月～2月 56人 第3 四半期 56人 第4 四半期 中止 | 56人 |

・陶芸教室

| | | | |
|------|--|---|----|
| 陶芸教室 | ・身体、知的、 精神障がい者を 対象に創作を楽 しみながら、交流 を図る | *10月～11月予定 作陶4回・作品渡し1回 ・干支(子)の置物とオリジナルの器作成 申込者なしのため、中止 | 0人 |
|------|--|---|----|

② 在宅障がい者デイサービス事業 毎週水・金曜日 定員：8人

| |
|--|
| <p><年間></p> <p>・登録人数 3人：手帳所持者 2人(身体2人、精神1人) 手帳なし(難病) 1人 利用者 3人(4.5月中止、6月～段階的に再開、7月～通常)</p> <p>・開設日数 86日 延利用者数 209人</p> <p><第1 四半期></p> <p>・開設日数 10日 延利用者数 13人</p> <p><第2 四半期></p> <p>・開設日数 26日 延利用者数 71人</p> <p><第3 四半期></p> <p>・開設日数 25日 延利用者数 64人</p> <p><第4 四半期></p> <p>・開設日数 25日 延利用者数 61人</p> |
|--|

| 内 容 | | 実施回数・人数 | | | | | 年 間 | 詳 細 |
|---------------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------------|--------------|---|
| | | 第1 四半期 延人数 | 第2 四半期 延人数 | 第3 四半期 延人数 | 第4 四半期 延人数 | | | |
| 基本事業 (訓練等) | 機能訓練 | 体操 | 9人 7回延 | 67人 25回延 | 55人 23回延 | 53人 25回延 | 184人 80回延 | <p><第1四半期> 4/1、3は開所し、4/7にコロナ緊急事態宣言を受け、5/31まで休止。 6/3～再開、利用者を段階的に休止中は、訪宅にて屋外でのモニタリング活動やリモートによる支援実施。 【社会適応訓練】 ・エコセンタールリサイクル物質を届ける。 ・機関だよりの配架</p> <p><第2四半期> 7月～、登録利用者全員再開利用者の各々の機能低下に合わせたプログラムを個別訓練対応にて実施。 給食夏季休業時、各自売店にて昼食購入</p> <p><第3四半期> 10月 水中運動プログラム導入 ※毎月1回：水浴室 11月 ランチ・テイクアウト (普段の給食ではなく、外部より好みのランチテイクアウトする) 12月 クリスマス会</p> <p><第4四半期> 3月 花見散歩 体力測定</p> <p>*新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、外出訓練、カラオケなどプログラム一部変更、中止</p> |
| | | 歩行訓練 | 0人 0回延 | 3人 1回延 | 10人 5回延 | 7人 4回延 | 20人 10回延 | |
| | | その他 | 0人 0回延 | 0人 0回延 | 8人 4回延 | 7人 4回延 | 15人 8回延 | |
| | 社会適応訓練 | 認知訓練 | 13人 10回延 | 72人 25回延 | 59人 24回延 | 60人 25回延 | 204人 84回延 | |
| | | OT(作業療法) | 6人 6回延 | 65人 24回延 | 57人 23回延 | 61人 25回延 | 189人 73回延 | |
| | | ST(言語訓練) | 2人 1回延 | 9人 4回延 | 4人 2回延 | 1人 1回延 | 16人 8回延 | |
| | | 外出訓練 | 0人 0回延 | 0人 0回延 | 0人 0回延 | 0人 0回延 | 0人 0回延 | |
| | | 脳トレ | 5人 3回延 | 8人 4回延 | 3人 1回延 | 11人 4回延 | 27人 12回延 | |
| | | 調理訓練 | 0人 0回延 | 0人 0回延 | 0人 0回延 | 0人 0回延 | 0人 0回延 | |
| | | 個別訓練等 | 2人 2回延 | 4人 2回延 | 3人 5回延 | 10人 6回延 | 21人 15回延 | |
| その他 | 2人 1回延 | 2人 2回延 | 5人 2回延 | 3人 1回延 | 12人 7回延 | | | |
| 創作活動 | 作業・創作(作品製作) | 2人 2回延 | 18人 7回延 | 9人 4回延 | 15人 8回延 | 44人 21回延 | | |
| | 書画 | 2人 1回延 | 9人 3回延 | 7人 3回延 | 8人 3回延 | 26人 10回延 | | |
| | その他 | 0人 0回延 | 0人 0回延 | 6人 6回延 | 3人 1回延 | 9人 7回延 | | |
| アクティビティ | カラオケ | 0人 0回延 | 0人 0回延 | 0人 0回延 | 0人 0回延 | 0人 0回延 | | |
| | ゲーム | 5人 4回延 | 14人 5回延 | 12人 4回延 | 14人 5回延 | 45人 18回延 | | |
| | その他 | 0人 0回延 | 8人 3回延 | 5人 2回延 | 0人 0回延 | 13人 5回延 | | |
| 入浴 | 入浴サービス | 4人 4回延 | 13人 13回延 | 12人 12回延 | 8人 8回延 | 37人 0回延 | | |
| 付属 | 給食サービス | 13食 10回延 | 68食 25回延 | 61食 24回延 | 61食 25回延 | 203食 84回延 | | |
| | 送迎サービス | 13人 10回延 | 71人 26回延 | 64人 25回延 | 61人 25回延 | 209人 86回延 | | |

③ 社会との交流の場の提供(同好会活動、カラオケの日、グループ活動など)

| 事業名 | 実施日 | 第1 四半期 延人数 | 第2 四半期 延人数 | 第3 四半期 延人数 | 第4 四半期 延人数 | 年間 |
|----------------------------------|------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------|
| 同好会 憩書道 | 第1・3月曜日 | 中止 | 20人 | 35人 | 12人 | 67人 |
| カラオケの日 | 第4土曜日午前 | 中止 | 中止 | 中止 | 中止 | 0人 |
| 言語訓練 *失語症のある方を対象としたおしゃべりのグループ | 水曜日 第1・3グループ 第2・4個別 | 9人 | 41人 | 32人 | 36人 | 118人 |

| | | | | | | |
|----------------------------------|----------------------|----|----|----|----|-----|
| グループ活動 マーブル *統合失調症を主診断とする方を対象 | 第4木曜日午後 *H30年7月開始 | 1人 | 3人 | 5人 | 3人 | 12人 |
|----------------------------------|----------------------|----|----|----|----|-----|

*言語訓練は休館中、主にオンライン言語訓練を実施。

【機能強化事業】

- ① 相談支援事業（一般相談）電話、来所、訪問、その他による相談支援
 相談内容：精神障がい者の不安時における電話相談の傾聴
 障害福祉サービスを利用していない障がい者の継続的な支援
 親なきあとの暮らしについての相談
 関係機関からの相談や専門の相談窓口についての相談など

| | 第1 四半期 延人数 | 第2 四半期 延人数 | 第3 四半期 延人数 | 第4 四半期 延人数 | 年間 |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------|
| 相談延人数 (新規継続含む) | 155人 | 211人 | 195人 | 180人 | 741人(851人) |
| 来所 | 2人 | 11人 | 15人 | 16人 | 44人(129人) |
| 電話 | 118人 | 146人 | 132人 | 115人 | 511人(537人) |
| メール | 19人 | 32人 | 29人 | 28人 | 108人(81人) |
| 訪問 | 14人 | 18人 | 17人 | 21人 | 70人(88人) |
| 同行 | 2人 | 4人 | 2人 | 0人 | 8人(16人) |

※（ ）は前年度

② 各種相談事業

| 相談会名 | 協力団体・内容 | 実施日 | 第1 四半期 延人数 | 第2 四半期 延人数 | 第3 四半期 延人数 | 第4 四半期 延人数 | 年間 |
|--|---|-------------|----------------------|------------------|------------------|------------------|-----|
| パソコン相談会 *パソコンボランティア多摩 | パソコン操作やトラブルに関する個別相談 | 第1~4 火曜日 | 中止 | 10人 | 24人 | 20人 | 54人 |
| 聞こえと補聴器の相談会 *共催 NPO 法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター | 言語聴覚士による聴力検査、補聴器や日常生活用具等に関する相談 | 年3回 | 中止 | 8人 | 8人 | | 16人 |
| 親なきあと個別相談 *渡部行政書士事務所 代表 渡部 伸氏 | 親なきあとを心配している家族が法制度やサービスの内容を相談することにより、子の将来の準備を行う機会とする。 | 毎月第3 水曜日 | 1人 4・5 月中 止 | 4人 | 5人 | 3人 | 13人 |
| 言葉のこと相談 | 言語聴覚士による言葉と嚙下に関する個別相談 | 毎週 水曜日 | 中止 | 1人 | 2人 | 10人 | 13人 |

| | | | | | | | |
|---------------------------|---|----------------------|----|--------------|----|----|-----|
| 唐木田児童館 言葉の相談 ほっとたいむ | 来館の子どもと保護者に言語聴覚士がコミュニケーションをとりながら、言葉に関する心配事などを聞く | 毎月第1水曜日 *H30年6月開始 | 中止 | 9/2~再開 1人 | 6人 | 5人 | 12人 |
|---------------------------|---|----------------------|----|--------------|----|----|-----|

③ 水浴事業

| 事業名 | 実施日 | 内容 | 第1 四半期 延人数 | 第2 四半期 延人数 | 第3 四半期 延人数 | 第4 四半期 延人数 | 年間 |
|-------------------|----------------------------|---|------------------|------------------|------------------|------------------|------|
| 水中機能訓練 | 火・木曜日 通年 各22回 (7~3月) | 水の特性を利用したりハビリや機能維持・向上のための水中運動 *手帳所持者等 脳出血・脳梗塞後遺症、関節リウマチ、変形性股(膝)関節症、パーキンソン病等 ・送迎サービス有 | 中止 | 7/21~再開 71人 | 104人 | 53人 | 228人 |
| 水中機能訓練 フォローアップ | 全1回 午後 *今年度、休止 | 水中機能訓練修了者が、1訓練(個人貸出し)移行後の再修正の機会を設ける | / | / | / | / | 0人 |
| 水浴訓練室貸出 | 個人貸出 | 月・金曜日 午前/午後 | 中止 | 7/31~再開 97人 | 141人 | 42人 | 280人 |
| | 団体貸出 | 土曜日 午前/午後 | 中止 | 中止 | 8人 | 0人 | 8人 |

④ 入浴サービス事業

| 事業名 | 第1 四半期 延人数 | 第2 四半期 延人数 | 第3 四半期 延人数 | 第4 四半期 延人数 | 年間 | その他 |
|----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------|---|
| 通所入浴サービス | 14人 | 62人 | 56人 | 48人 | 180人 | 福祉センター内施設での機械浴 *送迎サービス有・デイ利用者含む 身体、知的 |
| 訪問入浴サービス | 67人 | 60人 | 53人 | 61人 | 241人 | 訪問入浴事業者への再委託により実施 *身体、知的 |

⑤ 普及啓発事業

| | | | |
|---|-----------|---------|------------------------------|
| ア) 総合福祉センターだより発行状況(月1回発行) ※老人福祉センター事業含む | | | |
| 発行部数 | 総発行部数 | 設置・送付箇所 | 主な設置・送付箇所 |
| 約770部 | 約9,240部/年 | 約77箇所 | 市内公共施設(公民館、コミュニティセンター)、関係機関等 |
| イ) 多摩市福祉交流会「障がい者と共にひとときの和」 | | | |

| 実施日 | 開催校 | 参加人数 | 内 容 | 参加協力団体 |
|---|---------|------|--|---|
| 中止 | 多摩第三小学校 | — | *新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、事業の見通しが立たないため、開催校・福祉団体・市と調整の結果、6月に中止を決定。 | <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人多摩市身体障害者福祉協会/アートひまわり ・多摩市視覚障がい者福祉協会 ・多摩市聴覚障害者協会 ・多摩市点字サークルトータス ・多摩市手話サークルクローバー |
| 中止 | 豊ヶ丘小学校 | — | | |
| ウ) 福祉機器展示コーナー | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・車いす、クッション、シルバーカー、杖、靴、シャワーチェア ・すべり止めマット等の展示 ・福祉機器等に関する情報提供 ・看護師によるミニ健康相談 ・作業療法士によるリハビリ相談 | | | 第1四～第4四半期 コーナーの休止 *福祉機器に関する相談には個別に対応 | |
| エ) 講演会・協力事業 | | | | |
| ①11月21日(土) 多摩市地域家族会「ぼんぼこの会」 生きづらさのある子の家族が知っておきたい「親なきあと」 共催 地域活動支援センターあんど *ひきこもり家族会である多摩市地域家族会「ぼんぼこの会」の主催講演会。ひきこもり・不登校など生きづらさのある子の親を対象に親なきあとに役に立つ法制度について、情報提供。 講師：渡部行政書士/社労士事務所 渡部 伸氏 | | | 25人 | |
| ②3月27日(土) 多摩市地域家族会「ぼんぼこの会」 しごと・くらしサポートステーション活動報告(勉強会) 協力 地域活動支援センターあんど *市内のひきこもり支援機関の活動内容等を知ること、今後の相談の際に役立てるため。 報告：しごと・くらしサポートステーション 高井 裕氏 | | | 11人 | |
| オ) 障がい者スポーツ体験 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、未実施 ・ボッチャセットの貸出 2件 | | | | |

【その他】

① ヘルプカードの配布

配布場所：多摩市役所障害福祉課、多摩市地域活動支援センターの一ま

社協（総合福祉センター3階・多摩ボランティア・市民活動支援センター）

| | 第1 四半期 延人数 | 第2 四半期 延人数 | 第3 四半期 延人数 | 第4 四半期 延人数 | 年間 |
|------|------------------|------------------|------------------|------------------|------|
| 身体障害 | 14人 | 28人 | 38人 | 30人 | 110人 |
| 知的障害 | 5人 | 4人 | 6人 | 8人 | 23人 |
| 精神障害 | 21人 | 17人 | 24人 | 24人 | 86人 |
| 難病 | 1人 | 2人 | 3人 | 6人 | 12人 |
| 高齢 | 1人 | 3人 | 1人 | 0人 | 5人 |
| その他 | 8人 | 4人 | 11人 | 24人 | 47人 |
| 備考 | | | | | |
| 合計 | 50人 | 58人 | 83人 | 92人 | 283人 |

【高次脳機能障害者支援促進事業】

| | |
|-------------|--|
| ①相談事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談人数・件数 新規相談者数：13人（単回も含む） 計画相談：14人、一般相談35人 相談延人数：直接相談（面接/訪問/同行）117人 電話等相談 122人 相談者内訳：本人、家族、医療機関、関係機関等から相談 相談内容 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険以外で利用できる障害サービス ・入院中のソーシャルワーカーより退院後の生活相談、社会資源の紹介 ・障害年金申請の支援他 ・土曜相談日 毎月第1土曜日午後 ・「パートナーのための個別相談会」【新規】（令和3年2月/3月）土曜日午後 ・医師によるケース検討会 未実施 |
| ②関係機関との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係者連絡会 R2.9 書面にて開催・アンケート実施（コロナ禍での支援など） R1.3/12 会場にて開催・今年度の事業報告/来年度の事業計画 ・情報交換会・総合福祉センターの館内見学 ・見学会 未実施 ・近隣家族会への訪問・連携 未実施 ・市障害福祉課との打合せ 2回 ・南多摩高次脳機能障害者支援普及事業協力施設会議への参加（R2.12まで休止、R3.1よりWEB開催） ・家族会への参加（らーふの会・こだま）随時 |
| ③社会資源の把握・開拓 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム「オレンジの風」事業説明 ・在宅障がい者デイサービスでの受入れ 1人 ・言語訓練（グループ・個別）7人 グループ活動への失語症パートナー派遣 2人 ・グループ活動 「ほのぼの」 第1土曜日10時～12時（6月より再開）7人 講師による音楽イベントを企画するが、コロナ禍により中止。 |

| | |
|-----------------|---|
| <p>④広報・普及啓発</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市民向け講演会 10/24 「親(養育者)なき後の支援を考える」 講師：大輪典子氏：ソーシャルネット南のかぜ 26名参加 ・福祉フェスタ 中止 ・「コロナでも No Problem」冊子に寄稿 (R3.1) 当事者、支援者との交流や活動発表として、今年は紙面での発表になり音楽療法とグループ活動を紹介。 ・社協広報誌への掲載 (総合福祉センターだより 毎月) ・社協ホームページへの掲載 ・福祉センター3階 図書情報コーナー/関連書籍の購入と貸出 |
|-----------------|---|

【指定特定相談支援事業】 福祉サービス等利用計画の作成

障がいのある方が様々なサービスの利用を通じて希望する生活の実現や目標の達成に向けて、生活の中で解決すべき課題や支援の内容を本人と相談しながら具体的にプランを立てていく。

総契約数：168人 (169)

相談形態：来所 133 件、電話 6200 件、訪問 1264 件、同行 120 件、メール 735 件のべ件数 8452 件 (8287)

計画作成数：新規、モニタリング 526 件 (482) () は前年度

17 同行援護事業

(1) 概要

| | |
|---------|--|
| 目的 | 視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がい者等に対し、同行援護従事者を派遣し、移動時及びそれに伴う外出先において必要な視覚的情報の支援（代読、代筆を含む）を行う。外出先において必要な移動の援護や排泄等必要な介助を行うことにより、社会参加、及び自立支援を行うことを目的とする。 |
| 対象者 | 多摩市より障害福祉サービス受給者証の交付を受けた者。 契約者40人（令和3年3月末現在）*新規契約者6人 |
| 同行援護従事者 | 同行援護従業者養成研修（一般過程）を修了した者。 居宅介護の従事者要件を満たす者については特例措置あり。 ※登録者数32人（令和3年3月末現在）*新規登録者5人 |

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

| 区分 | 令和2年度 | | | | 令和元年度 | | | |
|---------|------------|-----------|-----------|--------|------------|------------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 収入済額 | 予算残額 | 執行率(%) | 予算現額 | 収入済額 | 予算残額 | 執行率(%) |
| 介護給付費 | 13,241,000 | 7,630,082 | 5,610,918 | 57.6 | 13,241,000 | 12,234,965 | 1,006,035 | 92.4 |
| 利用料負担金 | 120,000 | 159,080 | △39,080 | 132.5 | 114,000 | 251,625 | △137,625 | 220.7 |
| 受取利息配当金 | 1,000 | 35 | 965 | 3.5 | 1,000 | 33 | 967 | 3.3 |
| 補助金 | 265,000 | 265,000 | 0 | 100.0 | | | | |
| 合計 | 13,627,000 | 8,054,197 | 5,572,803 | 59.1 | 13,356,000 | 12,486,623 | 869,377 | 93.4 |

② 支出の状況

単位：円

| 区分 | 令和2年度 | | | | 令和元年度 | | | |
|-----|------------|-----------|-----------|--------|------------|------------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 執行率(%) | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 執行率(%) |
| 人件費 | 3,339,000 | 3,079,448 | 259,552 | 92.2 | 3,358,000 | 3,142,426 | 215,574 | 93.5 |
| 事業費 | 9,595,000 | 4,747,031 | 4,847,969 | 49.4 | 9,308,000 | 7,369,440 | 1,938,560 | 79.1 |
| 事務費 | 693,000 | 542,225 | 150,775 | 78.2 | 69,000 | 489,459 | 200,541 | 70.9 |
| 合計 | 13,627,000 | 8,368,704 | 5,258,296 | 61.4 | 13,356,000 | 11,001,325 | 2,354,675 | 82.3 |

(3) 同行援護活動実績

| | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-------------------|-------------|--------------|----------|----------|----------|
| 契約者数 (うち身体介護有) | 41人 (8人) | 48人 (10人) | 47人 — | 39人 — | 40人 — |
| 利用人数 | 325人 | 331人 | 344人 | 315人 | 245人 |

| | | | | | |
|-----------|-------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|---------------------------|-----------------------------|
| | (月平均 27.1人) | (月平均 27.6人) | (月平均 28.7人) | (月平均 26.3人) | (月平均 20.4人) |
| 派遣回数 | 2,035回 (月平均 169.6回) | 1,800回 (月平均 150回) | 1,931回 (月平均 160.9回) | 1,692回 (月平均 141回) | 1,100回 (月平均 91.7回) |
| 派遣時間 | 6,598.5時間 (月平均 549.9時間) | 6,216.5時間 (月平均 518時間) | 6,393.5時間 (月平均 532.8時間) | 5,604時間 (月平均 467時間) | 3,395.5時間 (月平均 283時間) |
| 活動者数 | 299人 (月平均 24.9人) | 276人 (月平均 23人) | 308人 (月平均 25.7人) | 295人 (月平均 24.6人) | 259人 (月平均 21.6人) |
| 同行援護登録従事者 | 30人 | 29人 | 27人 | 31人 | 32人 |

(4) 同行援護従事者研修会

コロナ禍により、例年実施している従事者懇談会・研修会は中止とし、今年度に登録をした従事者対象の懇談会・研修会の実施とした。

| | |
|--------|---|
| 開催日・場所 | R3.3.25(木) 総合福祉センター4階 機能訓練室 |
| 対象 | 令和2年度に従事者登録をした方 5人 |
| 内容 | 懇談会：事例検討(従事者から寄せられた「活動中に困ったこと」) 研修会：車いすの介助方法について |
| 参加者 | 3人 |

18 意思疎通支援（手話通訳者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

| | |
|---------|---|
| 目的 | 聴覚障がい者及び言語障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）が、他者との意思疎通を円滑にするため、手話通訳を必要とする場合に、手話通訳者を派遣すること及び手話通訳に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。 |
| 対象者 | ① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。 ② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。 ③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者 ④ その他市長が特に認めた者。 |
| 利用時間の制限 | 手話通訳者等の派遣・・・・・・・・原則月20時間 |
| 手話通訳者 | ① 多摩市登録手話通訳者…手話通訳士又は手話通訳者全国統一試験に合格した市内在住の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。※登録者数39人（令和3年3月末現在） ② 東京手話通訳等派遣センター登録手話通訳者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。 |

(2) 契約状況等

| 区分 | 令和2年度 | | 令和元年度 | |
|--------|------------|----|-------------|----|
| | 内容 | 備考 | 内容 | 備考 |
| 契約年月日 | 令和2年4月1日 | | 平成31年4月1日 | |
| 概算契約金額 | 10,285,000 | | 10,196,000円 | |

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位:円

| 区分 | 令和2年度 | | | | 令和元年度 | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|--------|------------|-----------|-----------|--------|
| | 予算現額 | 収入済額 | 予算残額 | 執行率(%) | 予算現額 | 収入済額 | 予算残額 | 執行率(%) |
| 受託金収入 | 10,285,000 | 7,885,444 | 2,399,556 | 76.6 | 10,196,000 | 8,562,930 | 1,673,044 | 83.9 |
| 受取利息配当金収入 | 1,000 | 37 | 963 | 3.7 | 1,000 | 26 | 974 | 2.6 |
| 合計 | 10,286,000 | 7,885,481 | 2,400,519 | 76.6 | 10,197,000 | 8,562,956 | 1,674,018 | 83.9 |

② 支出の状況

単位：円

| 区 分 | 令和2年度 | | | | 令和元年度 | | | |
|----------|------------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|------------|
| | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 執行率 (%) | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 執行率 (%) |
| 人件費 | 4,242,000 | 4,120,571 | 121,429 | 97.1 | 4,262,000 | 4,114,880 | 147,120 | 96.5 |
| 事業費 | 5,336,000 | 3,178,932 | 2,157,068 | 59.5 | 5,211,000 | 3,894,861 | 1,356,139 | 74.1 |
| 事務費 | 707,000 | 585,941 | 121,059 | 82.8 | 723,000 | 553,215 | 169,785 | 76.5 |
| 拠点区分間繰入金 | 1,000 | 37 | 963 | 3.7 | 1,000 | 26 | 974 | 2.6 |
| 合計 | 10,286,000 | 7,885,481 | 2,400,519 | 76.6 | 10,197,000 | 8,562,982 | 1,674,018 | 83.9 |

(4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------------|----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|
| 利用登録者 | 104人 | 122人 | 116人 | 115人 | 113人 |
| 登録手話通訳者 | 34人 | 32人 | 30人 | 33人 | 39人 |
| 派遣件数(市・都) | 1,048件 | 1,104件 | 1,043人 | 1,051件 | 894件 |
| 派遣時間(市) | 1,888時間 47分 | 1,819時間 34分 | 1,664時間 47分 | 1,761時間 9分 | 1,368時間 21分 |
| 派遣者活動人数(市) | 246人 | 259人 | 261人 | 264人 | 232人 |

(5) 手話通訳者研修会

① 外部講師による研修会(全5回(内1回はZoom)) 参加延人数88人(Zoom研修は全員参加)

講師：東京手話通訳等派遣センター

内容：動画通訳実践、医療事例の場面通訳(参加者を2つに分け半数ずつ別日程で実施)

Zoomにより表現技術(当日Web参加、後1ヶ月間オンデマンド映像視聴可能とした)

② その他研修会(全2回) 参加延人数42人

内容：場面通訳(市長YouTubeメッセージ、多摩市オンラインシンポジウム)

オンラインシンポジウムの場面通訳は新人・登録年数が浅い通訳者を対象に

手話表現・講演会通訳の基本を学習

19 意思疎通支援（要約筆記者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

| | |
|---------|---|
| 目的 | 聴覚障がい者等が、他者との意思疎通を円滑にするため、要約筆記を必要とする場合に、要約筆記者を派遣すること及び要約筆記に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。 |
| 対象者 | ① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。 ② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。 ③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者 ④ その他市長が特に認めた者。 |
| 利用時間の制限 | 要約筆記者の派遣・・・・・・・・原則月20時間 |
| 要約筆記者 | ①多摩市登録要約筆記者…東京都要約筆記者養成講習会を終了または同程度の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。 ※登録者数22人（令和3年3月末現在） ②東京手話通訳等派遣センター登録要約筆記者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。 |

(2) 契約状況等

単位：円

| 区分 | 令和2年度 | | 令和元年度 | |
|--------|-----------|----|-----------|----|
| | 内容 | 備考 | 内容 | 備考 |
| 契約年月日 | 令和2年4月1日 | | 平成31年4月1日 | |
| 概算契約金額 | 1,417,000 | | 1,432,000 | |

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

| 区分 | 令和2年度 | | | | 令和元年度 | | | |
|-------|-----------|---------|-----------|--------|-----------|---------|---------|--------|
| | 予算現額 | 収入済額 | 予算残額 | 執行率(%) | 予算現額 | 収入済額 | 予算残額 | 執行率(%) |
| 受託金収入 | 1,417,000 | 288,110 | 1,128,890 | 20.3 | 1,432,000 | 826,026 | 605,974 | 57.6 |

② 支出の状況

単位：円

| 区分 | 令和2年度 | | | | 令和元年度 | | | |
|-----|-----------|---------|-----------|--------|-----------|---------|---------|--------|
| | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 執行率(%) | 予算現額 | 支出済額 | 予算残額 | 執行率(%) |
| 事業費 | 1,330,000 | 209,006 | 1,120,994 | 15.7 | 1,345,000 | 743,254 | 601,746 | 55.2 |
| 事務費 | 87,000 | 79,104 | 7,896 | 90.9 | 87,000 | 82,772 | 4,228 | 95.1 |

| | | | | | | | | |
|----|-----------|---------|-----------|------|-----------|---------|---------|------|
| 合計 | 1,417,000 | 288,110 | 1,128,890 | 20.3 | 1,432,000 | 826,026 | 605,974 | 57.6 |
|----|-----------|---------|-----------|------|-----------|---------|---------|------|

(4) 要約筆記者の活動実績

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 利用登録者 | 104人 | 122人 | 116人 | 115人 | 113人 |
| 登録要約筆記者 | 24人 | 23人 | 26人 | 24人 | 22人 |
| 派遣件数(市・都) | 80件 | 74件 | 60件 | 48件 | 13件 |
| のべ派遣時間(市) | 738時間 12分 | 708時間 17分 | 571時間 55分 | 490時間 20分 | 133時間 27分 |
| のべ派遣活動人数(市) | 121人 | 118人 | 147人 | 120人 | 38人 |

(5) 要約筆記者研修会

① 外部講師による研修会(全0回) 参加延人数0人

講師：東京手話通訳等派遣センター

内容：技術研修～全体投影等、講義・論旨のつかみ方、サブの役割

② その他研修会(全1回) 参加延人数13人

内容：全体投影技術研修

多摩市自立支援協議会を音源とし、手書き・パソコン2チームに分かれて
全体投影の技術研修を行った。

20 共同募金関係

(1) 赤い羽根共同募金

※東京都共同募金会多摩地区協力会として実施

単位：円

| 種別 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 街頭募金 | 452,114 (16団体) | 361,506 (18団体) | 411,413 (23団体) | 383,504 (29団体) | 未実施※ |
| 自治会・ 住宅管理組合 | 508,588 (41団体) | 566,619 (57団体) | 470,036 (41団体) | 498,273 (43団体) | 540,505 (43団体) |
| 職域及び団体募金 | 139,469 (16団体) | 203,586 (39団体) | 181,629 (44団体) | 202,706 (44団体) | 235,178 (55団体) |
| 募金箱（公共施設） | 57,309 (40団体) | 36,400 (20団体) | 33,597 (17団体) | 36,856 (19団体) | 40,236 (17団体) |
| プリペイドカードに よる募金 | 132,232 (17団体) | 161,200 (17団体) | 120,900 (17団体) | 120,760 (18団体) | 109,620 (26団体) |
| 個人 | 0 | 13,290 | 6,820 | 1,057 | 1,643 |
| チャリティお菓子 | | 33,000 | 73,500 | 59,000 | 56,100 |
| カキ串焼き・牛タン つくね | | | 80,800 | 76,600 | 未実施※ |
| 自動販売機 | | 4,094 | 58,783 | 58,503 | 45,396 |
| 合計 | 1,289,712 | 1,379,695 | 1,437,478 | 1,437,259 | 1,028,678 |

()内は、協力等団体数

※新型コロナウイルスの影響で未実施

(2) 歳末たすけあい運動募金（令和2年12月1日～12月31日まで）

単位：円

| 種別 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|----------------------------|-------------------|----------------------|---------------------|-------------------|-------------------|
| 街頭募金 | 231,555 (9団体) | 286,512 (10団体) | 252,037 (14団体) | 203,609 (11団体) | 未実施※ |
| 自治会・住宅管理組 合 | 964,845 (67団体) | 1,108,068 (103団体) | 1,036,995 (87団体) | 917,416 (80団体) | 985,133 (74団体) |
| 法人(団体)募金 | 320,397 (18団体) | 214,593 (12団体) | 171,363 (19団体) | 143,093 (14団体) | 255,037 (22団体) |
| 個人募金 | 13,660 | 9,369 | 0 | 13,000 | 57,171 |
| その他の募金 (チャリティお菓子 含む) | 39,620 | 42,065 | 55,413 | 45,407 | 62,173 |
| 預金利息 | 56 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| チャリティーゴルフ | | | 90,500 | 257,500 | 290,000 |
| 自動販売機 | | 1,761 | 27,105 | 6,020 | 42,893 |

| | | | | | |
|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 合 計 | 1, 570, 133 | 1, 662, 370 | 1, 633, 415 | 1, 586, 047 | 1, 692, 409 |
| 都共募納付額 | 1, 496, 383 | 1, 582, 644 | 1, 571, 478 | 1, 519, 251 | 1, 636, 977 |
| ※翌年配分金額 | | | | | |

()内の団体数は、協力団体数。

※新型コロナウイルスの影響で未実施

2 1 その他の事業

(1) 車椅子貸出事業

①概要

| | |
|------|---|
| 目的 | 日常生活において一時的又は短期的に車椅子を必要とする方に車椅子を貸し出し、地域福祉の向上に寄与する。 |
| 対象 | 市内に住所を有する方で、下記のいずれかに該当する方又は使用者を介助する方 (1) 歩行困難な高齢者 (2) 身体障がい者 (3) 疾病、傷病等により一時的に歩行困難な者 (4) その他会長が特に必要と認めたもの |
| 貸出期間 | 1回 1ヶ月以内 |
| 貸出料金 | 無料 |

②過去5年間の状況

| | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度 |
|------|------|------|------|------|------|
| 貸出件数 | 87 | 79 | 86 | 95 | 58 |

平成30年度より、多摩社協窓口以外に市内社会福祉法人施設にて社協車椅子の管理・貸出を行っている。

(2) 被災地復興支援活動

東日本大震災復興支援事業

「復興支援販売の実施」

宮城県石巻の柵元気いしのまきより商品を購入し市内のイベントに復興支援販売として参加。販売による支援（価格に支援金を上乗せして販売し、売上額を送金している）を以下のイベントで実施予定であったが、すべて中止となった。

【中止】

- ・せいせき桜まつり
- ・ガーデンシティ多摩センターこどもまつり 2020
- ・福祉フェスタ 2020
- ・ハロウィン in 多摩センター2020